

地域保育学科

2021年9月6日 更新

2021年8月6日 更新

2021年6月4日 更新

2021年5月25日 更新

2021年5月24日 更新

2021年4月1日 更新

科目名	日本国憲法		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 わたなべ のぶひさ 渡辺 演久
ナバリングコード	PUL21101		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	憲法はなぜ存在するのかを理解し、憲法は国家権力を縛ることによって、人権を保障していることを説明していく。また子どもの権利条約などの国際法や教育基本法との関連性についても講義していく。最終的には子どもにまつわる憲法上の諸問題について考えられる講義とする。						
到達目標	1. 憲法の制定目的について説明できる 2. 立憲主義について説明できる。 3. 子どもの人権について理解している						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 4, 5 ）地域保育学科（ 1, 2, 4 ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、憲法はなぜあるのか（立憲主義）	予習	憲法の前文を読む	復習	憲法の目的を理解する
	第2回	内容	憲法は素晴らしいが、何の役に立つのだろうか？（憲法は誰に遵守義務があるのか）	予習	憲法は誰を縛っているのか調べる	復習	憲法尊重擁護義務について理解する
	第3回	内容	戦後の日本はへそによって作られた（日本国憲法の制定過程）	予習	民間の憲法案を調べる	復習	民間の憲法案がどう反映されたかを理解する
	第4回	内容	天皇の給料はお仕事にみあっているか（象徴天皇制）	予習	女性宮家について調べる	復習	現在の皇室をとりまく状況を理解する
	第5回	内容	ウルトラマンは地球を守るために戦う？（平和主義と自衛隊）	予習	平和のための戦いはありうるのか考える	復習	平和主義について理解する
	第6回	内容	自由が先か、平等が先か（法の下での平等）	予習	一票の格差とは何か調べる	復習	選挙制度について理解する
	第7回	内容	大岡政談にみる黙秘権と無罪の推定（刑事司法における人権保障）	予習	事件報道について調べる	復習	無罪推定の意義について理解する
	第8回	内容	言論の自由は「言いたいことを言う権利」ではない（言論の自由）	予習	民主政治には何が必要か調べる	復習	言論の自由の意義を理解する
	第9回	内容	教育の主体は国家？それとも国民？（教育を受ける権利）	予習	学校教育の誕生について調べる	復習	教育を受ける権利について理解する
	第10回	内容	幸福追求権の中身と自己決定（幸福追求権）	予習	学校のおかしな校則について調べる	復習	幸福追求権が人権の源になりうることを理解する
	第11回	内容	参政権があるだけでは民主主義とはいえない（参政権と民意）	予習	自分の選挙区の選挙結果を調べる	復習	多数が民意とは限らないことを理解する
	第12回	内容	統治機構は人権を守る手段である（法の支配）	予習	国家を支配しているのは誰か考える	復習	法の支配について理解する
	第13回	内容	国会と国会議員の実像（立法機関）	予習	国権とは何か調べる	復習	三権分立について理解する
	第14回	内容	内閣と議員内閣制の不思議（内閣）	予習	憲法の行政について読んでおく	復習	行政権の範囲について理解する
	第15回	内容	まとめとレポート作成	予習	憲法にまつわる新聞記事を調べる	復習	憲法の視点から政治問題を考える
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内で課題の解説を行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（90％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【積極的参加】（90％）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『憲法のおもしろさ（第3版）』（山本聡・渡辺演久、北樹出版）						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業内で適宜紹介する						
注意事項	新聞記事等を通じて子どもをとりまく人権状況を取り上げるので、新聞などの報道に興味をもってほしい。						

科目名	体育実技		単位数	1	授業時間数	45	担当教員	しんど のぶゆき 新戸 信之
ナバリングコード	DMB21101		授業形態	実技	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	<p>長寿社会において、生涯を通じて元気でイキイキと生活するためには、生き甲斐づくり、健康づくり、体力づくりが必要である。また、幼児教育の現場において職務を遂行するためには、自らの行動、防衛のためだけでなく、子どもを守るための体力も求められる。本授業では、内発的な動機付けとなる“楽しさ”や“面白さ”が内在する身体活動、即ちスポーツや運動遊びの基礎的な技術及び知識を習得することにより「生涯スポーツ」への契機を与えることをねらいとする。</p>							
到達目標	<p>1. 生涯にわたる自らの豊かな人生、社会に貢献できるたくましい心と身体の必要性について理解している。</p> <p>2. 自己の健康管理、維持・増進に取り組み得る技術及び知識を習得している。</p> <p>3. 集団生活に必要な規律を理解し、協調性、社会性を身につけている。</p> <p>4. 幼児教育者として必要な、運動に関する基本的な知識と技能を習得している。</p>							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 2,4,5 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、野外・環境教育実習について			予習		
						復習		
	第2回	内容	ドッジビー、ドッジボール			予習		
						復習		
	第3回	内容	イニシアティブゲーム（※グループワーク）			予習		
						復習		
	第4回	内容	大縄跳び、縄跳び（※グループワーク）			予習		
						復習		
	第5回	内容	スポーツ鬼ごっこ			予習		
						復習		
	第6回	内容	バレーボール			予習		
						復習		
	第7回	内容	アルティメット			予習		
						復習		
	第8回	内容	バスケットボール			予習		
						復習		
	第9回	内容	フットサル			予習		
						復習		
	第10回	内容	チャレンジザゲーム			予習		
						復習		
第11回	内容	目隠しをするゲーム（※グループワーク）			予習			
					復習			
第12回	内容	バドミントン			予習			
					復習			
第13回	内容	ソフトバレーボール、ビーチボール			予習			
					復習			
第14回	内容	インディアカ			予習			
					復習			
第15回	内容	リズム体操・レクダンスの創り方（※グループワーク）			予習			
					復習			
第16回	内容	リズム体操・レクダンスの発表（※グループワーク）			予習			
					復習			
第17回	内容	リズム体操・レクダンスの発表（※グループワーク）			予習			
					復習			
第18回	内容	ミニ運動会企画（※グループワーク）			予習			
					復習			
第19回	内容	チーム宝探し（グループワーク）			予習			
					復習			
第20回	内容	ミニ運動会 種目考案（※グループワーク）			予習			
					復習			

	第 21 回	内容	ミニ運動会 用具作成、タイムスケジュール作成 (※グループワーク)	予習	
				復習	
	第 22 回	内容	ミニ運動会	予習	
				復習	
	第 23 回	内容		予習	
				復習	
	第 24 回	内容		予習	
				復習	
	第 25 回	内容		予習	
				復習	
	第 26 回	内容		予習	
				復習	
	第 27 回	内容		予習	
				復習	
	第 28 回	内容		予習	
				復習	
	第 29 回	内容		予習	
				復習	
	第 30 回	内容		予習	
				復習	
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。					
課題へのフィードバック					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度（60%）				
教科書	なし (必要に応じ資料等を配布)				
参考文献	なし				
注意事項	1.実技の時は、必ず指定の運動着を着用して受講すること。 2.意欲をもって積極的に取り組む姿勢を評価する。				

科目名	体育講義		単位数	1	授業時間数	15	担当教員	しんど のぶゆき 新戸 信之
ナバリンクコード	DMB21102		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	健康寿命の延伸に向けた取り組みが進められている昨今、これまでの「保健」の考え方から、積極的に健康をつくり出すとする考え方が主流となりつつある。 本講義では健康・運動・体力について正しい知識を学び、自ら健康の維持増進の方法を考え、実践していく力を養うことをねらいとする。							
到達目標	1. 健康に関する正しい知識を学び、健康的なライフスタイルを実践する力を身に付ける。 2. 各年齢に適した食事や運動実践の方法について理解する。 3. 将来、保育者として自己の健康管理、子どもたちの健康・運動の援助指導を適切に行えるよう基礎的知識を習得する。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1,2 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	受講上の留意事項について 現代社会と健康			予習	健康に関するニュースや話題を web 検索する	
					復習	健康についての考えをまとめる		
	第2回	内容	心の健康			予習	現代社会における「こころの病気」について web 検索する。	
					復習	こころの病気とその特徴についてまとめる。		
	第3回	内容	青年期と性			予習	若年者の性感染症の現状について web 検索する。	
					復習	性感染症の種類と症状・予防についてまとめる。		
	第4回	内容	運動と健康			予習	「健康寿命」について web 検索する。	
					復習	ライフステージ別に適した運動についてまとめる。		
	第5回	内容	体力			予習	現代人の体力や運動能力が低下している原因について考察する。	
					復習	体力の分類を整理し、その必要性についてまとめる		
	第6回	内容	置トレーニングの基礎理論			予習	アスリートがどのようなトレーニングを行っているか調べる。	
					復習	トレーニングの原理、原則及び種類についてまとめる。		
	第7回	内容	スポーツ傷害と応急処			予習	身近なスポーツに潜む危険について考察する。	
					復習	スポーツに纏わる外傷や障害の症状及び応急処置についてまとめる。		
	第8回	内容	まとめ			予習	体育嫌いの原因について考察する。	
					復習	7 回分のノートを整理する。		
第9回	内容				予習			
				復習				
第10回	内容				予習			
				復習				
第11回	内容				予習			
				復習				
第12回	内容				予習			
				復習				
第13回	内容				予習			
				復習				
第14回	内容				予習			
				復習				
第15回	内容				予習			
				復習				
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	小テスト終了後に解説をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）*授業内における小テスト、レポート・課題（20%）,授業態度（20%）							
教科書	『大学生のための体育講義—今日つくる未来・今日を生きる課題—（茗井香保里他、推敲舎）							
参考文献	『健康づくりのための運動科学』（鶴木秀夫編、化学同人）、『大学生の健康・スポーツ科学』（大学生の健康・スポーツ科学研究会編、道和本書院）							
注意事項								

科目名	地域保育基礎講座		単位数	2	授業時間数	60	担当教員 かがや たかふみ 加賀谷 崇文 他
ナンバリングコード	EDU21101		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	本授業では、これから三年間の短大教育を始めるに当たって、必要な基礎学力や学ぶための姿勢について講義を行う。また、地域保育学科の理念を理解し、特色を持った保育者となるための教育も行う。 後期は、公務員試験対策として基礎学力や一般教養についての具体的な学習を行う。						
到達目標	1. 短期大学の学びを理解している。 2. 地域保育学科の教育理念を理解し、特色を持った保育者になることを目指している。 3. 発表を人前で行うことができる。 4. 公務員試験を合格することができる学力を有している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1,2） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	資格取得必要事項の確認		
	第2回	内容	学校施設紹介・図書館利用方法	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	授業内容の確認		
	第3回	内容	学長講話	予習	事前に伝える		
				復習	講話内容を整理する		
	第4回	内容	入学前課題解説	予習	事前に伝える		
				復習	担任の指導内容を整理する		
	第5回	内容	発表について	予習	事前に伝える		
				復習	発表のための本を読む		
	第6回	内容	大学での学び①（教科書・ノートについて）	予習	教科書 31～74 ページを読んでおく		
				復習	授業内容の確認		
	第7回	内容	大学での学び②（自分の意見の伝え方・発表について）	予習	教科書 97～114、179～192 ページを読んでおく		
				復習	授業内容の確認		
	第8回	内容	大学での学び③（論文の書き方・プレゼンテーションの方法）	予習	教科書 133～178、193～206 ページを読んでおく		
				復習	授業内容の確認		
	第9回	内容	レジュメ提出・発表準備	予習	レジュメの作成		
				復習	レジュメの修正		
	第10回	内容	発表①	予習	発表の練習		
				復習	他の学生の発表を振り返る		
	第11回	内容	発表②	予習	発表の練習		
				復習	他の学生の発表を振り返る		
	第12回	内容	学科企画	予習	事前に伝える		
				復習	企画内容を整理する		
	第13回	内容	外部講師講演会	予習	事前に伝える		
				復習	講演内容を確認する		
	第14回	内容	女性としての学び	予習	事前に伝える		
				復習	授業内容の確認		
	第15回	内容	学外活動（行先未定）	予習	施設の概要を知っておく		
				復習	見学時の感想を整理する		
	第16回	内容	後期オリエンテーション、保育士・保育を取り巻く状況	予習	ニュースを見る、新聞を読む。		
				復習	保育士として出来ることを考える。		
	第17回	内容	少子化問題	予習	ニュースを見る、新聞を読む。		
				復習	少子化対策を考える。		
	第18回	内容	子どもへの虐待問題・数学基礎	予習	ニュースを見る、新聞を読む。		
				復習	虐待事件を考える。		
	第19回	内容	子どもの貧困問題・作文を書く	予習	ニュースを見る、新聞を読む。		
				復習	原因や問題を考える。		
	第20回	内容	待機児童問題・歴史	予習	ニュースを見る、新聞を読む。		
				復習	対策を考える。		

第 21 回	内容	海外の保育事情・男性の育児・保育専門試験	予習	ニュースを見る、新聞を読む。
			復習	日本と海外の保育を比較する。
第 22 回	内容	ハラスメント・求められる保育士とは	予習	ニュースを見る、新聞を読む。
			復習	保育士の役割を考える。
第 23 回	内容	復習・まとめのテスト	予習	ニュースを見る、新聞を読む。
			復習	自分の将来を考えてみる。
第 24 回	内容	保育の歴史・社会科学	予習	ニュースを見る、新聞を読む。
			復習	保育の歴史をまとめる。
第 25 回	内容	保育士の待遇・数学課題	予習	ニュースを見る、新聞を読む。
			復習	保育士の給料が低い理由を考える。
第 26 回	内容	働き方改革・生物基礎	予習	ニュースを見る、新聞を読む。
			復習	ワークライフバランスを考える。
第 27 回	内容	女性の職業・歴史	予習	ニュースを見る、新聞を読む。
			復習	興味がある職業を考える。
第 28 回	内容	人を守る法律・保育士採用専門	予習	ニュースを見る、新聞を読む。
			復習	労働基準法を学ぶ。
第 29 回	内容	現代社会の問題・専門試験演習	予習	ニュースを見る、新聞を読む。
			復習	どのような問題があるのか考える
第 30 回	内容	教養試験演習	予習	全ての資料を整理する。
			復習	後期に学んだことを振り返る。
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	Google Classroom 等を用いて適宜行う。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（□）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（ ）％、作品・発表（50％）、実技（ ）％、授業態度【出席、課題への取り組みなど】（50％）			
教科書	『改増版 大学基礎講座』（藤田哲也ほか、北大路書房）			
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）			
注意事項	この授業は教員のオムニバス方式で行われる。			

科目名	情報処理		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	EDT21101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他( )							
授業の内容	Microsoft Office に含まれる事務処理系ソフトウェア群のうち、文書作成用ソフトウェア (Word)、表計算用ソフトウェア (Excel) およびプレゼンテーション用ソフトウェア (PowerPoint) の基本的な取り扱い方を学ぶ。 授業の後半では、各ソフトウェアの同時利用などの応用課題に取り組む。							
到達目標	1. 幼児教育・保育の現場での情報メディア活用法を習得している。 2. パソコン初心者、「覚えるよりも慣れること」の大切さを理解している。 3. パソコン経験者は、「より賢いパソコン活用の仕方」を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科 ( ) 地域保育学科 ( 1, 2 ) 文化表現学科 ( )							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス インターネットでのメール、Windows の基礎知識、日本語の入力、ソフトウェアの起動終了、その他	予習	シラバスを読んでおく。			
				復習	パソコンの基本操作を確実に行う。			
	第2回	内容	Word の学習① やさしい文書の作成、その他	予習	Word の編集画面の内容を理解する。			
				復習	配布資料を用いて入力練習をする。			
	第3回	内容	Word の学習② 表の取り扱い、文章の修飾(フォント、下線、網かけ、レイアウト、等々)、その他	予習	表の取り扱い (Word の場合) について確認する。			
				復習	指定された課題 (表付き文書) を作成する。			
	第4回	内容	Word の学習③ 文章の修飾 (クリップアート、ワードアート、図・画像の挿入、ページ罫線)、その他	予習	文書の基本的な修飾機能について確認する。			
				復習	指定された課題 (修飾付き文書) を作成する。			
	第5回	内容	Word の学習④ やや高度な文書加工 (ページ番号、ヘッダー・フッター、段落、文字列の検索・置換)、その他	予習	文書の応用的な修飾機能について確認する。			
				復習	指定された課題 (応用修飾付き文書) を作成する。			
	第6回	内容	Excel の学習① 基本的な表 (数表) の作成、その他	予習	Excel の編集画面の内容を理解する。			
				復習	表作成を通して Word の操作との違いを理解する。			
	第7回	内容	Excel の学習② 表 (数表) の作成 (関数の取り扱い、文字の装飾、行・列の加工、等々)、その他	予習	資料類にて示された組み込み関数を確認する。			
				復習	指定された課題 (計算付き数表) を作成する。			
	第8回	内容	Excel の学習③ より高度なデータ処理 (条件判定、セル参照、グラフ)、その他	予習	条件判定の指定方法について確認する。			
復習				指定された課題 (条件付き数表) を作成する。				
第9回	内容	Excel の学習④ より高度なデータ処理 (簡単なデータベース、フィルタリング)、その他	予習	入力値の並べ替え方法について確認する。				
			復習	指定された課題 (入力値の抽出処理) を作成する。				
第10回	内容	PowerPoint の学習① スライド作成の基本 (文字入力、スライドの挿入・削除・置換)、その他	予習	PowerPoint の編集画面の内容を理解する。				
			復習	指定された課題 (簡単なスライド) を作成する。				
第11回	内容	PowerPoint の学習② スライド作成の応用 (図表・画像の挿入、アニメーション効果)、その他	予習	スライドの応用的な修飾方法について確認する。				
			復習	指定された課題 (前回の成果物の改良) を作成する。				
第12回	内容	Word および Excel の応用① 長文レポート (鑑賞文など) の作成、その他	予習	Word および Excel の基本操作を再確認する。				
			復習	指定された課題 (両ソフトの同時利用) を作成する。				
第13回	内容	Word および Excel の応用② 各ソフトウェアの同時使用、Excel を用いた数学問題の求解、その他	予習	Word および Excel の応用操作を再確認する。				
			復習	指定された課題 (数学問題の求解など) を作成する。				
第14回	内容	PowerPoint の応用 Word および Excel を併用した高度なスライドの作成、その他	予習	PowerPoint の基本操作を再確認する。				
			復習	指定された課題 (授業時に指示する) を作成する。				
第15回	内容	全体のまとめ 幼児教育・保育の現場での情報メディア活用法について、各自の見解をまとめる。	予習	これまでに配布済みの全資料類に目を通しておく。				
			復習	授業時に指定された内容のレポートを作成する。				
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
課題へのフィードバック	提出されたレポート・課題については、必要に応じて改訂増補された成果物の再提出を求める。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 ( ) する / (○) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (50%)、授業態度 (50%)							
教科書	『Windows10 対応 30 時間でマスター Word2016』(実教出版企画開発部、実教出版株式会社) 『Windows10 対応 30 時間でマスター Excel2016』(実教出版企画開発部、実教出版株式会社)							
参考文献	『Windows10 対応 30 時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2016』(実教出版企画開発部、実教出版株式会社)							
注意事項	パソコンの操作はピアノの演奏と同じで、触れる機会が多ければ多いほど早く上達する。パソコンに対して苦手意識のある人は、たとえば授業時間外にネットサーフィンを行う等して、パソコンの取り扱いに慣れ親しむようにするとよい。							

科目名	英語	単位数	2	授業時間数	60	担当教員	はまな なな 浜名 那奈
ナバリンクコード*	ENL21101	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	たとえ英語に対する苦手意識をもっていたとしても、保育者は、日本語を母国語としない子どもたちが安心して楽しい園生活を送れるよう、彼らやその保護者を支える人であってほしい。この授業では、楽しく英語に親しみながら、多文化への理解と、積極的にコミュニケーションをとる勇気を身に着けることをねらいとする。						
到達目標	1. 様々な文化的背景の人々がいることを理解し、受け入れられる。 2. 日本語を母国語としない相手とも、積極的にコミュニケーションがとれる。 3. 英語のアクティビティに関する知識をもち、楽しんで取り組める。 4. 保育者として必要な英語力を有している。						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 1,2,3,4 ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	英語での自己紹介 英語の名前について	予習	シラバスを読んでおく。		
				復習	英語での自己紹介を声に出して練習する。		
	第2回	内容	英語圏の4月の行事 アクティビティ①	予習	イースターとは何か、調べておく。		
				復習	授業で行ったアクティビティを練習する。		
	第3回	内容	英語で話しかけられたときの対応	予習	英語で話しかけられたらどうするか、考える。		
				復習	英語で話しかけられたときの対応を練習する。		
	第4回	内容	英語圏の5月の行事 アクティビティ②	予習	母の日について調べておく。		
				復習	授業で行ったアクティビティを練習する。		
	第5回	内容	登園時の会話	予習	日本語での登園時の挨拶を調べておく。		
				復習	登園時の会話を声に出して練習する。		
	第6回	内容	降園時の会話	予習	日本語での降園時の挨拶を調べておく。		
				復習	降園時の会話を声に出して練習する。		
	第7回	内容	英語圏の6月の行事 アクティビティ③	予習	父の日について調べておく。		
				復習	授業で行ったアクティビティを練習する。		
	第8回	内容	子どもの体調不良	予習	子どもが体調不良の際の対処法を考えておく。		
				復習	体調不良に関する表現を声に出して練習する。		
	第9回	内容	保護者との電話	予習	日本語での電話のマナーについて調べておく。		
				復習	電話での表現を声に出して練習する。		
	第10回	内容	オノマトペを楽しもう	予習	オノマトペとは何か、調べておく。		
				復習	オノマトペを声に出して練習する。		
第11回	内容	英語圏の7・8月の行事 アクティビティ④	予習	アメリカの独立戦争について調べる。			
			復習	授業で行ったアクティビティを練習する。			
第12回	内容	排泄に関する会話	予習	排泄の発達の個人差について調べておく。			
			復習	排泄に関する表現を声に出して練習する。			
第13回	内容	園での食事・アレルギー	予習	子どもの食物アレルギーについて調べておく。			
			復習	食事に関する表現を声に出して練習する。			
第14回	内容	お制作	予習	「製作」と「制作」の違いを調べておく。			
			復習	お制作の表現を声に出して練習する。			
第15回	内容	英語ではがきを書く	予習	宛先を決め、住所を調べ、はがきを用意する。			
			復習	別の相手にも英語ではがきを書く。			
第16回	内容	発表：英語の絵本読み聞かせ①	予習	発表の準備をする。			
			復習	発表をふり返る。			
第17回	内容	発表：英語の絵本読み聞かせ②	予習	発表の準備をする。			
			復習	発表をふり返る。			
第18回	内容	発表：英語の絵本読み聞かせ③	予習	発表の準備をする。			
			復習	発表をふり返る。			
第19回	内容	英語圏の9・10月の行事 アクティビティ⑤	予習	ハロウィンについて調べておく。			
			復習	授業で行ったアクティビティを練習する。			
第20回	内容	子どものケンカ	予習	子どものケンカにどう対処すべきか考える。			
			復習	ケンカに関する表現を声に出して練習する。			

第21回	内容	子どものケガ	予習	子どものケガにどう対処すべきか考える。
			復習	ケガに関する表現を声を出して練習する。
第22回	内容	ベビーシャワーについて 妊婦さんと赤ちゃん	予習	ベビーシャワーとは何か、調べておく。
			復習	妊婦や乳幼児に関する表現を練習する。
第23回	内容	英語圏の11月の行事 アクティビティ⑥	予習	アメリカの感謝祭について調べておく。
			復習	授業で行ったアクティビティを練習する。
第24回	内容	園外保育	予習	園外保育で留意すべきことを考えておく。
			復習	園外保育に関する表現を声を出して練習する。
第25回	内容	障害のある子	予習	「障害」「障がい」「障碍」について調べる。
			復習	障害に関する表現を声を出して練習する。
第26回	内容	英語圏の12月の行事 冬のお便りを書く	予習	宛先を決め、住所を調べ、カードを用意する。
			復習	別の相手にも冬のお便りを書く。
第27回	内容	英語圏の1～3月の行事 アクティビティ⑦	予習	バレンタインデーについて調べておく。
			復習	授業で行ったアクティビティを練習する。
第28回	内容	発表：英語のアクティビティ①	予習	発表の準備をする。
			復習	発表をふり返る。
第29回	内容	発表：英語のアクティビティ②	予習	発表の準備をする。
			復習	発表をふり返る。
第30回	内容	発表：英語のアクティビティ③	予習	発表の準備をする。
			復習	発表をふり返る。
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。				
課題へのフィードバック	発表に対して講評する。 小テストについて解説を行い、リフレクション・カードにコメントを付す。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない ※各回、ふり返りの小テストを実施する 成績評価の方法：作品・発表（50%）授業態度【積極的参加】（50%）			
教科書	なし			
参考文献	配布プリントで、その都度紹介する。			
注意事項	毎回、A4サイズのプリントを配布する。30回分のプリントを収納できるよう、A4サイズのファイルを用意すること。 発表の準備をすること。			

科目名	心理学入門		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ナンバリングコード	EDP21101		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	心理学は人の心という誰にとっても身近なものを扱う学問であるが、領域は多岐に渡り、様々な分野の「心理学」がある。本講義では、心理学における主要な考え方を紹介するとともに、学生が授業の中で心理学的な体験をすることも目指している。						
到達目標	1. 心理学という学問領域を理解している。 2. 心理学の諸領域を理解している。 3. 心理学の代表的な理論を習得している。 4. 自身の体験と心理学の理論を関連付けることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 1、2 ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	心理学とは	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	授業内容の確認		
	第2回	内容	心理学の歴史	予習	心とは何か考えてみる		
				復習	授業内容の確認		
	第3回	内容	認知と心理学	予習	自分自身の感覚を理解しておく		
				復習	自分の生活に当てはめて考える		
	第4回	内容	行動と心理学	予習	自分の行動パターンの特徴を考えてみる		
				復習	自分の生活に当てはめて考える		
	第5回	内容	発達と心理学	予習	自分と子どもの心の違いを考えてみる		
				復習	自分の生活に当てはめて考える		
	第6回	内容	知能と心理学	予習	知能と学力の違いを考えてみる		
				復習	自分の生活に当てはめて考える		
	第7回	内容	性格と心理学	予習	自分の性格について考えてみる		
				復習	自分の生活に当てはめて考える		
	第8回	内容	心理テストと心理学	予習	自分の性格のわからないところを考えてみる		
				復習	自分の生活に当てはめて考える		
第9回	内容	精神医学と心理学	予習	心の不健康について考えてみる			
			復習	自分の生活に当てはめて考える			
第10回	内容	悩みと心理学	予習	自分の悩みを振り返ってみる			
			復習	自分の生活に当てはめて考える			
第11回	内容	対人援助と心理学	予習	自分と他者の関わり方を考えてみる			
			復習	自分の生活に当てはめて考える			
第12回	内容	その他の心理学	予習	心理学の種類を調べる			
			復習	自分の生活に当てはめて考える			
第13回	内容	心理学と研究	予習	客観的データとは何か考えてみる			
			復習	自分の生活に当てはめて考える			
第14回	内容	心理学と実験	予習	心理学の実験法を調べてみる			
			復習	自分の生活に当てはめて考える			
第15回	内容	心理学と生活	予習	心理学を活かせる場面を考えてみる			
			復習	自分の生活に当てはめて考える			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	テストの結果について知らせる。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(90%)、授業態度【積極的参加】(10%)						
教科書	『新体系 看護学全書 基礎分野 心理学』（田中一彦、長田久雄、メヂカルフレンド社）						
参考文献							
注意事項	本授業内ではGoogle Classroomなどを用いて、アクティブラーニングやグループワークを行います。						

科目名	マンガ・イラスト表現		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いいだ こういちろう 飯田 耕一郎
ナバリンコード	ART21101		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・ <b>遠隔</b> ・その他( )							
授業の内容	マンガは絵と物語の両方を合わせた世界なので、デッサン、キャラクター、背景、パースなどの基本を複合的に進めていく形になると思います。 イラストもまた物語性を理解することによって創作の幅が広がるものと考えて大きな区別はありません。							
到達目標	1. 1絵を描くための基本を理解してキャラクターを描けるようにしていく。 2. キャラクターの感情表現が出来るようにしていく。 3. 人物に合わせて背景も描けるためのパースの基礎を理解していく。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 1.2) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	【○と口を描こう】円と四角を描けることが基本の基本。	予習	シラバスを確認する。			
				復習	円と四角を描いてみる。			
	第2回	内容	【いろんな表情を描こう】表情が変化するパターンを学ぶ。	予習	シラバスを確認しておく。			
				復習	いろんな表情を描いてみる。			
	第3回	内容	【感情の表現を描こう】感情表現を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	感情の表現をあらためて描いてみる。			
	第4回	内容	【喜怒哀楽の表情を描こう】感情表現を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	喜怒哀楽の表情をあらためて描いてみる。			
	第5回	内容	【色んな顔の向きを描こう】色んな角度の顔を描けるようにする。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	色んな顔の向きのバリエーションを描いてみる。			
	第6回	内容	【自画像を描こう】対象をしっかりと描く。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	自画像の課題のバリエーションを描いてみる。			
	第7回	内容	【顔と表情を決める】顔を構築する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	顔と表情を決める課題のバリエーションを描いてみる。			
	第8回	内容	【透視図法の基礎を学ぼう】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。			
				復習	透視図法の基礎のバリエーションを描いてみる。			
第9回	内容	【一点透視図法から二点透視図法】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。				
			復習	パースの課題のバリエーションを描いてみる。				
第10回	内容	【透視図法のまとめ】透視図法を再確認。	予習	遠近のある物を描いてみる。				
			復習	透視図法のバリエーションを描いてみる。				
第11回	内容	【人物と背景】人物と背景のイラストを完成させる。	予習	背景のイメージを固めておこう。				
			復習	人物と背景のバリエーションを描いてみる。				
第12回	内容	【全身で感情表現してみよう】感情と動きを全身で描く。	予習	全身の動きを描いてみる。				
			復習	全身で感情表現の課題のバリエーションを描いてみる。				
第13回	内容	【シワの描き方を学ぼう】シワの描き方を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。				
			復習	シワの描き方の課題のバリエーションを描いてみる。				
第14回	内容	【私の部屋を描こう】人物と背景を合わせて書く練習課題となります	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。				
			復習	私の部屋を描いてみる。				
第15回	内容	【私の部屋を描こう】人物と背景を合わせて書く練習課題となります	予習	課題を完成させる。				
			復習	私の部屋の課題のバリエーションを描いてみる。				
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験(0%)、レポート・課題(30%)、作品・発表(20%)、実技(30%)、授業態度(20%)【居眠り・集中力のなさ】							
教科書	なし							
参考文献	なし							
注意事項								

科目名	日本語表現	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	はまな なな 浜名 那奈
ナバリングコード	EDU21102	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	子どもがことばの発達とともに日本語を獲得していくとき、保育者はそのよき手本でありたい。この授業では、保育者に必要な日本語表現を習得するとともに、発表を通じて、ことばで伝える力を磨く。また、子どもたちにことばのもつ面白さ、魅力を伝えられるよう、優れた日本語表現を味わい、ことば遊びを楽しむ。						
到達目標	1. ことばでわかりやすく伝える技術を習得している。 2. 保育者として必要な漢字、熟語等の語彙を習得している。 3. 優れた日本語表現を味わう鑑賞力を身につけている。 4. 緊張していても人前で発表できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1,2,3,4 ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	発表：子どもに覚えてもらうための自己紹介	予習	シラバスを読んでおく。		
				復習	自己紹介の表現をさらに磨いてみる。		
	第2回	内容	詩を鑑賞する	予習	詩が好きか嫌い、理由も含めて考える。		
				復習	詩の朗読の練習をする。		
	第3回	内容	間違えやすい表記・熟語・漢字	予習	間違えやすい表記・熟語・漢字を調べる。		
				復習	正しい表記、熟語、漢字の書き方を覚える。		
	第4回	内容	実践敬語①書く	予習	敬語について調べる。		
				復習	正しい敬語の書き方を覚える。		
	第5回	内容	実践敬語②話す	予習	正しい敬語の話し方を調べる。		
				復習	正しい敬語の話し方を覚える。		
	第6回	内容	ことば遊び	予習	日本語のことば遊びについて調べる。		
				復習	ことば遊びの作品を作ってみる。		
	第7回	内容	なぜなぞとクイズ	予習	なぜなぞとクイズの違いを調べる。		
				復習	なぜなぞとクイズを作ってみる。		
	第8回	内容	文章を書くときのポイント	予習	文章を書くときの留意点を考えてみる。		
				復習	ポイントを意識して文章を書く。		
第9回	内容	連絡帳を書く	予習	連絡帳の書き方について調べる。			
			復習	連絡帳を書く練習をする。			
第10回	内容	子どもに文字を教える	予習	文字の教え方について調べる。			
			復習	文字を教える練習をする。			
第11回	内容	子どもの質問に答える	予習	子どもの質問の答え方について調べる。			
			復習	子どもの質問に答える練習をする。			
第12回	内容	発表：好きなものを伝える①：課題テーマ	予習	発表の準備をする。			
			復習	発表のふり返りをする。			
第13回	内容	発表：好きなものを伝える②：課題テーマ	予習	発表の準備をする。			
			復習	発表のふり返りをする。			
第14回	内容	手紙を書く	予習	宛先を決め、住所を調べ、内容を考える。			
			復習	別の相手にも手紙を書く。			
第15回	内容	発表：好きなものを伝える③：自由テーマ	予習	発表の準備をする。			
			復習	発表のふり返りをする。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	小テストの解説を行い、リフレクション・ペーパーにコメントを付す。 発表に対する講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）						
教科書	なし						
参考文献	配布プリントで、その都度紹介する。						
注意事項	発表の回以外は、授業内で小テストやミニ発表を行う。発表は緊張して当然なので、この授業で場数を踏んで少しずつ慣れていってほしい。 毎回プリントを配布するので、収納できるよう、A4サイズのファイルを用意すること。						

科目名	データサイエンス		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	STS21101		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	本授業では、パソコンの表計算ソフトウェアを併用した統計処理の基本を学ぶ。 また、実際の集計データ(学外事業体が公開提供しているものなど)を用いて、データ処理業務の一端を模擬的に体験する。							
到達目標	1. データ処理演習を通して、データが内包する様々な情報の意味を理解できる。 2. パソコンを積極的に活用する作業について、その利便性や問題点を理解できる。 3. 今後の社会に必要とされる基本的な数理的思考や、データの分析・活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( 2,3,4 )							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 統計学の基本①: 統計学の成り立ちと意義	予習	シラバスを読んで、授業の流れを把握する。			
				復習	配布プリントを再読し、疑問点を整理する。			
	第2回	内容	統計学の基本②: いろいろな統計値の意味	予習	第1回授業時の配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第3回	内容	統計学の基本③: 可視化を通して分かるデータの性質	予習	第2回授業までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第4回	内容	統計学の基本④: 様々な検定手法	予習	第3回授業までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第5回	内容	第1回～第4回の授業の総括	予習	第4回授業までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出题された課題Vの準備を始める。			
	第6回	内容	統計学演習①: 平均値、中央値、標準偏差、分散、順位、偏差値、etc.	予習	第5回授業時の配布プリントを再読する。			
				復習	授業時に出题された演習問題Iを手掛ける。			
	第7回	内容	統計学演習②: ABC分析、相関分析、回帰分析、etc.	予習	第5回・第6回の配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出题された演習問題IIを手掛ける。			
	第8回	内容	統計学演習③: 時系列分析、平均値の差の検定、分散の差の検定、etc.	予習	第5～7回までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出题された演習問題IIIを手掛ける。			
第9回	内容	統計学演習④: 独立性の検定、相関の検定、重回帰分析、etc.	予習	第5～8回までの全配布プリントを再々読する。				
			復習	授業時に出题された演習問題IVを手掛ける。				
第10回	内容	第6回～第9回の授業の総括	予習	第5～9回までの全配布プリントを再々読する。				
			復習	演習問題I～IVおよび既出の課題Vを完成する。				
第11回	内容	実際の集計データの処理①: 身近なデータ(身長と体重、etc.)の特徴を探る	予習	第10回授業時の配布プリントを再読する。				
			復習	追加配布プリントを再読する。				
第12回	内容	実際の集計データの処理②: 自然科学系データ(地震情報、etc.)の数値処理を学ぶ	予習	第10～11回までの全配布プリントを再々読する。				
			復習	追加配布プリントを再読する。				
第13回	内容	実際の集計データの処理③: 大規模データ(公共事業関連など)の分析を試みる	予習	第10～12回までの全配布プリントを再々読する。				
			復習	追加配布プリントを再読する。				
第14回	内容	第11回～第13回の授業の総括: 実際の集計データに係る処理結果の発表と考察	予習	第11～13回までの処理結果をまとめておく。				
			復習	発表内容に対する各自のコメントを整理する。				
第15回	内容	全授業の総括	予習	これまでの全配布プリントを再度熟読する。				
			復習	授業時に出题された課題VIを仕上げて提出する。				
予習に要する学習時間: 概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間: 概ね25分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業開講期間の後半において、実際の集計データに対する数値分析を履修者が分担して行い、その結果および解釈を互いに論評し合う。							
成績評価	試験期間における定期試験: 実施( )する/( )しない 成績評価の方法: レポート・課題(50%)、作品・発表(25%)、授業態度【積極的参加】(25%)							
教科書	『やさしく学ぶ データ分析に必要な統計の教科書』(羽山 博著、株式会社インプレス刊)							
参考文献	プリントを随時配布するほか、必要に応じて紹介する。							
注意事項	1. 本授業で取り上げる統計処理は、いずれもMicrosoft Excelの標準搭載機能を利用している。そのため、本授業を受講することによって“統計学の基本知識の習得”および“Microsoft Excelの操作全般に係る総復習”の機会を得ることができる。 2. 上記「授業計画」の内容は、授業の実際の進行具合などに応じて、適宜変更されることがある。 3. 担当教員の業務都合などの理由により授業の開講日時が変更される場合は、教務課掲示板にて通知する。							

科目名	保育原理 I		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いのう けいこ 伊能 恵子
ナンバリングコード	EDU22104		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	<p>本講義では、主に次のような内容を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の制度や現状、保育の思想や歴史について学び、保育の意義を学ぶ。</li> <li>2. 『保育所保育指針』・『幼稚園教育要領』・『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』を踏まえて、生活や遊びを中心とした保育内容、子ども理解や保育の計画といった保育の基本的な考え方を学ぶ。</li> <li>3. 保育・子育てに関する現状や課題を理解し、今日的な課題について考える。</li> </ol>							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の制度や現状、保育の思想や歴史について学び、保育の意義を理解している。</li> <li>2. 生活や遊びを中心とした保育内容、子ども理解や環境構成といった保育の基本的な考え方を理解している。</li> <li>3. 子どもの育ちにかかわる保護者・保育者にとっての保育の意義を理解している。</li> <li>4. 保育・子育てに関する現状や課題を理解し、今日的な課題について考えることができる。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	教科書の全体に目を通す			
				復習	幼稚園教育要領や保育所保育指針に目を通す			
	第2回	内容	保育と家庭福祉	予習	気になる社会問題を挙げ、理由を述べる			
				復習	子どもの育ちと家庭との関係を考える			
	第3回	内容	保育の社会的役割と責任	予習	身近な法律を考える			
				復習	社会的責任の観点からの保育の重要性を考える			
	第4回	内容	保育に関する法令及び制度（1）	予習	ガイドライン、法令とは何か調べる			
				復習	保育のあるべき姿と法令の必要性を考える			
	第5回	内容	保育に関する法令及び制度（2）	予習	保育とは何か考える			
				復習	現場で必要となる法令を考える			
	第6回	内容	法令からみる保育の意義及び目的	予習	保育士として大切にしたい保育内容を説明する			
				復習	法令を踏まえた保育の意義及び目的を考える			
	第7回	内容	保育の内容	予習	子どもが遊べる条件を考える			
				復習	5領域ごとの具体的な遊びを提示する			
	第8回	内容	保育の方法及び形態	予習	あそびが豊かになる環境について考える			
				復習	4つの保育形態の長短所をまとめる			
	第9回	内容	保育の環境	予習	子どもを理解するとはどういうことか考える			
				復習	子どもにとっての環境について考える			
	第10回	内容	子どもの理解に基づく保育の過程	予習	海外の保育を調べる			
				復習	具体的なあそびの提供を考える			
	第11回	内容	保育の思想と歴史の変遷（1） 諸外国編	予習	日本の保育に影響した人についてまとめる			
				復習	諸外国の保育の日本の保育への影響をまとめる			
	第12回	内容	保育の思想と歴史の変遷（2） 日本編	予習	現在の子どもに対する課題を考える			
				復習	現代保育の礎となる人についてまとめる			
	第13回	内容	保育の現状と課題	予習	保育観をまとめる			
				復習	「保育の現状と課題」をまとめる			
	第14回	内容	文献からの学び	予習	参考文献を探し、読んでくる			
				復習	参考文献をまとめる			
	第15回	内容	保育者に求められるもの、まとめ	予習	これまでの内容を整理する			
				復習	学んだ内容を整理する			
	予習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	課題や小テストのフィードバックを行う						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない</p> <p>成績評価の方法： 筆記試験（ %）、小テスト・レポート・課題（100%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）</p>							
教科書	『保育原理』（小田豊・神長美津子・箕輪潤子編著）光生館							
参考文献	『保育所保育指針解説』（厚生労働省、フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、フレーベル館） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（内閣府、フレーベル館）							
注意事項	課題については授業内のものもあることから、出席を要する							

科目名	保育原理Ⅱ		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	まつなが しずこ 松永 静子
ナンバリングコード	EDU22105		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	保育原理Ⅰでの学びを踏まえ、以下の内容を中心に学ぶ。 1. 保育の思想と歴史 2. 多様な保育の実践（国内外の実践や子ども主体の保育実践から学ぶ） 3. 保育所や幼稚園、認定こども園、地域保育型施設、認可外保育施設の現状や課題 現在の子どもや保護者を取り巻く課題							
到達目標	1. 保育の思想と歴史について基礎的な知識を理解している。 2. 国内外での保育の実践・内容や方法から子どもを主体に保育をする「意味」を理解する。 3. 保育所や幼稚園、認定こども園、地域保育型施設、認可外保育施設の現状や課題を理解している。 4. 保育の様々な課題について主体的に学ぶ姿勢を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1・2・3・4・5） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	授業オリエンテーション DVDを鑑賞し、「子ども」について考える	予習	要領・指針を読む			
				復習	子どもについて学びを振り返る			
	第2回	内容	保育所保育指針の改定のポイントと10の姿とは	予習	保育指針を読む			
				復習	10の姿を振り返る			
	第3回	内容	実習日誌から10の姿を検討する	予習	実習日誌記録を読む			
				復習	10の姿を振り返る			
	第4回	内容	保育の思想と歴史（日本における流れを中心に）倉橋 惣三の著作を読んでみる	予習	倉橋惣三著作を読む			
				復習	倉橋惣三を振り返る			
	第5回	内容	保育の思想と歴史（日本における流れを中心に）佐伯 胖の著作を読んでみる	予習	佐伯の著作を読む			
				復習	佐伯を振り返る			
	第6回	内容	レッジョ・エミリアアプローチから子ども主体の保育を学ぶ	予習	レッジョエミリアアプローチの資料収集			
				復習	学びを振り返る			
	第7回	内容	日本の中で子ども主体の保育実践の事例から学ぶ（保育園現場の保育者の報告予定）	予習	事例集を読む			
				復習	学びを振り返る			
	第8回	内容	日本の中で子ども主体の保育実践の事例から学ぶ（幼稚園現場の保育者の報告予定）	予習	事例集を読む			
				復習	学びを振り返る			
第9回	内容	夜間保育（延長保育など）について学ぶ（DVD）	予習	資料を収集する				
			復習	学びを振り返る				
第10回	内容	認定こども園の保育について学ぶ（DVD）	予習	資料を収集する				
			復習	学びを振り返る				
第11回	内容	認証保育所について学ぶ（現場の園長の報告予定）	予習	資料を収集する				
			復習	学びを振り返る				
第12回	内容	子ども哲学から子どもについて考え、子ども観を深める（外部講師）	予習	資料を収集する				
			復習	学びを振り返る				
第13回	内容	子どもを取り巻く現状と課題③熊本慈恵病院「こうのとりのゆりかご」、緊急的な状況にある女性への支援と子どもの権利	予習	資料を収集する				
			復習	学びを振り返る				
第14回	内容	子どもを取り巻く現状と課題④1人親家庭や外国籍の保護者など多様な家庭への支援	予習	資料を収集する				
			復習	学びを振り返る				
第15回	内容	まとめ	予習	本授業のまとめをする				
			復習	本授業の学びを振り返る				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポートを返却し、解説する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ 50 %）、レポート・課題（ 30 %）、作品・発表（ 10 %）、授業態度【リアクションペーパーによる】（ 10 %）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）「さあ、子どもたちの「未来」を話しませんか」小学館 汐見稔幸著							
参考文献								
注意事項								

科目名	教育原理		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	とねがわ あきひろ 利根川 彰博
ナバリンクコード	EDU22103		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	この授業では、他者との出会いの中に「教育」の根源的な性質が存在することを理解することから始める。そのうえで、子どもに対する考え方が歴史的にどのように変化し、学校教育へと制度化していったかを学んでいく。授業の後半では、今日的な教育課題へと視野を広げ、子どもをとりまく現状について理解を深めていく。							
到達目標	1. 人間の教育を成り立たせている諸要素を理解している。 2. 子どもの教育の歴史的・制度的な変遷を理解している。 3. 現代の日本社会の教育問題について意識を向ける。 4. これまで受けてきた教育経験を教育学の基礎的な諸概念を用いて説明することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1. 2. 4）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：教育学とは何か	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。			
				復習	授業の評価方法や注意事項を確認する。			
	第2回	内容	教育の概念①：人間の発達と赤ちゃんの特徴	予習	人間の赤ちゃんの特徴を調べる。			
				復習	哺乳類動物と人間の赤ちゃんを比較し、その特徴を整理する。			
	第3回	内容	教育の概念②：人間の発達過程と他者との関わり	予習	乳幼児と大人の会話場面を観察する。			
				復習	乳幼児と大人の相互行為の特徴を整理する。			
	第4回	内容	教育と社会①：教育における家庭と社会の役割	予習	「しつけ」の言葉の意味を調べる。			
				復習	教育の社会的機能についてまとめる。			
	第5回	内容	教育と社会②：分業化社会と教育	予習	課題文を読み、要点をまとめる。			
				復習	社会形態の変遷と教育の関係を整理する。			
	第6回	内容	教育の思想①：西洋近代の教育思想と近代的な子ども観	予習	今日的な子どものイメージを調べる。			
				復習	子ども観の変遷をまとめる。			
	第7回	内容	教育の思想②：日本社会における子ども観の変化と子どもの生活	予習	資料から読み取った内容をまとめる。			
				復習	日本社会の子ども観の変遷を整理する。			
	第8回	内容	中間のまとめと補論：子ども・家庭・社会の歴史的展開と相互の関連性	予習	これまでの授業の質問事項をまとめる。			
				復習	子ども・家庭・社会の関係を整理する。			
第9回	内容	教育の歴史①：西洋の近代学校教育制度の成立と展開	予習	資料から読み取った内容をまとめる。				
			復習	西洋の近代学校教育制度の変遷を整理する。				
第10回	内容	教育の歴史②：日本の近代学校教育制度の成立と展開	予習	資料から読み取った内容をまとめる。				
			復習	日本の近代学校教育制度の変遷を整理する。				
第11回	内容	教育の概念③：教育と社会化	予習	「社会化」という言葉の意味を調べる。				
			復習	「社会化」の具体的事例をまとめる。				
第12回	内容	教育の概念④：就学前教育から小学校への移行期と子どもの社会化	予習	課題文を読み、要点をまとめる。				
			復習	就学前教育と小学校の教育の特徴を整理する。				
第13回	内容	今日の教育の課題①：社会的マイノリティと教育	予習	課題文を読み、要点をまとめる。				
			復習	社会的マイノリティへの対応を整理する。				
第14回	内容	今日の教育の課題②：教育における排除と包摂	予習	課題文を読み、要点をまとめる。				
			復習	教育における排除の構造を整理する。				
第15回	内容	全体のまとめと補論：教育とは何か	予習	これまでの授業の質問事項をまとめる。				
			復習	教育とは何かについて意見をまとめる。				
	予習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内課題はコメントをつけて返却する							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（40%）、レポート・課題（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	なし							
参考文献	『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、フレーベル館）							
注意事項	・授業毎にプリントを配布する。配布プリントはファイルにまとめて保管しておくこと。							

科目名	子ども家庭福祉		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナンバリングコード	SWS22203		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	現代社会における児童の成長・発達、生活実態や子ども家庭福祉の歴史の変遷、理念や意義について学ぶ。子どもの人権擁護についてや制度や実施体系等について理解する。子ども家庭福祉の動向と展望について理解する。							
到達目標	1. 専門職のあり方や児童福祉と環境との関わりの問題を理解している。 2. 相談援助活動や家族支援のための施策等について理解している。 3. 児童福祉関係法とサービス体系の供給を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1・4 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	現代社会と子ども家庭	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	子どもの育ち、子育てのニーズ	予習	教科書「現代児童福祉」章の前半を読んでおく			
				復習	プリントを中心に現代児童福祉をまとめる			
	第3回	内容	子ども家庭福祉とは何か	予習	教科書「現代児童福祉」章の後半を読んでおく			
				復習	プリントを中心に子どもの環境内容をまとめる			
	第4回	内容	子どもと家庭の権利保障	予習	教科書「子どもの権利擁護」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に子どもの権利擁護をまとめる			
	第5回	内容	子ども家庭福祉にかかわる法制度	予習	教科書「児童福祉法体系」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に児童福祉法体系をまとめる			
	第6回	内容	子ども家庭福祉の実施体制	予習	教科書「実施体系」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に実施体系についてまとめる			
	第7回	内容	子ども家庭福祉の専門職	予習	教科書「専門職」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に専門職についてまとめる			
	第8回	内容	子ども家庭にかかわる福祉・保健	予習	教科書「母子保健」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に内容をまとめる			
第9回	内容	児童健全育成	予習	教科書「健全育成」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に母子保健についてまとめる				
第10回	内容	ひとり親家庭の福祉	予習	教科書「子育て家庭支援」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に子育て家庭支援をまとめる				
第11回	内容	児童虐待対策	予習	教科書「要保護児童支援」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に要保護児童についてまとめる				
第12回	内容	非行児童・情緒障害児への支援	予習	教科書「少年非行」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に非行少年についてまとめる				
第13回	内容	子どもと家庭にかかわる女性福祉	予習	教科書「保育サービス」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に保育サービスについてまとめる				
第14回	内容	子ども家庭への援助活動	予習	教科書「連携支援」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に連携支援についてまとめる				
第15回	内容	これまでのまとめ	予習	教科書・プリントの内容を整理する				
			復習	学習内容をまとめて、学習成果を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	・小テストを行い、試験後に解答を示し、解説をおこなう。 ・提出物等について確認を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（20%）、授業態度【積極的参加】（30%）※講義の中で必要に応じて小テストをおこなう。							
教科書	『子育てとケアの原理』（高橋貴志監修、望月雅和編著、北樹出版）							
参考文献								
注意事項								

科目名	社会福祉		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナンバリングコード	SWS22102		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係、福祉政策におけるニーズと資源、福祉政策の構成要素やその課題などについて学ぶことを目的としている。さらに、社会福祉における子ども家庭支援の視点についても理解する。							
到達目標	1. 福祉政策を理解している。 2. 現代における福祉課題を理解している。 3. 社会の変化について理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1・4 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	社会福祉の新たな展開	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	福祉政策理解の枠組み	予習	自身の生活と福祉のつながりを考えてくる			
				復習	現代生活と福祉の関係を理解する			
	第3回	内容	社会の変化と福祉	予習	教科書「生活と社会福祉」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に現代社会の変化をまとめる			
	第4回	内容	福祉と福祉政策	予習	教科書「生活保護」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に福祉政策についてまとめる			
	第5回	内容	福祉の思想と哲学	予習	教科書「社会福祉の歴史」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に福祉思想についてまとめる			
	第6回	内容	社会政策と福祉政策	予習	教科書「社会福祉の法律」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に福祉関連法をまとめる			
	第7回	内容	福祉政策の民間活動	予習	教科書「民間活動」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に民間活動についてまとめる			
	第8回	内容	保育と社会福祉	予習	教科書「保育と社会福祉」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に保育と福祉についてまとめる			
第9回	内容	福祉政策における必要と資源	予習	教科書「利用者保護」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に社会資源についてまとめる				
第10回	内容	障がい者福祉	予習	教科書「障がい者福祉」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に障がい者福祉の内容をまとめる				
第11回	内容	福祉政策の関連領域	予習	教科書「社会福祉従事者」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に福祉従事者についてまとめる				
第12回	内容	社会福祉制度の体系	予習	教科書「行政組織」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に福祉制度内容をまとめる				
第13回	内容	児童家庭福祉	予習	教科書「児童家庭福祉」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に児童家庭福祉の内容をまとめる				
第14回	内容	福祉教育	予習	教科書「福祉教育」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に福祉教育についてまとめる				
第15回	内容	これまでのまとめ	予習	教科書・プリントの内容を整理する				
			復習	学習内容をまとめて、学習成果を振り返る				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	・小テストを行い、試験後に解答を示し、解説をおこなう。 ・提出物等について確認を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（20%）、授業態度【積極的参加】（30%）※講義の中で必要に応じて小テストをおこなう							
教科書	『社会福祉の基本体系 第5版』（井村圭壯編著、勁草書房）							
参考文献	なし							
注意事項								

科目名	子ども家庭支援論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いしかわ まどか 石川 円
ナンバリングコード	SWS22103		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本講義では、保育士による子ども家庭支援の基本について学ぶ。子育て家庭の状況やニーズを理解し、その状況やニーズに応じた支援の展開や保育士の行う相談や支援の意義、役割について学んでいく。							
到達目標	1. 家族の意義と役割について理解している 2. 家族の諸相と社会状況の変化について理解している 3. 子育て支援体制の変遷と多様化について理解している 4. 保育士や幼稚園教諭による家庭支援の意義と内容について理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1・4・5）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	家族の意義と機能	予習	シラバスの内容を確認する			
				復習	自分にとって家族とはなにか考える			
	第2回	内容	家庭支援の必要性	予習	どのような家庭に支援が必要か考える			
				復習	自分の家族の強みとはなにか考える			
	第3回	内容	保育士・幼稚園教諭が行う家庭支援の原理	予習	テーマについて自分の考えをまとめる			
				復習	近隣の保育所などの子育て支援について調べる			
	第4回	内容	家庭生活をとりまく社会状況の変化	予習	自分の幼少時と現在の違いについて考える			
				復習	子ども食堂について調べる			
	第5回	内容	地域社会の変容と家庭支援	予習	自分や家族と地域のつながりについて調べる			
				復習	自分と地域とのつながりについてまとめる			
	第6回	内容	現代の家庭における人間関係	予習	小説や映画に登場する家族について調べる			
				復習	自分と家族との関係性について考える			
	第7回	内容	男女共同参画社会とワーク・ライフ・バランス	予習	近年の労働環境について調べる			
				復習	将来、どのような働き方をしたいか考える			
	第8回	内容	子育て家庭福祉を図るための社会資源	予習	子育てをサポートしているモノについて考える			
				復習	どのようなサポートがあればいいか考える			
第9回	内容	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	予習	日本の子育て支援策について調べる				
			復習	授業内容を読み直す				
第10回	内容	多様な子育て支援サービス	予習	新聞などで全国の子育て支援サービスを調べる				
			復習	地域の子育て支援サービスを調べる				
第11回	内容	保育所入所児童の家庭への支援	予習	実習での経験を思い出しておく				
			復習	授業の内容を読み返す				
第12回	内容	地域の子育て家庭への支援	予習	保育所入所児童とその家族との違いを考える				
			復習	子育て支援プログラムを考える				
第13回	内容	要保護児童およびその家庭に対する支援	予習	要保護児童に関するニュースを調べる				
			復習	信頼関係について考える				
第14回	内容	子育て支援における関係機関との連携	予習	子育て支援の担い手について調べる				
			復習	子育てイベントを考える				
第15回	内容	家庭支援の課題と今後の展望	予習	これまでの配布資料を読み返す				
			復習	こんごの子育て支援について考える				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポートや課題、コメントの返却を行い、フィードバックを行う。 優秀な課題は授業内で紹介する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（80%）、授業態度【積極的参加、課題への取り組み】（20%）							
教科書	なし							
参考文献	『家庭支援論』（新保幸雄・小林理編著、中央法規出版、2017）							
注意事項	配布資料はファイリングして持参すること。毎回、ミニレポートを出す。							

M 科目名	社会的養護 I		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	まんどう あきお 萬燈 章雄
ナバリンクコード	SWS22101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	社会的養護を必要としている子どもたちへの理解を深める。また、社会的養護の支援フレームについて学習するとともに、特有の課題及び特性についても理解する。課題を抱えながら生活する子どもたちに、本来もつ権利を守りながら保育士としてどのように関わり、支援していくのかを学習する。							
到達目標	1. 社会的養護を必要としている子どもたちの現状を理解している。 2. 「子どもの最善の利益」とは何かを知り、支援者がどのようなスタンスで望めばよいのかを習得している。 3. 社会的養護に携わる保育士の倫理と責務について身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 1・4 ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション～事例提供 社会的養護に携わる支援者のあり方	予習	シラバスに目を通すこと			
				復習	支援者の基本的スタンスについて理解する			
	第2回	内容	子ども観の変遷と社会的養護の歴史について	予習	こども観とは何かについて調べる			
				復習	社会的養護の歴史についてまとめる			
	第3回	内容	社会的養護の仕組み 児童相談所と「措置」制度について	予習	措置制度について調べる			
				復習	児童相談所の機能と役割についてまとめる			
	第4回	内容	児童福祉施設について 児童福祉法で定める施設の概要について	予習	児童福祉施設の根拠規定について調べる			
				復習	児童福祉施設の種類についてまとめる			
	第5回	内容	里親制度・親権と養子縁組について	予習	里親制度について調べる			
				復習	里親や養子縁組制度についてまとめる			
	第6回	内容	児童虐待と社会的養護 虐待の現状と子どもの気持ちについて	予習	虐待による重大事件について調べてみる			
				復習	被虐待児の気持ちについて考えてみる			
	第7回	内容	「子どもの最善の利益」と権利擁護 子どもの権利条約批准とその後について	予習	アドボケイトについて調べる			
				復習	子どもの権利擁護についてまとめる			
	第8回	内容	社会的養護の概念及び仕組みについて 中間まとめ 理解度チェック	予習	これまでの内容について復習する			
				復習	具体的な課題について整理する			
第9回	内容	アタッチメントについて 「子どもの安全基地」について	予習	ジョン・ボウルビイについて調べる				
			復習	安全基地についてまとめる				
第10回	内容	施設養護と家庭養護 「施設の小規模化」について	予習	施設の小規模化について調べる				
			復習	小規模化の特徴についてまとめる				
第11回	内容	社会的養護の基本原則について アイデンティティーの形成とパーマネンシー保障	予習	ライフストーリーワークについて調べる				
			復習	社会的養護の基本原則についてまとめる				
第12回	内容	社会的養護実践のための専門的技術について 社会的養護に関わる専門職について	予習	施設の生活について調べておく				
			復習	専門的な技術について概要をまとめる				
第13回	内容	ジェノグラム・エコマップについて 記録の書き方・情報の整理など	予習	ジェノグラムについて調べる				
			復習	「情報共有」についてまとめてみる				
第14回	内容	情報の整理と共有について 事例を情報整理してみんなで共有してみよう	予習	記録作成の意義について考えてみよう				
			復習	「情報の共有」についてまとめてみる				
第15回	内容	今後の社会的養護の方向性について 最終まとめ 理解度チェックとレポート	予習	これまでの内容について今一度復習する				
			復習	具体的な課題について整理する				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
課題へのフィードバック	作成したレポート、事例整理、中間まとめチェックについてはコメントをつけて原則各自に返却します。 最終まとめチェックについては課題整理に関する具体的資料を配付します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（60%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極性】（40%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） なし							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 「社会的養護 I」 相澤 仁・林浩康 編集 中央法規；その他必要に応じて紹介します。							
注意事項	授業をとらして子どもの命・生活・権利を守る支援者の基本的スタンスを学んで欲しい。 受講マナーは守り、積極的な参加を期待します。基本、プリント資料配布で授業をすすめます。							

科目名	社会的養護Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	まんどろ あきお 萬燈 章雄
ナバリンコード	SWS22201		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	社会的養護を必要としている子どもたちの現状と支援について学ぶ。実践力を学習できるよう事例研究を通して支援の方法を考えていきたい。また、支援するスタッフとしてどのような姿勢で望むことが必要なのか、倫理や責務についても学ぶ。処遇の結論よりもそれを導き出していくプロセスに重点を置いて学習する。							
到達目標	1. アセスメントから支援方法まで事例を通してそのプロセスを理解している。 2. 様々なケースに応じてどのように対応していくのかを理解している。 3. より困難な場面でも、社会的養護に携わる保育士の職務と倫理に従い行動できることを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（2・4）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション～			予習	シラバスに目を通しておくこと	
			演習1 ある施設に就職した友人の愚痴			復習	事例検討の方法についてまとめる	
	第2回	内容	演習2 障害児入所施設の事例			予習	障害児者施設体系について調べる	
			「障害受容」と母親の気持ちを理解する			復習	障害受容についてまとめる	
	第3回	内容	演習3 障害児の失敗をする権利について（学校・施設）			予習	障害者の権利条約について調べる	
			本人のこだわりと周囲のストレス。折り合いの付け方など			復習	障害児の自立支援についてまとめる	
	第4回	内容	演習4 発達障害児への対応事例（学童保育所）			予習	発達障害について調べる	
			集団での対応と個別処遇			復習	障害児者の権利についてまとめる	
	第5回	内容	演習5 被虐待児への支援について（保育所・幼稚園）			予習	虐待のサインについて調べる	
			愛着に問題がある子への処遇について			復習	愛着障害についてまとめる	
	第6回	内容	演習6 乳児院から養護施設へ			予習	社会的養護に必要な施設について調べる	
			「愛着の移行」について			復習	「措置変更」についてまとめる	
	第7回	内容	演習7 日常生活支援（児童養護施設）			予習	「親子分離」について調べる	
			入所支援。アドミッションケアについて			復習	施設入所時の子どもも支援についてまとめる	
	第8回	内容	演習8 日常生活支援（児童養護施設）			予習	様々な施設の日課について調べてみる	
			インケアについて（ルールと日課）			復習	ルールと日課のあり方についてまとめてみる	
第9回	内容	演習9 日常生活支援（児童養護施設）			予習	養護施設の入所事由について調べてみる		
		インケアについて（愛着に課題のある子の処遇）			復習	処遇困難に子への対処方法についてまとめる		
第10回	内容	演習10 乳児院から里親へ 委託のプロセスや、施設のスタッフとしての支援のあり方など			予習	里親委託時の子の年齢構成について調べてみる		
					復習	里親委託の留意点についてまとめる		
第11回	内容	演習11 家族関係調整事例（児童養護施設）FSWの仕事			予習	ファミリーソーシャルワーカーについて調べる		
		なかなか約束通りに面会に来ない保護者事例			復習	関係諸機関との連携についてまとめてみる		
第12回	内容	演習12 子どもの巣立ちについて（児童養護施設）			予習	養護施設から巣立つ子どもの数を調べてみる		
		施設から巣立つ子どもの自立支援について			復習	リービングケアについてまとめる		
第13回	内容	演習13 児童の権利擁護 被措置児童虐待			予習	施設内虐待について調べる		
		援助者としての倫理と責務について			復習	援助者としての倫理と責務についてまとめる		
第14回	内容	演習14① 自立支援計画について（児童養護施設）			予習	自立支援計画について調べる		
		事例に基づくアセスメント			復習	事例についてアセスメントしてみる		
第15回	内容	演習14② 自立支援計画について（児童養護施設）			予習	指導方針を立ててみる		
		自立支援計画案を作成する			復習	施設処遇についてまとめてみる		
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	原則、事例ごとに全員課題についての意見など記載してレポートとして提出。簡単ですがコメントと評価をつけてできるだけ返却していくつもりです。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（20%）、実技（ ）、授業態度【積極性】（30%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） なし							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 「社会的養護Ⅱ」 相澤 仁・村井美紀・大竹 智編 中央法規 その他授業中に紹介します。							
注意事項	基本事例も含めプリント資料配布で授業を進めます。この授業は考える課程に授業の目的がありますので、授業マナーを守り意見発表や質問など積極的な参加を評価します。なお、回答の正誤についてあまり問いません。							

科目名	保育者論	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おがわ かつとし 小川 勝利
ナバリングコード	EDU22202	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	保育とは、我が国の社会を創り上げ、更には人類（以下、ホモサピエンス）の存続を担っていく営みです。現在、様々な形態の保育や子育てが展開されていますが、20万年の歳月を引き継いできた私たちホモサピエンスの望ましい子どもの育ちを進化からひもとき、その特性を理解した上で保育者として望ましい人格を追求する。						
到達目標	1. 保育環境を構築する上で、子どものより良い育ちを考慮しながら自身の考えを他者に説明することができる。 2. 人類及びその子育ての特徴を理解し、迷える保護者に自ら考えをもって支援することができる。 3. 保育における連携と協同の重要性を知り、チームで保育を行い自身の考えを述べるすることができる。 4. 学ぶことを楽しいと思えるようになる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1.2.3.4.5） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	担当教員の自己紹介と本授業の趣旨を説明する。全ての授業においてグループワーク、発表を行うのでそのグループ分けを行う。	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	本授業に望む事柄をまとめる		
	第2回	内容	「昭和の保育士と平成・令和の保育士の役割・職務内容の違い」について、グループで調査発表後、解説する。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく		
				復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる		
	第3回	内容	保育士の制度的位置づけ：児童福祉法における保育士の定義、保育士の資格・要件、欠格事由、信用失墜行為、秘密保持義務について、グループで調査発表後、解説する。更に、保育士の処遇改善について、手当を含め解説する。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく		
				復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる		
	第4回	内容	「現代社会の問題」と「子どもたちの変化（若者の問題）」及びその解決のための保育のあり方について、グループで調査発表後、解説する。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく		
				復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる		
	第5回	内容	「人類は競い合う動物なのか？」「協力し合う動物なのか？」このような人間の本性をグループで調査発表後、その結果を踏まえて人類の子育て保育環境を考える。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく		
				復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる		
	第6回	内容	「チンパンジーの子育て」に対比させ、「人類の子育ての特徴」を踏まえ、保護者支援を行う。「0歳から保育所に預けるのは赤ちゃんが可愛そう？」という疑問に対して、グループで調査発表後、解説する。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく		
				復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる		
	第7回	内容	「異年齢保育」「担任制保育」とは、どのような保育形態か？更に、人類の特性を踏まえて、あなたならどのような保育が人類の子育てに適合していると思うか、グループで調査発表後、解説する。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく		
復習				授業後の自身の考えの変容をまとめる			
第8回	内容	「子育てを放棄したい」と言って来たママに、あなたはどの向き合いますか？「現代のママたちは非常事態です」グループで調査発表後、解説する。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく			
			復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる			
第9回	内容	「シナプスの刈り込み」とは何か？調査発表後、乳幼児期が大切な時期と言われる根拠を解説する。更に、子どものトラブル。保育士として、どのように解決するのが良いのだろうか？グループで調査発表後、解説する。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく			
			復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる			
第10回	内容	偏食の多い子どもたちに、保育所の給食は「定量配膳」か？「バイキング形式」か？栄養士との連携を考える。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく			
			復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる			
第11回	内容	資質向上に関する組織的取り組みを保育士としてどのようなものがあったら良いと思うか？グループで話し合い発表後、実在する取り組みを紹介する。 保育室にはアナログ時計？それともデジタル時計？	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく			
			復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる			
第12回	内容	チームワークとは？ チーム保育と担任制保育の具体例をグループで調査発表後、解説する。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく			
			復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる			
第13回	内容	保育所における組織の実態とリーダーシップ。リーダーに求められる素質とはどのようなものか？グループで調査発表後、解説する。	予習	テーマについて、自身の考えをまとめておく			
			復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる			

	第 14 回	内容	秋草学園保育者論学会と題し、興味を持っているテーマについて学会形式でグループ発表後、質疑応答	予習	発表用の資料を作成しておくこと
				復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる
	第 15 回	内容	秋草学園保育者論学会と題し、興味を持っているテーマについて学会形式でグループ発表後、質疑応答	予習	発表用の資料を作成しておくこと
				復習	授業後の自身の考えの変容をまとめる
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	基本的に、授業時間内に解説する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（ ）%、作品・発表（30%）、実技（ ）%、授業態度【 】（ ）%				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） なし				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 保育の起源 保育を巡る今日的論考 （藤森平司、世界文化社）				
注意事項					

科目名	福祉施設の現状		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かたがい はるお 片貝 晴夫
ナンバリングコード	SWS22209		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	福祉施設の利用者は、社会的養護を必要としている子どもたちや障害を持った子どもたち（成人施設を含む）である。その利用者は施設でどのような生活をし、将来自立して生活を行うために保育士や職員はどのような支援を行っているのか、保育士の役割など事例を通して自立支援のあり方を理解し、課題を整理しながら実践の場で活用できるようにする。							
到達目標	1. 福祉施設に入所している子どもたちについて説明ができる。 2. 福祉施設の入所から退所までの流れを説明できる。 3. 各福祉施設の支援内容、職員としての支援について説明ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1. 4. 5 ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	社会的養護が必要な子どもの現状及び福祉施設はどのような役割を担っているか	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で修得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	福祉施設の入所から退所までの手続きおよび措置機関である児童相談所等の役割	予習	措置について調べる			
				復習	子どもの人権についてまとめる			
	第3回	内容	乳児院の現状と課題及び子どもたちの生活と保育士の役割・具体的な愛着関係の形成方法	予習	乳児院について調べる			
				復習	愛着関係形成について調べる			
	第4回	内容	児童養護施設の現状と課題及び保育士の役割や被虐待児への支援・自立に向けた支援のあり方	予習	保育士の役割について調べる			
				復習	自立に向けた支援のあり方をまとめる			
	第5回	内容	児童心理治療施設の現状と課題及び保育士の役割と家族支援のあり方	予習	児童心理治療施設について調べる			
				復習	保育士の役割をまとめる			
	第6回	内容	児童自立支援施設の現状と課題及び入所児童の事例から非行と虐待の関係について検証する	予習	非行問題について調べる			
				復習	非行虐待の関係についてまとめる			
	第7回	内容	母子生活支援施設の現状と課題及び事例を通して保育士の役割と支援のあり方を考える	予習	母子生活支援施設について調べる			
				復習	保育士の役割まとめる			
	第8回	内容	障害児（者）施設の現状と課題及び障害児（者）の自立と社会参加について事例を通して考える	予習	障害児（者）施設について調べる			
				復習	保育士の役割まとめる			
第9回	内容	児童発達支援施設の現状と課題及び施設内での訓練や保育士の役割を理解する	予習	児童発達支援センターについて調べる				
			復習	保育士の役割まとめる				
第10回	内容	里親制度の現状と課題及び被虐待児の増加と里親制度の意義について事例を通して考える	予習	里親制度について調べる				
			復習	里親制度の抱える課題についてまとめる				
第11回	内容	企業主導型保育園の現状と課題及び保育環境と保育者の期待や不安	予習	企業主導型保育園について調べる				
			復習	望ましい保育環境についてまとめる				
第12回	内容	小規模保育園や夜間保育園の現状と課題及び子どもの発達と保育環境について考える	予習	小規模保育園や夜間保育園について調べる				
			復習	保育士が抱える課題についてまとめる				
第13回	内容	福祉施設の倫理及び児童養護施設での体罰事例を通して子どもの人権や権利擁護を考える	予習	保育士の守るべき倫理について調べる				
			復習	虐待の防止策についてまとめる				
第14回	内容	認可外保育施設の現状と課題及び民間事業者参入に伴う認可外保育施設の増加について考える	予習	認可外保育施設について調べる				
			復習	事故防止についてまとめる				
第15回	内容	社会福祉法人の意義及び公共性重視型と市場原理重視型の違い	予習	社会福祉法人の運営について調べる				
			復習	社会福祉法人の公共的意義についてまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業中の課題についての説明、解説にて行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（60%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度「積極的参加」（40%）							
教科書	なし							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業でその都度紹介する							
注意事項								

科目名	保育の心理学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 いとう あきよし 伊藤 明芳
ナバリングコード	EDP22102		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	本講義では、発達心理学と教育心理学等の基礎的知識の獲得と現場で生きる実践的能力の応用を図ることを目的とする。保育方法の工夫への手立て、家庭や保護者との関わり、保育者自身の心の安定と成長等にもアプローチしたいと考えている。						
到達目標	1. 発達心理学、教育心理学等の基本および発展的知識を正確に習得している。 2. 学んだ知識を活用して、実際の保育現場の子どもの心の発達等について考えられる力を身につけている。 3. 学んだ知識を保育や子育て支援に活かすことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（2,3,4、 ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。		
				復習	授業内容と評価方法について理解する。		
	第2回	内容	保育の心理学の基礎① [発達理論]	予習	発達理論について調べる。		
				復習	発達理論について理解し整理する。		
	第3回	内容	保育の心理学の基礎② [発達理論]	予習	その他の発達理論について調べる。		
				復習	発達理論について理解し整理する。		
	第4回	内容	保育の心理学の基礎③ [教育心理学の理論等]	予習	教育心理学の理論等について調べる。		
				復習	教育心理学の理論等について理解し整理する。		
	第5回	内容	保育の心理学の基礎④ [教育心理学の理論等]	予習	その他の教育心理学の理論等について調べる。		
				復習	教育心理学の理論等について理解し整理する。		
	第6回	内容	知的機能	予習	知的機能について調べる。		
				復習	知的機能について理解し整理する。		
	第7回	内容	情緒	予習	情緒について調べる。		
				復習	情緒について理解し整理する。		
	第8回	内容	社会性	予習	社会性について調べる。		
				復習	社会性について理解し整理する。		
第9回	内容	発達障害 [発達障害とは何か] ①	予習	発達障害について調べる。			
			復習	発達障害について理解し整理する。			
第10回	内容	発達障害 [発達障害の種類] ②	予習	発達障害の種類について調べる。			
			復習	発達障害の種類について理解し整理する。			
第11回	内容	発達障害 [発達障害への対応] ③	予習	発達障害への対応について調べる。			
			復習	発達障害への対応について理解し整理する。			
第12回	内容	子どもの発達への関わりと保育方法の工夫	予習	子どもの発達について調べる。			
			復習	発達への関わりと工夫について理解し整理する。			
第13回	内容	家庭、保護者、他機関等との連携	予習	連携について調べる。			
			復習	他者・他機関との連携について理解し整理する。			
第14回	内容	保育者自身の心の健康	予習	心の健康について調べる。			
			復習	保育者の心の健康について理解し整理する。			
第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	本講義全体の学びと疑問点を整理する。			
			復習	学んだ知見の活用について考察をする。			
	予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。						
課題へのフィードバック	受講生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（30%）						
教科書	『発達心理学』（越智幸一編、大学図書出版）						
参考文献	講義の際に随時紹介する。						
注意事項	講義を中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りを活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。						

科目名	子ども家庭支援の心理学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ナバリングコード	EDP22103		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	1 生涯発達に関する心理学の基本的知識を身につけ、各発達段階の発達課題について理解すること、2 現代社会における家族・家庭のあり方や多様な家庭について理解すること、3 子どもの心の健康に関する課題について理解すること。これら3つの視点から子ども家庭支援について包括的に理解することを本講義の目的とする。						
到達目標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題について理解している 2. 家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得している 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解している 4. 子どもの精神保健とその課題について理解している						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1、2 ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、乳児期の発達	予習	シラバスを読んでキーワードを調べておく		
				復習	親子関係の重要性についてまとめる		
	第2回	内容	幼児期の発達	予習	幼児期の子どもの特徴について調べる		
				復習	幼児期の発達課題についてまとめる		
	第3回	内容	学童期の発達	予習	学童期の子どもの特徴について調べる		
				復習	学童期の目標設定についてまとめる		
	第4回	内容	青年期から成人期の発達	予習	青年期のライフイベントについて調べる		
				復習	青年期の発達課題についてまとめる		
	第5回	内容	老年期の発達	予習	老年期のライフイベントについて調べる		
				復習	老年期の発達課題についてまとめる		
	第6回	内容	家族・家庭の意義と機能	予習	家族・家庭の機能について調べる		
				復習	家族・家庭の意義と機能についてまとめる		
	第7回	内容	親子関係・家族関係の理解	予習	親子関係の機能について調べる		
				復習	親子・家族関係について発達の視点からまとめる		
	第8回	内容	子育ての経験と親としての育ち	予習	子育てと親の育ちについて調べる		
				復習	子育て経験と親の育ちについてまとめる		
第9回	内容	子育て家庭に関する現状と課題	予習	子育て家庭の現状と課題について調べる			
			復習	子育て家庭の現状と課題についてまとめる			
第10回	内容	ライフコースと仕事・子育て	予習	仕事と子育ての関係について調べる			
			復習	ライフコースと仕事・子育てについてまとめる			
第11回	内容	多様な家庭の理解と支援	予習	多様な家庭の現状と課題について調べる			
			復習	多様な家庭の現状と課題についてまとめる			
第12回	内容	特別な配慮を要する家庭の理解と支援 1	予習	特別な配慮を要する家庭の現状と課題を調べる			
			復習	特別な配慮を要する家庭に関してまとめる			
第13回	内容	特別な配慮を要する家庭の理解と支援 2	予習	特別な配慮を要する家庭への支援を調べる			
			復習	特別な配慮を要する家庭への支援をまとめる			
第14回	内容	子どもの心の健康に関わる問題	予習	子どもの心の健康について調べる			
			復習	子どもの心の健康についてまとめる			
第15回	内容	ふりかえりとまとめ	予習	これまでの学習内容について総復習する			
			復習	子ども家庭支援のあり方についてまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	試験について解説する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する/（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（90%）、授業態度【積極的参加】（10%）						
教科書							
参考文献							
注意事項	本授業内ではGoogle Classroomなどを用いて、アクティブラーニングやグループワークを行います。						

科目名	子どもの理解と援助		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	EDP22104		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本講義では、子ども(乳幼児期)の理解のために必要な既習の理論を含めてより深める。さらに、方法として子ども観察、記録、カンファレンスについて学び、子どもと保護者への支援方法について考える。将来の保育・教育現場での子どもの理解と援助の実践に役立つようにする。							
到達目標	1. 子どもの理解について基本的な知見を持ち、それらを保育現場で活かすことができる。 2. 保育における観察や記録方法を身につけて子ども支援を自ら策定していける。 3. 保護者や他の関係者とコミュニケーションを取り、連携していける。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科(1,2,4)文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。			
				復習	授業内容と評価方法について理解する。			
	第2回	内容	保育者に必要な能力とは	予習	必要な能力について考える。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第3回	内容	子どもの理解とは	予習	子ども理解の意義や方法について調べる。			
				復習	学んだことを理解し整理する。			
	第4回	内容	子どもを取り巻く環境①(ボウルビー等発達の見点)	予習	愛着理論について調べる。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第5回	内容	子どもを取り巻く環境②(エリクソン等発達の見点)	予習	心の発達理論について調べる。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第6回	内容	子どもを取り巻く環境③(ピアジェ等発達の見点)	予習	子どもの認知発達について調べる。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第7回	内容	子どもを取り巻く環境④(その他)	予習	その他について調べる。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第8回	内容	子どもを取り巻く環境⑤(学習の見点)	予習	学習の形態について調べる。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
第9回	内容	保育における観察	予習	観察について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第10回	内容	保育における記録	予習	記録について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第11回	内容	記録にもとづく保育カンファレンス	予習	カンファレンスの意義と方法について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第12回	内容	子どもの特別なニーズの理解と援助① (さまざまな子どものニーズ)	予習	子どもの特別なニーズについて調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第13回	内容	子どもの特別なニーズの理解と援助②(援助の方法)	予習	援助法について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第14回	内容	保護者理解と援助の基本①(保護者理解とは)	予習	保護者の理解について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第15回	内容	保護者理解と援助の基本②(保護者支援とは)	予習	保護者支援について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。								
課題へのフィードバック	受講生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(70%)、レポート・課題(30%)							
教科書	特に指定しない							
参考文献	講義内で随時紹介する。							
注意事項	講義を中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りを活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。							

科目名	子どもの保健		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	みた のりこ 味田 徳子
ナバリングコード	AHS22101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	子どもの健康と保健の意義について理解する。 身体や心の基本的知識について習得するとともに、子どものかかりやすい病気とその予防・対応法について学び、援助できる力をみにつけることを目的とする。							
到達目標	1. 子どもの発育・発達についての基礎知識を習得し、一人ひとりに応じた評価ができる。 2. 子どもの病気とその予防、適切な対応について理解している。 3. 子どもの心身の健康状態を把握し、その対応方法が理解している。 4. 保健活動において、保護者および多職種間の連携・協働の重要性を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1、2、4、5）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション			予習	P2～5まで読んでおく	
			Ⅰ、子どもの心身の健康と保健の意義			復習	自分や周りの人の「健康」について考える	
	第2回	内容	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題			予習	現代の子どもの健康の課題は何か調べる	
						復習	第2回プリント見直し・まとめ	
	第3回	内容	Ⅱ、子どもの身体的発育・発達と保健			予習	家族から自分の「妊娠～出生までの経過」を聞く	
			①身体発達			復習	第3回プリントの見直し・まとめ	
	第4回	内容	②原理原則			予習	P26～31までを読んでおく	
			運動機能の発達と保健			復習	反射・発達について、月齢をおってまとめる	
	第5回	内容	③生理機能の発達と保健			予習	P32～33まで読み、理解しておく	
			呼吸・体温・循環			復習	乳幼児の特徴についてまとめる	
	第6回	内容	消化・排泄・睡眠			予習	P33～34まで読み、子どもの特徴を知る	
						復習	乳幼児の特徴についてまとめる	
	第7回	内容	Ⅲ、子どもの心身の健康状態とその把握			予習	子どもの健康状態のポイントを考える	
			観察・早期発見			復習	子どもの観察ポイントを部位別にまとめる	
	第8回	内容	身体計測とその評価			予習	P45～52まで読んでおく 自分の身体計測を行う	
						復習	第8回までの要点について見直す	
第9回	内容	－ 振り返り確認テスト－			予習	自分の母子健康手帳の内容を確認しておく		
		健康診断 母子健康手帳			復習	乳幼児健診の内容についてまとめる		
第10回	内容	Ⅳ、子どもの疾病予防と適切な対応			予習	一般的にみられる症状はどのようなものがあるか考える		
		① 症状のある子どもへの対応			復習	症状の対応についてまとめる		
第11回	内容	② 感染症			予習	P63～74まで読んでおく		
					復習	感染経路をまとめる		
第12回	内容	③ 予防接種			予習	抗原抗体反応について調べる		
					復習	自分が行ったことのある予防接種を確認する		
第13回	内容	④ アレルギー疾患			予習	アレルギーの事例について調べる		
					復習	アレルギー疾患の対応について調べる		
第14回	内容	⑤ その他の疾患			予習	先天性疾患にはどのようなものがあるか調べる		
					復習	慢性疾患についてまとめる		
第15回	内容	⑥ 精神疾患			予習	最近の虐待事例について調べる		
		全授業終了後、16コマ目に期末試験を行う			復習	第15回プリント見直し・まとめ		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内で質問できる時間を設ける。 課題・提出物においては、採点后または必要に応じてコメントを添えて返却する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（80%）、レポート・課題（10%）、授業態度【積極的参加】（10%）							
教科書	「子どもの保健 健康と安全」岩田力・細井香 光生館							
参考文献	授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト 小林美由紀・森脇浩一 診断と治療社							
注意事項	講義終了後、次回プリントを配布します。前回欠席者は授業前に、申し出てプリントをもらってから、受講してください。							

科 目 名	子どもの食と栄養		単 位 数	2	授業時間数	60	担当教員 はしもと ようこ 橋 本 洋子
ナバリングコード	EAH22201		授業形態	演習	実務経験		
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）						
授 業 の 内 容	乳・幼児期の食生活は心身の発育・発達に大きく影響し、幼児期に身に付いた食生活はその子どもの一生の食習慣を左右する。食事はたんに栄養素を摂取するだけではなく、心身の順調な発育、発達を促し健康な生活を営むための基礎となることを理解し、保育者として必要な食・栄養の知識を身につける。子どもを取り巻く食環境や課題を把握し、この授業を通して自身の適切な食生活も考えて欲しい。						
到 達 目 標	1. 健康な生活を営むために必要な栄養の知識と体の仕組みを理解し、適切な食生活をおくることができる。 2. 子どもの心身の発達段階にふさわしい栄養と食生活を理解し、子どもがよく噛んで美味しく味わうための環境づくりに取り組むことができる。 3. 子どもを取り巻く食の様々な問題点から食教育の重要性を理解し実践力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（①・②・③・④・⑤） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 健康・栄養とは 栄養クイズ	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	栄養の基礎知識を確認しておく		
	第2回	内容	子どもを取り巻く食環境 心身の健康と食生活	予習	自分自身の食生活を振り返る		
				復習	栄養素の名称と働きについて調べる		
	第3回	内容	からだと栄養① 栄養・健康に関する基礎知識	予習	健康について考える		
				復習	栄養素の役割と食品をまとめる		
	第4回	内容	からだと栄養② 栄養の概念と栄養素の役割	予習	栄養と栄養素の違いを理解する		
				復習	栄養の重要性を理解する		
	第5回	内容	からだと栄養さん 食べ物のゆくえ ～消化・吸収のいとなみ～（ビデオ）	予習	からだに必要な栄養を考える		
				復習	栄養素の体内での営みと役割を理解する		
	第6回	内容	からだと栄養④ 発育・発達と栄養 まとめ・小テスト	予習	発育・発達の意味を調べる		
				復習	発育・発達に必要な栄養を理解する		
	第7回	内容	からだと栄養⑤ 食事摂取基準と献立作成・調理の基本	予習	栄養所要量、食事摂取基準について調べる		
				復習	食事摂取基準とその利用を理解する		
	第8回	内容	妊娠期・授乳期の食生活	予習	妊娠期・授乳期の栄養について考える		
				復習	妊娠期・授乳期に必要な栄養をまとめる		
	第9回	内容	子どもの発育・発達と食生活② 乳汁栄養（母乳、人工栄養）	予習	乳汁栄養について調べる		
				復習	母乳の利点、人工栄養についてまとめる		
	第10回	内容	子どもの発育・発達と食生活③ 哺乳動作の発達（ビデオ）	予習	哺乳、原始反射について調べる		
復習				ビデオから学んだ原始反射についてまとめる			
第11回	内容	子どもの発育・発達と食生活④ 排泄	予習	排泄の重要性を考える			
			復習	食事と排泄についてまとめる			
第12回	内容	子どもの発育・発達と食生活⑤ 摂食機能の発達（ビデオ）	予習	哺乳から摂食へ移行する意味を考える			
			復習	ビデオから学んだ摂食機能をまとめる			
第13回	内容	子どもの発育・発達と食生活⑥ 離乳の意義と進め方	予習	離乳の必要性を考える			
			復習	離乳を進めるためのポイントをまとめる			
第14回	内容	子どもの発育・発達と食生活⑥ 離乳期の食生活・離乳食（ビデオ）	予習	離乳の進め方を理解しておく			
			復習	ビデオから学んだ離乳食の形態と調理方法をまとめる			
第15回	内容	子どもの発育・発達と食生活⑦ 園での食事（ビデオ）・まとめ・テスト	予習	市販のベビーフードについて調べる			
			復習	保育所等での食事の様子を理解する			
第16回	内容	幼児期の発育・発達と栄養	予習	幼児期の食生活の問題点について調べる			
			復習	幼児期に必要な栄養をまとめる			
第17回	内容	学童期の栄養	予習	学童期の食生活、問題点について調べる			
			復習	必要な栄養と学童への食教育についてまとめる			
第18回	内容	給食 児童福祉施設の食事、学校給食	予習	給食の意義を調べる			
			復習	給食の目的、種類、利点を理解する			
第19回	内容	アレルギー 食物アレルギーと子どもへの対応・エピペンの 使用方法	予習	アレルギーについて調べる			
			復習	アレルギーを持つ子どもへの対応策をまとめる			

第20回	内容	特別な配慮が必要なこどもの食と栄養① 障がいのある子どもへの対応	予習	食べる機能の障がいを考える
			復習	障がいをもつ子どもへの食支援をまとめる
第21回	内容	特別な配慮が必要なこどもの食と栄養② 疾病、体調不良の子どもへの対応	予習	子どもの体調不良について調べる
			復習	子どもの体調に合わせた食事と対応方法をまとめる
第22回	内容	食教育① 日本の栄養教育の歴史 食育基本法の目的と概要	予習	食育の意味を考える
			復習	保育者に必要な食育基本法の内容をまとめる
第23回	内容	食教育② 食育のための環境、小テスト	予習	乳幼児への食教育の意義を考える
			復習	食教育のための環境と必要性をまとめる
第24回	内容	食教育③ 食育計画の立案 まとめ	予習	子どもの年齢に応じた食事と食関連の法律をまとめる
			復習	保育者に求められている食教育を理解する
第25回	内容	食教育演習① 食育計画と媒体、資料収集	予習	対象年齢の子どもに必要な食教育を考える
			復習	食育計画のねらいに合わせた媒体を立案する
第26回	内容	食教育演習② 対象年齢に合わせた食育媒体制作	予習	媒体制作に必要な資料、材料を準備する
			復習	媒体制作をすすめる
第27回	内容	食教育演習③ 食育媒体制作・発表準備	予習	媒体制作をすすめる
			復習	媒体を用いた保育計画を理解する
第28回	内容	発表①	予習	発表準備をする
			復習	発表を振り返る
第29回	内容	発表②	予習	発表準備をする
			復習	発表を振り返る
第30回	内容	発表③ 食教育の評価を行う（グループワーク） まとめ	予習	食教育プランの評価を行う
			復習	ライフステージ毎の栄養をまとめる
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。				
課題へのフィードバック	授業内でふりかえりテストを実施し解説を行う。レポート、課題等にコメントを行う。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、課題・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（10%）			
教科書	『子どもの食と栄養 演習』（岡崎光子編、同文書院）			
参考文献	『子どもの食と栄養演習書』（小川雄二編、医歯薬出版株式会社）他、授業内で随時紹介する			
注意事項	テキスト・ビデオ・配布資料等の教材を使用した講義が中心となるが、献立作成、食育媒体制作等も含む演習科目である。授業内で指示する事前学習を前提として授業をすすめる。いま保育者に期待されている食指導・支援の重要性を考え、課題や発表に積極的に取り組んで欲しい。随時小テスト、試験を実施する。授業を通して自身の食生活・健康を振り返り、望ましい生活習慣の確立にも取り組んで欲しい			

科目名	子どものための食育実習		単位数	1	授業時間数	45	担当教員	はしもと ようこ 橋本 洋子
ナバリンクコード	EAH22202		授業形態	実習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	子どもは、乳・幼児期の短期間にめざましい摂食機能の発達を遂げる。この食育実習では、1年次の「子どもの食と栄養」で学んだ知識をもとに、子どもの発達過程に応じた食事を実際に調理し試食することにより咀嚼機能の発達を理解し、乳幼児に関わる専門職としての適切な食指導・食支援の方法を学ぶ。基本的な調理の知識・技術を習得する。							
到達目標	1. 準備（計る・洗うなど）から片付けにいたる調理に必要な知識、技術を身につけている。 2. たんに「空腹を満たす食事」ではない、子どもの年齢（月齢）と咀嚼機能に応じた食品の選択、調理方法（適切な量・調理形態）を理解し、主体的に実践することができる。 3. 「美味しく」「楽しい」かつ「安全な」食事を提供するために必要な環境を整備することができる。 4. 乳幼児に正しい食具の持ち方を指導することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（①・②・③・④・⑤）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 調理室の使い方・授業の進め方について	予習	シラバスを読んでおく	復習	授業内容を理解する	
	第2回	内容	基本調理 調理の基本、包丁の使い方	予習	調理室、調理器具等の使い方を理解する	復習	調理に必要な知識、技術を整理する	
	第3回	内容	調乳・赤ちゃん人形のお世話	予習	前年度のテキスト「人工栄養」を復習する	復習	調乳の意義と配慮すべき内容をまとめる	
	第4回	内容	離乳食① 準備食～5、6か月	予習	準備食、離乳の意義について考える	復習	離乳食を作る際の留意点をレポートにまとめる	
	第5回	内容	離乳食② 7～8か月、間食	予習	前週の離乳食の形態を確認しておく	復習	調理のポイントをレポートにまとめる	
	第6回	内容	離乳食③ 9～11か月	予習	前週の離乳食の形態を確認しておく	復習	調理のポイントをレポートにまとめる	
	第7回	内容	離乳食④ 12～18か月	予習	前週の離乳食の形態・量を確認しておく	復習	移行期の食事を考える	
	第8回	内容	幼児食① 1～2才、3～5才	予習	離乳食との違いを調べる	復習	幼児期の前・後期の食事の違いを理解する	
	第9回	内容	幼児食② お弁当	予習	お弁当の目的について調べる	復習	お弁当の留意点をレポートにまとめる	
	第10回	内容	妊産婦の食事	予習	妊産婦の食事の特徴を調べる	復習	妊産婦に必要な栄養を理解し留意点をまとめる	
	第11回	内容	幼児食③ 間食・食物アレルギーを考える	予習	アレルギーについて調べる	復習	アレルギー対応の調理を理解する	
	第12回	内容	幼児食④ 行事食	予習	日本の行事・伝統食を調べる	復習	子どもにとっての行事食の重要性を理解する	
	第13回	内容	まとめ レポート提出 【第13週で終了】	予習	レポートを整理し内容を確認する	復習	子どもの食事内容と食教育についてまとめる	
	第14回	内容		予習		復習		
	第15回	内容		予習		復習		
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。								
課題へのフィードバック	実習内容・調理法を理解しているか、実習レポートを確認し、講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：ワークブック（60%）、実技（20%）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	実習資料（ワークブック）を配布する。実習前に該当箇所を必ず読むこと。							

参考文献	必要に応じて紹介する
注意事項	<p>※感染症対策として、調理実習室への入室時に手指の消毒、調理前の手洗い、手袋の使用を義務付けている。火気を扱う実習室であり、指導に従わない場合は、授業には参加できない場合がある。</p> <p>※この調理実習は毎回2時間連続で行う。デモンストレーション・説明の後、4～5人のグループに分かれて実習を行う。必要に応じてビデオ等の教材も使用する。毎回、調理、試食、片付け後に各自でレポートを作成、子どもの発達をふまえて考察すること。レポートは最後にまとめて提出する。グループ毎の実習であり欠席は同グループの学生に迷惑をかけ、遅刻もデモンストレーションの妨げとなる。授業中の私語は円滑な実習のために禁止する。割烹着（エプロン）、三角巾を必ず着用すること。</p>

科目名	臨床心理学		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ナンバリングコード	CLP22201		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	現代社会では、不登校やいじめ・摂食障害など、こころの問題が原因と思われる現象が様々な場面で見られている。臨床心理学とは、このような問題を、どのように理解し、どのように援助していくかを考える学問である。このような視点を紹介した上で、我々が生活の中で、臨床心理学的な考えをどう活かしていくか考えていきたい。							
到達目標	1. 臨床心理学という学問分野を理解している。 2. 保育と臨床心理学の接点を考えることができる。 3. 人の心の動きを知っている。 4. 自分自身について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1,2,4 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	臨床心理学とは	予習	シラバスを読んでおく。			
				復習	教科書全体に目を通してみる。			
	第2回	内容	臨床心理学の研究領域	予習	臨床心理学で何をあきらかに出来るか考える。			
				復習	授業内容の整理。			
	第3回	内容	臨床心理学の歴史：古代における心のとらえ方	予習	平安時代以前の日本の文化について調べる。			
				復習	授業内容の整理。			
	第4回	内容	臨床心理学の歴史：キリスト教と心の癒し	予習	キリスト教の考え方を調べる。			
				復習	授業内容の整理。			
	第5回	内容	臨床心理学の歴史：フランス革命と自然科学	予習	フランス革命について調べておく。			
				復習	授業内容の整理。			
	第6回	内容	臨床心理学の歴史：メスメルと催眠療法	予習	催眠療法について調べておく。			
				復習	授業内容の整理。			
	第7回	内容	臨床心理学の歴史：フロイトと精神分析	予習	フロイトの人物像を知っておく。			
				復習	授業内容の整理。			
	第8回	内容	臨床心理学の歴史：心理学の発展	予習	現代の心理療法の考え方を調べておく。			
				復習	授業内容の整理。			
	第9回	内容	ユングのグリム童話分析	予習	グリム童話をいくつか読んでおく。			
				復習	読んでおいた童話を分析してみる。			
	第10回	内容	乳児期の発達	予習	乳児期の子どもの行動を整理しておく。			
				復習	実際の乳児の例に当てはめてみる。			
	第11回	内容	メラニー・クラインとウィニコットの理論	予習	対象関係論について調べておく			
				復習	実際の母子の例に当てはめてみる。			
	第12回	内容	幼児期前半の発達	予習	1歳から3歳の子どもの行動を整理しておく。			
				復習	実際の幼児の例に当てはめてみる。			
	第13回	内容	幼児期後半の発達	予習	3歳から5歳の子どもの行動を整理しておく。			
				復習	実際の幼児の例に当てはめてみる。			
	第14回	内容	児童期の発達	予習	小学生の行動を整理しておく。			
				復習	実際の小学生の例に当てはめてみる。			
	第15回	内容	青年期から老年期の発達	予習	青年期以降の変化を調べておく。			
				復習	実際の人物の例に当てはめてみる。			
	第16回	内容	クライアント中心療法の実践	予習	理想的な相談スタイルを調べておく。			
				復習	ビデオ内容を振り返ってみる。			
	第17回	内容	クライアント中心療法の理論	予習	自己理論について調べておく。			
				復習	授業内容の整理。			
	第18回	内容	クライアント中心療法の技法	予習	受容と共感の方法を考えてみる。			
				復習	授業内容の整理。			
	第19回	内容	心理アセスメント	予習	心理アセスメントの意味を考えておく。			
				復習	授業内容の整理。			
	第20回	内容	言語による情報収集	予習	友人の情報をどこまで知っているか考えてみる。			
				復習	周囲の人物で考えてみる。			

第 21 回	内容	非言語による情報収集	予習	友人の様子を観察しておく。
			復習	周囲の人物で考えてみる。
第 22 回	内容	心理テスト	予習	自分の性格傾向を考えてみる。
			復習	心理テストの結果を振り返ってみる。
第 23 回	内容	健康な人の心理療法	予習	健康な悩みとは何か考える。
			復習	授業内容の整理。
第 24 回	内容	神経症水準の心理療法	予習	不安障害やパニック障害について調べておく。
			復習	授業内容の整理。
第 25 回	内容	人格障害水準の心理療法	予習	人格障害とは何か調べておく。
			復習	授業内容の整理。
第 26 回	内容	境界性人格障害について	予習	境界性人格障害とは何か調べておく。
			復習	授業内容の整理。
第 27 回	内容	精神病水準の心理療法	予習	精神障害について調べておく。
			復習	授業内容の整理。
第 28 回	内容	統合失調症とは	予習	統合失調症の特徴を調べておく。
			復習	授業内容の整理。
第 29 回	内容	統合失調症の正しい理解	予習	精神病院の現状を調べておく。
			復習	授業内容の整理。
第 30 回	内容	催眠療法	予習	自己暗示とは何か調べておく。
			復習	授業内容の整理。
予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	テストや提出物を返却する。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（90%）、授業態度（10%）			
教科書	『いちばんよくわかる図解臨床心理学』（加賀谷崇文、成美堂出版）			
参考文献	なし			
注意事項	本授業内では Google Classroom などを用いて、アクティブラーニングやグループワークを行います。			

科目名	親子関係論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かみしま ひろこ 上島 浩子
ナンバリングコード	SWS22106		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	地域で「親子のふれあい」を伝えることが必要な社会的背景や産後の母親や家族の支援の重要性について理解する。ベビーマッサージ指導を通して親子の絆を深める援助ができることを目的とする。							
到達目標	1. 地域における親子関係の支援の必要性と方法について理解している 2. ベビーマッサージの利点や効果に説明できる 3. ベビーマッサージの手技の指導を行う力を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 3、4 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、ベビーマッサージとは	予習	シラバスを読んでおく	復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	「許可を得て触れる」こと、お人形の扱い方	予習	動画を見てベビーマッサージのイメージを掴む	復習	「始めるよ」マッサージの許可を得る練習	
	第3回	内容	ベビーマッサージの歴史と始める時期	予習	動画「脚のマッサージ」を見て練習	復習	脚のマッサージ指導ができるよう練習	
	第4回	内容	産後のお母さんの変化、脚のマッサージ	予習	動画「脚のマッサージ」を見て練習	復習	脚のマッサージ指導ができるよう練習	
	第5回	内容	赤ちゃんの皮膚について、お腹のマッサージ	予習	動画「お腹のマッサージ」を見て練習	復習	お腹のマッサージ指導ができるよう練習	
	第6回	内容	植物オイルとパッチテストについて、オイル体感ワーク	予習	植物オイルの種類について調べる	復習	オイルパッチテストの台本を作成	
	第7回	内容	「親子の絆」について、「身体の声聴く」こと	予習	「親子の絆」とはどのようなものか考える	復習	「親子の絆」についてレポートにまとめる	
	第8回	内容	自律神経とホルモン、胸のマッサージ	予習	動画「胸のマッサージ」を見て練習	復習	胸のマッサージ指導ができるよう練習	
	第9回	内容	赤ちゃんの発育発達とベビーマッサージ（運動発達）、背中のマッサージ	予習	動画「背中のマッサージ」を見て練習	復習	背中のマッサージ指導ができるよう練習	
	第10回	内容	赤ちゃんの発育発達とベビーマッサージ（精神発達）、顔のマッサージ	予習	動画「顔のマッサージ」を見て練習	復習	全身のマッサージ指導ができるよう練習	
	第11回	内容	ベビーマッサージ10の利点まとめ、地域支援におけるベビーマッサージ講座の内容と組み立て方	予習	発表するベビーマッサージの利点を決めておく	復習	発表準備	
	第12回	内容	デモクラス発表「ベビーマッサージの利点・効果」①	予習	発表準備	復習	発表の感想をレポートにまとめる	
	第13回	内容	デモクラス発表「ベビーマッサージの利点・効果」②	予習	発表準備	復習	発表の感想をレポートにまとめる	
	第14回	内容	保育中の「触れること」	予習	保育者として子どもに触れる場面を考える	復習	保育者として子どもに触れる場面の配慮をまとめる	
	第15回	内容	参観日等への応用、「絵本タッチ」（発表）	予習	使用する絵本を選ぶ	復習	仕事等に資格をどう活かしていくかまとめる	
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う。実技部分は次回にグループで実技チェックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	『ベビーマッサージテキスト講義編』『ベビーマッサージテキスト実技編』（JABC ベビー&チャイルドケア協会）							
参考文献	『子供の「脳」は肌にある』（山口創、光文社新書）							
注意事項	グループワークや意見の発表など積極的な態度での受講を望みます。							

科目名	保育・教育課程論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おおしま おりえ 大嶋 織江
ナンバリングコード	EDU22203		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	関係法令や幼稚園教育要領に基づき、教育課程や長期・短期の指導計画の作成・立案について理解する。教育課程からどのように指導計画（長期指導計画）が具体化されていくのかについて、実際の教育課程や指導計画をいくつか事例として取り上げながら、子どもの実態に即した計画の立て方や環境構成のあり方について考え、指導計画を作成できる力を養う。							
到達目標	1. 教育課程編成の考え方・手順を知り、PDCA サイクルの考え方を理解している。 2. 指導計画の基本や考え方を理解している。 3. ねらいや子どもの姿から、経験させたい具体的な活動をすぐに思い浮かべることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1・2・4）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション～授業内容の説明と予定について～ ～教育課程・全体的な計画とは何か？～	予習	教育課程と全体的な計画の違いの確認			
				復習	教育課程と全体的な計画とは何かを整理			
	第2回	内容	保育における計画と評価の意義について	予習	保育に計画が必要な理由を考える			
				復習	保育における計画と評価の意義について整理			
	第3回	内容	カリキュラムの基礎理論について	予習	カリキュラムとは何かを確認			
				復習	3つのカリキュラムを説明できるように整理			
	第4回	内容	教育課程・保育課程の変遷について	予習	教育課程・保育課程の変遷を教科書で確認			
				復習	教育課程・保育課程の歴史の変遷を整理			
	第5回	内容	改訂幼稚園教育要領と「育みたい資質・能力」について	予習	「育みたい資質・能力」を確認			
				復習	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を確認			
	第6回	内容	幼稚園・保育所・認定こども園における関係法令について	予習	幼稚園・保育所・認定こども園の違いを確認			
				復習	幼稚園・保育所の関係法令についての整理			
	第7回	内容	教育課程および全体的な計画等の編成の方法と手順について	予習	教育課程の編成の方法と手順を教科書で確認			
				復習	教育課程の編成の方法と手順についての理解			
	第8回	内容	指導計画の作成① ～長期の指導計画の編成について～	予習	長期の指導計画の種類を確認			
復習				長期の指導計画編成についての理解				
第9回	内容	指導計画の作成②～短期の指導計画の編成について～ ごっこ遊びの体験①（お寿司屋さんごっこ） ～グループワークと指導案の作成～	予習	製作に必要な準備物の用意				
			復習	作成した指導案の見直しを行う				
第10回	内容	ごっこ遊びの体験②（パン屋さんごっこ） ～もくねんさんの粘土を使ってのパン作り（形づくり）	予習	製作に必要な準備物の用意				
			復習	環境に配慮した素材（粘土）を使う意味を考える				
第11回	内容	ごっこ遊びの体験②（続き）（パン屋さんごっこ） ～もくねんさんの粘土を使ってのパン作り（色塗り）とグループワーク～	予習	製作に必要な準備物の用意				
			復習	グループワークで考えた内容についての理解				
第12回	内容	食育と食育カリキュラムについて	予習	幼稚園などで食育を行う意義を考える				
			復習	食育を行う意義についての整理				
第13回	内容	子育て支援としての延長保育 ～長時間保育の実際について～	予習	延長保育の現状について調べる				
			復習	延長保育のメリットとデメリットの整理				
第14回	内容	保育の記録および省察について	予習	保育の記録および省察を行う理由を考える				
			復習	保育の記録および省察を行う意義を整理				
第15回	内容	保育の評価と改善～PDCA サイクルの考え方について～	予習	保育のPDCA サイクルとは何かを確認				
			復習	保育のPDCA サイクルの意義を整理				
予習に要する学習時間：概ね 90 分 を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分 を目安とする。								
課題へのフィードバック	グループワークなどの後に講評を行い、必要な資料などを配布する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（40%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（0%）、授業態度【授業への貢献】（10%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）『保育の計画と評価』—豊富な例で1からわかる— 宮川萬寿美 編著 啓文書林 2019 第2版							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』							
注意事項	私語を慎み、質問があるときには、遠慮せずに聞くようにしてください。							

科目名	保育内容総論		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いざわ えいしゅう 伊澤 永修
ナバリンコード	EDU22201		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	幼児教育は総合的な指導をするという考え方から、5領域、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期までに育ってほしい姿それぞれを理解し、またそれらの関係性を理解した上で保育を構築できるようにする。そのために具体的な子どもの姿を考えながら保育内容と指導法についてグループディスカッションし、理解を深める。							
到達目標	1. 「育みたい資質・能力」「幼児期に育ってほしい」と保育内容の関係性を理解している 2. 子どもを取り巻く社会や環境の実態に即した具体的な保育課程を構築できる 3. 保育の多様な展開について具体的に理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 1、2、4 ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	乳幼児期の保育の基本について	予習	これまでの学びを通して保育の基本についてまとめておく			
				復習	授業の内容を受けて改めて保育の基本及び保育内容についての振り返りを行う			
	第2回	内容	要領及び指針における教育と保育の考え方及び遊びを通した総合的な学びについて	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内容を踏まえ改めて要領や指針の該当部分を読み理解を深める			
	第3回	内容	幼児教育と小学校教育の違いと接続について	予習	これまでの学びを通して幼児教育と小学校教育の違いについてまとめておく			
				復習	授業内容を踏まえて事前にまとめた内容の修正を行い理解を深める			
	第4回	内容	社会的背景から変化してきた保育内容の変遷について	予習	過去の要領や指針を調べ保育内容の違いを確認しておく			
				復習	時代のニーズと保育内容の変遷から今後の変化について自分なりの考えをまとめる			
	第5回	内容	幼児期に育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	幼児期に育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のまをを行い理解を深める			
	第6回	内容	5領域のねらい及び内容と保育内容（1） 各領域を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第7回	内容	5領域のねらい及び内容と保育内容（2） 各領域を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第8回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と保育内容（1） 10の姿を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第9回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と保育内容（2） 10の姿を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第10回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と保育内容（3） 10の姿を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第11回	内容	保育の計画の考え方と指導計画について	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内容から保育の計画の必要性や指導計画の評価・改善についてまとめを行う			
	第12回	内容	視聴覚教材を活用して映像から子どもの育ちと気持ちを読み取る（1） グループディスカッション及び発表	予習	子どもの発達過程について確認しておく			
				復習	映像視聴及びグループディスカッションをもとに子どもの育ちと気持ちの読み取り方についてまとめる			
	第13回	内容	視聴覚教材を活用して映像から子どもの育ちと気持ちを読み取る（2） グループディスカッション及び発表	予習	子どもの発達過程について確認しておく			
				復習	映像視聴及びグループディスカッションをもとに子どもの育ちと気持ちの読み取り方についてまとめる			
	第14回	内容	子どもを取り巻く社会の中での成長・発達と生活について	予習	現在の子どもを取り巻く環境について自分なりにまとめておく			
				復習	子どもを取り巻く社会が子どもに与える影響について実生活の中で確認する			
	第15回	内容	現代社会における保育ニーズの多様化について及び総まとめ	予習	現代社会においてどのような保育ニーズがあるかまとめておく			
				復習	授業内容を受けて様々な保育ニーズにこたえるための保育についてまとめる			

	予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。
課題へのフィードバック	提出物に関する評価を行い、返却時に解説する。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【参加度合】（30%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 必要に応じて授業内で指示する
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館
注意事項	

科目名	乳児保育 I	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いのう けいこ 伊能 恵子
ナンバリングコード	CHS22201	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	乳幼児期における発達の姿を、心、体、生活等といった細かい項目に分け、明確に捉えること、さらにその実践力の習得を目的とする。						
到達目標	1. 新生児、乳児期、幼児期の発達を理解している。 2. 発達にあった保育援助の必要性を理解している。 3. 理論を実践につなげる力の獲得に取り組むことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1・2・3・4・5 ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	生涯発達という捉え方	予習	シラバスを読んでくる	復習	自己の生育歴を考える
	第2回	内容	発達の法則と捉え方	予習	発達とは何かを調べる	復習	発達課題をまとめる
	第3回	内容	新生児期と反射	予習	新生児期とは何かを調べる	復習	原始反射の意味をまとめる
	第4回	内容	新生児期・乳児期の発達	予習	誕生一年の運動発達を調べる	復習	誕生後一年の重要性をまとめる
	第5回	内容	離乳食・食の重要性	予習	自己の食生活をふりかえる	復習	食の重要性をまとめる
	第6回	内容	乳児期の母子相互作用	予習	母親の役割について考える	復習	母子相互作用をふまえて保育士の役割をまとめる
	第7回	内容	人との関わりの発達と保育援助	予習	保育援助とは何かを考える	復習	人間関係の発達と保育援助をまとめる
	第8回	内容	「保育所保育指針」と保育援助	予習	「保育所保育指針」は保育士にとってどんなものか考える	復習	「保育所保育指針」の援助ポイントをまとめる
	第9回	内容	「保育所保育指針」：養護の視点	予習	養護とは何かを考える	復習	養護のポイントをまとめる
	第10回	内容	「保育所保育指針」：安全の視点	予習	安全とは何かを考える	復習	安全管理マニュアルを作成する
	第11回	内容	「保育所保育指針」：教育の視点	予習	教育とは何かを考える	復習	教育のポイントをまとめる
	第12回	内容	保育者資質：現場で求められる資質	予習	保育者の求められる資質は何かを考える	復習	自己を向上させる資質の磨き方をまとめる
	第13回	内容	保育者資質：ビジネス・ライティング	予習	保育者の求められる技術を考える	復習	自己を向上させる技術の磨き方をまとめる
	第14回	内容	乳児保育～文献からの学び～	予習	文献を探してくる	復習	文献からの学びをまとめる
	第15回	内容	乳児保育～まとめ～	予習	乳児保育とは何かを考える	復習	乳児保育の学びをまとめる
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	毎授業ごとの課題レポートにコメントし返却する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（100%）						
教科書	なし						
参考文献	『実習育児学』（吉岡毅著、日本小児医事出版）『保育士養成講座：発達心理学』（全国社会福祉協議会） 『保育と保健』（日本保育保健協議会）						
注意事項	毎授業に課題提出を求める為、出席は必須である。						

科目名	乳児保育Ⅱ	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いのう けいこ 伊能 恵子
ナンバリングコード	CHS22107	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	乳幼児期の重要性と支援の重要性を理解する。特に保育現場におけるトラブルやその解決を含め、理論と実践力を結びつけることを目標とし、乳児保育の理解と実践力の習得を目的とする。						
到達目標	1. 乳幼児期の重要性を理解している。 2. 発達にあった保育援助力習得の土台を育むことができる。 3. 発達を支援する方法を理解している。 4. 理論と実践をつなぎ、自己を向上させる力を獲得している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1・2・3・4・5 ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	発達の姿	予習	シラバスを読んでくる		
				復習	発達を支援することをまとめる		
	第2回	内容	睡眠の発達と保育援助	予習	0才、1才児の理想的生活リズムを調べる		
				復習	睡眠の重要性をまとめる		
	第3回	内容	視覚の発達と保育援助	予習	目の機能を調べる		
				復習	視覚の発達を促す保育援助をまとめる		
	第4回	内容	聴覚の発達と保育援助	予習	耳の機能を調べる		
				復習	聴覚の重要性と支援をまとめる		
	第5回	内容	知覚の発達と保育援助	予習	感覚とは何かを調べる		
				復習	固有感覚のプロセスをまとめる		
	第6回	内容	情緒の発達と保育援助	予習	感情・情緒とは何かを調べる		
				復習	情緒発達の支援をまとめる		
	第7回	内容	言葉の発達と保育援助：言葉、語彙の発達	予習	言葉とは何かを調べる		
				復習	言葉の重要性をまとめる		
	第8回	内容	言葉の発達と保育援助：絵本の力	予習	自分の好きな絵本を推薦する		
				復習	絵本の重要性をまとめる		
第9回	内容	発達を支援する窓口（グループワーク、発表、討議）	予習	発達とは何かを考える			
			復習	スクリーニングの窓口をまとめる			
第10回	内容	乳児期の重要性①：乳幼児期の脳	予習	臨界期とは何かを調べる			
			復習	乳児期の育ちに必要環境をまとめる			
第11回	内容	乳児期の重要性②：知能の成り立ち	予習	脳を育む必要性について調べる			
			復習	乳児期の重要性をまとめる			
第12回	内容	人間的発達の契機（グループワーク、発表、討議）	予習	人間とは何かを考える			
			復習	人への保育援助をまとめる			
第13回	内容	遊びの重要性（グループワーク、発表、討議）	予習	昔あそびについて調べる			
			復習	あそびの重要性をまとめる			
第14回	内容	乳児保育～文献からの学び～	予習	参考文献を探してくる			
			復習	文献からの学びをまとめる			
第15回	内容	乳児保育～まとめ～	予習	乳児保育の学びをまとめる			
			復習	乳児保育の大切さをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	毎授業ごとの課題レポートにコメントし返却する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（100%）						
教科書	なし						
参考文献	『保育士養成講座：発達心理学』（全国社会福祉協議会）『実習育児学』（吉岡毅、日本小児医事出版） 『幼児教育と脳』（澤口俊之著、文芸春秋）『子どもの脳の発達臨界期敏感期』（神原洋一著、講談社）						
注意事項	毎授業に課題提出を求める為、出席は必須である。						

科目名	子どもの健康と安全		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	みた のりこ 味田 徳子
ナンバリングコード	AHS22102		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	子どもの心と身体の健康を保持・増進するための保健活動について「子どもの保健」で得た知識を実践できるように演習を行い、習得することを目的とする。 保育のための養護技術、体調不良時の対応やケガの応急手当等の保健的な内容及び保健管理の方法について演習を通して理解を深める。							
到達目標	1. 子どもの健康状態を評価することができる。 2. 病気や事故発生時など、緊急時の対応ができる。 3. 集団保育における環境と安全対策を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（2、3、4、5）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 子どもの健康と保育環境	予習	教科書 P104～113 を読む	復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	保育における健康および安全管理① 衛生管理	予習	教科書 P114～122 を読む	復習	保育所における保育環境・衛生管理をまとめる	
	第3回	内容	保育における健康および安全管理② 事故防止及び安全対策	予習	教科書 P123～133 を読む	復習	安全教育・安全管理についてまとめる	
	第4回	内容	保育における健康および安全管理③ 危機管理と災害の備え =危機管理ポスター=	予習	教科書 P133～138 を読む	復習	災害時、避難誘導のポイントをまとめる	
	第5回	内容	体調不良や障害が発生した場合の対応 演習 バイタルサイン測定、包帯法	予習	教科書 P139～146 を読む	復習	症状についての対応方法をまとめる	
	第6回	内容	応急処置 =誤飲・誤嚥= 演習 ハイムリック法 誤飲チェッカー	予習	教科書 P146～149 を読む	復習	症状についての対応方法をまとめる	
	第7回	内容	救急処置と蘇生法 演習 心肺蘇生法、AED	予習	教科書 P150～154 を読む	復習	演習でのポイントをまとめる	
	第8回	内容	感染症の集団発生予防	予習	教科書 P155～157 を読む	復習	集団感染予防のポイントについてまとめる	
	第9回	内容	感染対策の具体的方法	予習	教科書 P157～166 を読む	復習	感染症対策ガイドラインを再確認する	
	第10回	内容	病児保育 保育における保健的対応の基本的考え方	予習	教科書 P166～172 を読む	復習	病児保育のポイントについてまとめる	
	第11回	内容	3歳未満児への対応 演習 オムツ交換・抱っこ・おんぶ・身体計測	予習	教科書 P173～175 を読む	復習	3歳未満児の発育・発達についてまとめる	
	第12回	内容	個別的な配慮を要する子どもへの対応	予習	教科書 P175～185 を読む	復習	発達障害の支援方法についてまとめる	
	第13回	内容	保育者間の連携・協同、協同と組織の取り組み	予習	教科書 P186～191 を読む	復習	保育者間の連携のポイントについてまとめる	
	第14回	内容	保育における保健活動の計画と評価 =保健だより作成=	予習	教科書 P191～195 を読む	復習	自分の誕生月の保健だよりを作成する	
	第15回	内容	母子保健・地域保健の計画と評価 家庭、専門機関、地域の関係機関などとの連携	予習	教科書 P195～202 を読む	復習	居住区の保健関係専門機関を調べる	
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	レポート・課題は採点后、返却する。 実技試験前に試験チェックポイントについて確認し、実施後振り返る。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（40%）、授業態度【演習：積極性、身だしなみ】（10%）							
教科書	『子どもの保健 健康と安全』（岩田力・細井香、光生館）							
参考文献	『これならわかる！子どもの保健演習ノート』（小林美由紀、診断と治療社）							
注意事項	1、演習時は、動きやすい服装、エプロンを着用し、爪・髪などの身だしなみを整えて下さい。 2、演習、準備、後片付けなど主体的に取り組むことで、授業態度における積極性と評価します。							

科目名	特別支援教育論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 さいとう かずよし 齊藤 和良
ナバリングコード	SNE22201		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	本講義では、特別支援教育の基本理念と意義を紹介し、視覚障害、聴覚障害、知的障害や発達障害などの各障害の原因や特性及び保育上の留意点について講義する。さらに障害児の援助方法や家庭支援、医療や福祉などの関係機関との連携の在り方について述べる。						
到達目標	1. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒を理解できる。 2. 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援の方法を説明できる。 3. 障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の把握や支援ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1,4,5 ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 特別支援教育とは	予習	シラバスを読んでおくこと		
				復習	特別支援教育の目的と概要について復習する		
	第2回	内容	障害とは、障害の概念、各障害の定義と分類	予習	障害のとらえ方について調べる		
				復習	障害についてまとめる		
	第3回	内容	特別支援教育を支える理念 ノーマライゼーション、統合教育、インクルージョン	予習	特別支援教育の歩みについて調べる		
				復習	インクルージョンについてまとめる		
	第4回	内容	特別支援教育の意義と基本 障害児と健常児共に育つことの意味	予習	特別支援教育の専門性について調べる		
				復習	特別支援教育の意義についてまとめる		
	第5回	内容	特別支援教育・障害児保育の対象 特別支援教育の対象と目的、教育の場	予習	乳幼児と障害について調べる		
				復習	乳幼児における障害特性についてまとめる		
	第6回	内容	視覚障害児の理解と援助 視覚障害の定義と分類、視覚障害児の心理的特徴	予習	視覚障害について調べる		
				復習	視覚障害児の特性についてまとめる		
	第7回	内容	聴覚障害児の理解と援助 聴覚障害の定義と分類、聴覚障害児の心理的援助	予習	聴覚障害について調べる		
				復習	聴覚障害の特性についてまとめる		
	第8回	内容	肢体不自由児の理解と援助 肢体不自由児の分類と原因、脳性まひ児の分類	予習	肢体不自由について調べる		
				復習	肢体不自由の特性についてまとめる		
第9回	内容	知的障害児の理解と援助 知能指数とは、知的障害の定義・分類・原因	予習	知的障害について調べる			
			復習	知的障害の特性についてまとめる			
第10回	内容	言語障害児の理解と援助 言語障害の定義と分類、言語指導	予習	言語障害について調べる			
			復習	言語障害の特性についてまとめる			
第11回	内容	情緒障害児の理解と援助① 情緒障害の分類、選択性緘黙症やチックの心理的特徴	予習	選択性緘黙について調べる			
			復習	情緒障害の分類についてまとめる			
第12回	内容	発達障害児の理解と援助 発達障害の分類・定義・心理的特徴	予習	自閉症について調べる			
			復習	広汎性発達障害をまとめる			
第13回	内容	母国語や貧困の問題等による特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒に対する支援	予習	地域におけるインクルージョンの現状を調べる			
			復習	インクルーシブ教育についてまとめる			
第14回	内容	障害児をもつ親の理解と家庭支援 障害児の親の受容と受容過程、養育態度	予習	障害の受容について調べる			
			復習	障害の受容過程についてまとめる			
第15回	内容	特別支援教育にかかわる現状と課題 保健・医療・福祉・教育における現状と課題	予習	特別支援教育の現状について調べる			
			復習	特別支援教育の課題についてまとめる			
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。							
課題へのフィードバック	小テスト及びレポートを返却し、次回の授業につなげる。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極性】（20%）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 使用しない。資料を配布する。						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業時に紹介。						
注意事項	授業中の私語・携帯電話等の使用・飲食は厳禁。授業への積極的な取り組みを期待する。						

科目名	子育て支援		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナンバリングコード	SWS22202		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	現代の日本では、少子高齢化、地域社会の繋がりや家族の絆の衰退に伴い、子育て(育児)の困難さが拡がっており、保護者(子ども)への社会的支援・サポート(子育て支援)の必要性が増している。本講義では子育て支援の意義と方法、各ニーズにおける理解と対応等々について学び、実践に活かすことを考える。							
到達目標	1. 保護者との信頼関係を築き、維持することができる。 2. 問題を把握し、子育て支援の計画を作成できる。 3. 状況、ニーズに応じて、的確な子育て支援を実践する基盤ができています。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科(1,2,4)文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。			
				復習	授業内容と評価方法について理解する。			
	第2回	内容	保護者支援と信頼関係	予習	信頼関係の構築について考える。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第3回	内容	保護者への気づき	予習	保護者への気づきの必要性について考える。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第4回	内容	子どもと保護者の状況把握	予習	状況把握の方法について調べる。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第5回	内容	支援の計画(内容と方法)	予習	支援計画の策定について調べる。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第6回	内容	支援の実践、記録、評価、カンファレンス	予習	記録等の方法について調べる。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第7回	内容	職員同士、関係機関等との連携	予習	他者との連携の意義について考える。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
	第8回	内容	保育所、地域等における支援	予習	保育所や地域で行う支援について調べる。			
				復習	学んだことを整理して理解する。			
第9回	内容	保護者への支援とは	予習	保護者しえんとは何か考える。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第10回	内容	多様な支援(発達障害)	予習	発達障害について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第11回	内容	多様な支援(特別な配慮を要する場合)	予習	配慮を要する児童とは何かについて調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第12回	内容	多様な支援(児童虐待)	予習	児童虐待について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第13回	内容	多様な支援(要保護児童等)	予習	要保護児童について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第14回	内容	多様な支援(多文化共生)	予習	多文化共生について調べる。				
			復習	学んだことを整理して理解する。				
第15回	内容	まとめと今後への助言	予習	これまでの学びを自分なりに整理する。				
			復習	学びを今後活かせるよう考える。				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	受講生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(70%)、レポート・課題(30%)							
教科書	特に指定しない。							
参考文献	講義内で必要に応じて随時紹介する。							
注意事項	講義を中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りを活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。							

科目名	健康（指導法）		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しんど のぶゆき 新戸 信之
ナンバリングコード	CHS22101		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	幼稚園教育要領の領域「健康」のねらいと内容及び内容の取扱いについて理解し、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識・技術を身に付ける。特に乳幼児期の健康に関わる生活習慣や心身の発育・発達、運動発達の特徴の理解を深め、適切な指導方法を身に付ける。							
到達目標	1. 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理解している。 2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1, 2, 5 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	領域「健康」のねらい及び内容の確認	予習	1年次に履修した「健康」のノートを確認する。			
				復習	「健康」のねらい及び内容についてまとめる。			
	第2回	内容	グループ対抗による運動遊び	予習	幼児ができるグループ対抗の遊びを調べる。			
				復習	「作戦タイム」の意義についてまとめる。			
	第3回	内容	幼児向けのイニシアティブゲーム	予習	「イニシアティブゲーム」について調べる。			
				復習	心的経験の意義についてまとめる。			
	第4回	内容	いろいろなリレー、鬼ごっこ	予習	リレー、鬼ごっこのバリエーションを調べる。			
				復習	子どもが走る動機となる遊びについてまとめる。			
	第5回	内容	ネイチャーゲーム、自然遊び	予習	幼少期に経験した自然遊びについて家族と話す。			
				復習	ネイチャーゲームを調べる。			
	第6回	内容	模擬保育指導案、教材の作成、リハーサル	予習	1年次「健康」の授業支援システムにログインし、発表担当単元に関するファイルを確認する。			
				復習	模擬保育指導案を完成させる。教材の作成。			
	第7回	内容	教材の作成、リハーサル	予習	教材の作成。リハーサル			
				復習	教材の作成。リハーサル			
	第8回	内容	戸外遊びに関する発表と模擬保育 学生間相互評価、フィードバック	予習	1年次「健康」の授業支援システムにログインし、「戸外遊び」に関するファイルを確認する。			
				復習	学生間相互評価を確認する			
第9回	内容	運動遊びに関する発表と模擬保育 学生間相互評価、フィードバック	予習	1年次「健康」の授業支援システムにログインし、「運動遊び」に関するファイルを確認する。				
			復習	学生間相互評価を確認する				
第10回	内容	生活習慣に関する発表と模擬保育① 学生間相互評価、フィードバック	予習	1年次「健康」の授業支援システムにログインし、「生活習慣」に関するファイルを確認する。				
			復習	学生間相互評価を確認する				
第11回	内容	生活習慣に関する発表と模擬保育② 学生間相互評価、フィードバック	予習	1年次「健康」の授業支援システムにログインし、「生活習慣」に関するファイルを確認する。				
			復習	学生間相互評価を確認する				
第12回	内容	疾病予防に関する保険だより及び教材の作成 学生間相互評価、フィードバック	予習	1年次「健康」の授業支援システムにログインし、「疾病予防」に関するファイルを確認する。				
			復習	学生間相互評価を確認する				
第13回	内容	疾病予防に関する保険だより及び教材の作成 学生間相互評価、フィードバック	予習	1年次「健康」の授業支援システムにログインし、「疾病予防」に関するファイルを確認する。				
			復習	学生間相互評価を確認する				
第14回	内容	食習慣・食育に関する発表と模擬保育 学生間相互評価、フィードバック	予習	1年次「健康」の授業支援システムにログインし、「食習慣・食育」に関するファイルを確認する。				
			復習	学生間相互評価を確認する				
第15回	内容	安全に関する発表と模擬保育 学生間相互評価、フィードバック	予習	1年次「健康」の授業支援システムにログインし、「安全」に関するファイルを確認する。				
			復習	学生間相互評価を確認する				
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。								
課題へのフィードバック	スマートフォンとL.M.Sを用い学生相互及び教師が情報を共有し、必要に応じてアドバイスする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（20%）、授業態度（20%）							
教科書	必要に応じて資料を配布							

参考文献	幼児期の食事と健康 - 公益社団法人 千葉県栄養士会【WEB】、幼児期運動指針：文部科学省【WEB】 幼児期の運動遊びが生涯の体力を左右する - 健康・体力づくり事業財団【WEB】
注意事項	

科目名	人間関係（指導法）	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	つちや ゆう 土屋 由
ナンバリングコード	CHS22102	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	保育内容の領域の一つに、人とかかわりに関する領域「人間関係」が設けられている。本講義では、領域「人間関係」に関連する社会学や発達心理学などの理論をベースとした基礎知識を押さえるとともに、乳児期、幼児期のそれぞれの発達過程において、どのように人とかかわりが育つのかを学ぶ。また、保育者の保護者への対応や保育者同士の連携も含めた保育者の果たす役割を学ぶ。						
到達目標	1. 領域「人間関係」を理解するのに必要な基礎知識を身につけている。 2. 一人一人が十分に生かされる集団であることの大切さといった「人間関係」を捉える視点を身につけている。 3. 保育者の保護者への対応や保育者同士の連携といった保育者の役割を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1.2.4）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	教科書の全体に目を通す		
				復習	幼稚園教育要領や保育所保育指針に目を通す		
	第2回	内容	人と人との関係	予習	人と人との関係、事例を考察する		
				復習	人と人との関係、自分の意見をまとめる		
	第3回	内容	保育・幼児教育の基本と領域「人間関係」	予習	領域「人間関係」、プリントの穴埋めをする		
				復習	領域「人間関係」、自分の意見をまとめる		
	第4回	内容	子どもを取り巻く人々と人間関係	予習	子どもを取り巻く人々、事例を考察する		
				復習	子どもを取り巻く人々、自分の意見をまとめる		
	第5回	内容	乳児保育における人間関係	予習	乳児保育における人間関係、事例を考察する		
				復習	乳児保育における人間関係、意見をまとめる		
	第6回	内容	子どもの遊びと人間関係	予習	子どもの遊びと人間関係、事例を考察する		
				復習	遊びと人間関係、自分の意見をまとめる		
	第7回	内容	子どものいざこざと人間関係	予習	子どものいざこざ、事例を考察する		
				復習	子どものいざこざ、自分の意見をまとめる		
	第8回	内容	子どもの様々な感情と人間関係	予習	子どもの様々な感情、事例を考察する		
				復習	子どもの様々な感情、自分の意見をまとめる		
第9回	内容	他者への賞賛と人間関係	予習	他者への賞賛と人間関係、事例を考察する			
			復習	他者への賞賛、自分の意見をまとめる			
第10回	内容	子どもの自我と人間関係	予習	子どもの自我と人間関係、事例を考察する			
			復習	子どもの自我、自分の意見をまとめる			
第11回	内容	個性的な子どもと人間関係	予習	個性的な子ども、事例を考察する			
			復習	個性的な子ども、自分の意見をまとめる			
第12回	内容	領域「人間関係」からみた小学校との連携	予習	小学校との連携、事例を考察する			
			復習	小学校との連携、自分の意見をまとめる			
第13回	内容	園で育む子どもの人間関係	予習	園で育む子どもの人間関係、事例を考察する			
			復習	園で育む人間関係、自分の意見をまとめる			
第14回	内容	身近な大人との関係を振り返る	予習	身近な大人との関係を振り返る			
			復習	他の人の意見を聞き、気づいたことをまとめる			
第15回	内容	授業のまとめ	予習	これまでの内容を整理する			
			復習	学んだ内容を整理する			
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google クラウドルームを用いて課題や小テストのフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（100％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【 】（ ）％						
教科書	『コンパス 保育内容 人間関係』（岸井慶子・酒井真由子、建帛社）						
参考文献	適宜、授業において紹介する。						
注意事項							

科目名	環境（指導法）		単位数	1	実務経験	担当教員 なかむら よういち 中村 陽一	
ナバリングコード	CHS12206		授業形態	演習			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	「環境」で学んだ、幼児と環境とかかわりに関する学びと、幼稚園教育実習（前期）の体験の上に、実例に基づき、領域「環境」の「目的」「ねらい」「内容」の理解を深める。さらに、領域「環境」にかかわる具体的な指導場面を想定した指導方法を身につける。課題に応じて、グループを作り討論や発表を行う。						
到達目標	1. 「幼稚園教育要領」に示された「環境を通した保育」の意義と、保育者に求められる援助について、具体的な指導法を示すことができる。 2. 「環境を通した保育」の意義と、保育者の援助について、具体例を挙げて自分の考えを述べることができる。 3. 領域「環境」に関わる幼児の自然体験や社会体験と、小学校教育の生活科への連続性について理解している。 4. 子どもの自然体験を深めるための、子どもの発達を見据えた長期的計画の重要性を理解しており、大まかな計画を示すことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1.2.3.5） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	保育と環境－「環境を通して行う保育」の特質、子どもの発達と環境との関わり。「環境」の復習。	予習	幼稚園教育要領 保育内容「環境」を読む。	復習	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を確認。
	第2回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（保育室）。 グループ討論と発表。	予習	教科書9pの演習課題1	復習	グループ討論のまとめ。
	第3回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（園舎）。 グループ討論と発表。	予習	教科書25pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
	第4回	内容	子どもの生活と物的環境②－保育の環境構成（園庭）。 グループ討論と発表。	予習	教科書41pの演習課題1	復習	グループ討論のまとめ。
	第5回	内容	子どもの生活と自然環境①－子どもを取り巻く自然環境 グループ討論と発表。	予習	教科書59pの演習課題1	復習	グループ討論のまとめ。
	第6回	内容	子どもの生活と自然環境②－季節感と取り入れた保育 グループ討論と発表。	予習	教科書59pの演習課題3	復習	グループ討論のまとめ。
	第7回	内容	子どもの生活と自然環境③－飼育動物の特徴と配慮 グループ討論と発表。	予習	実習で体験した動物飼育についてまとめる。	復習	グループ討論のまとめ。
	第8回	内容	子どもの生活と自然環境④－栽培植物の特徴と配慮 グループ討論と発表。	予習	教科書41pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
	第9回	内容	子どもの生活と社会①－施設との関わり グループ討論と発表。	予習	教科書75pの演習課題3	復習	グループ討論のまとめ。
	第10回	内容	子どもの生活と社会環境②－伝統的な行事との関わり グループ討論と発表。	予習	教科書75pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
	第11回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と数 グループ討論と発表。	予習	実習で体験した子どもの数体験について。	復習	グループ討論のまとめ。
	第12回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と文字 グループ討論と発表。	予習	教科書91pの演習課題1	復習	グループ討論のまとめ。
	第13回	内容	数量や文字に関する取り扱い②－小学校教育とのつながり グループ討論と発表。	予習	教科書75pの演習課題3	復習	グループ討論のまとめ。
	第14回	内容	小学校教育への連続性－「環境」と「生活科」「総合学習」 グループ討論と発表。	予習	教科書109pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ。 グループ討論と発表	予習	教科書109pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題に対するフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（20%）						
教科書	『保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領/幼稚園教育要領』（文部科学省・厚生労働省・内閣府、チャイルド本社） 『コンパス 保育内容 環境』（高橋貴志・日良秋子編、建帛社）						
参考文献	なし						
注意事項	保育者としての自覚と問題意識を持って授業に臨むこと。						

科目名	言葉（指導法）	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	はまな なな 浜名 那奈
ナバリングコード		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	保育者は、①言葉で気持ちを表現する力、②相手の話す言葉を聞く力、③言葉の楽しさや美しさに気づく力、の3つがバランスよく養われるよう、子どもの言葉の発達を促していきたい。この授業では、言葉に関する活動を通して、子どもの発達に合わせ、豊かな言葉を育むための援助のポイントを学び、活動を構想する力を身につけることをねらいとする。						
到達目標	1. 乳幼児の言葉の発達を理解している。 2. 乳幼児の言葉の発達を促すための援助や活動ができる。 3. 乳幼児のお手本として、自らが言葉を意識し、大切にすることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1,2,3,4）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	領域「言葉」の内容確認	予習	前期の授業「言葉」で学んだことをふり返る。	復習	領域「言葉」のねらいや用語を確認する。
	第2回	内容	言葉遊び（グループワーク）	予習	保育に活用できる言葉遊びを調べておく。	復習	授業で行った活動を指導できるようにする。
	第3回	内容	紙芝居を演じよう（グループワーク）	予習	紙芝居を1組選び、声に出して読んでおく。	復習	紙芝居を演じる練習をする。
	第4回	内容	発表：紙芝居を演じる①	予習	発表の準備をする。	復習	自分やクラスメイトの発表をふり返る。
	第5回	内容	発表：紙芝居を演じる②	予習	発表の準備をする。	復習	自分やクラスメイトの発表をふり返る。
	第6回	内容	発表：紙芝居を演じる③	予習	発表の準備をする。	復習	自分やクラスメイトの発表をふり返る。
	第7回	内容	科学絵本からの主活動	予習	科学絵本を一冊読んでおく。	復習	別の科学絵本からも主活動を構想する。
	第8回	内容	絵本からの主活動	予習	主活動に応用できそうな絵本を一冊選ぶ。	復習	別の絵本からも主活動を構想する。
	第9回	内容	実習園で行われていた領域「言葉」の実践をふり返る	予習	実習園での領域「言葉」の実践をふり返る。	復習	他園での実践例についてふり返る。
	第10回	内容	オノマトペを楽しもう（グループワーク）	予習	オノマトペとは何か、英語の授業をふり返る。	復習	授業で行った活動を指導できるようにする。
	第11回	内容	野菜と果物（グループワーク）	予習	野菜と果物の違いについて考えておく。	復習	授業で行った活動を指導できるようにする。
	第12回	内容	お手紙の主活動	予習	幼児がお手紙を書く機会や状況を考えておく。	復習	幼児がお手紙を書く際の指導をふり返る。
	第13回	内容	絵本作り①：制作	予習	児童文化で学んだ本の各部の名称をふり返る。	復習	絵本を完成させる。
	第14回	内容	絵本作り②：発表	予習	絵本を読み聞かせする練習をする。	復習	クラスメイトの作品をふり返る。
	第15回	内容	まとめ	予習	これまでのノートやプリントを見直す。	復習	この授業で何を学んだのか、考える。
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	発表に対して講評する。 小テストについて解説を行い、リフレクション・ペーパーにコメントを付す。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない ※必要に応じて、ふり返りの小テストを行う 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（40%）						
教科書	『新訂 事例で学ぶ保育内容 領域言葉』（無藤隆監修、萌文書林）※前期の「言葉」の授業と同じ						
参考文献	『絵本から学ぶ子どもの文化』（浅木尚実編著、同文書院）※一年次の「児童文化」の授業で使用した教科書 その他については、配布プリントで、その都度紹介する。						
注意事項	前期の「言葉」の授業で作った「読書ノート」を引き継ぐので、見聞した絵本について、引き続き記入すること。 毎回プリントを配布するので、収納できるよう、A4サイズのファイルを用意すること。						

参考文献	『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』
注意事項	授業を通して保育者にふさわしい言葉の豊かさや表現力を身につけよう。

科目名	造形表現（指導法）		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	たけだ まりえ 武田 真理恵
ナバリンクコード	CHS22105		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	<p>幼児期の造形表現とその指導法について、テキスト、資料からだけではなく、実際に保育現場で用いる多様な教材や用具に触れ、表現や指導を体験することから学ぶ。</p> <p>幼児の成長に合わせた造形表現活動や遊びを通して豊かな感性を育む道筋を学ぶ。</p>							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 制作活動を主体的に取り組み、自分らしい造形表現ができる</li> <li>2. 基礎的知識や技能をもとに多様に応用できる力と自信を身につけている</li> <li>3. 幼児の造形表現指導に必要な伝わりやすい指導法を身につけている</li> <li>4. 子供の発達に応じた表現活動の行動計画を考え構成することができる</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 1245 ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 造形表現（指導法）の取り組みについて	予習	シラバスを読んでおく	復習	授業内容を理解する	
	第2回	内容	描く-1 技法を楽しむ クレヨンと絵の具	予習	クレヨン・絵の具について調べる	復習	技法について理解を深める / 折り紙	
	第3回	内容	立体-1 生活素材で手作りおもちゃを作る	予習	手作りおもちゃについて調べる	復習	おもちゃについて理解を深める / 折り紙	
	第4回	内容	立体-2 楽器を作る	予習	作品イメージを決めておく	復習	作品を完成させる / 折り紙	
	第5回	内容	感性・イメージを豊かにする-1 ひかりと遊ぶ	予習	ひかりについて調べる	復習	光を使った他の活動を考える / 折り紙	
	第6回	内容	遊びを豊かにする-1 人形遊びについて（ペープサート1）	予習	作品イメージを決めておく	復習	作品が仕上がる為に準備する / 折り紙	
	第7回	内容	人形遊びについて（ペープサート2）	予習	人形遊びについて調べる	復習	人形遊びについて理解を深める / 折り紙	
	第8回	内容	遊びを豊かにする-2 生活とあそびについて（ままごとあそび）	予習	作品イメージを決めておく	復習	ままごとあそびを深める / 折り紙	
	第9回	内容	感性・イメージを豊かにする-2 自然物を使った製作 落ち葉のアート他	予習	落ち葉を拾いに行く	復習	自然物に興味を持つ / 折り紙	
	第10回	内容	編む・織る 毛糸であそぶ（機織り1）	予習	編む・織るについて調べる	復習	編む・織るについて理解を深める / 折り紙	
	第11回	内容	毛糸であそぶ（機織り2）	予習	作品が仕上がる為に準備をする	復習	作品を仕上げる / 折り紙	
	第12回	内容	環境・行動を豊かにする-1 子供とつくる壁面構成1 グループワーク	予習	作品イメージを話し合う	復習	壁面構成について理解を深める / 折り紙	
	第13回	内容	子供とつくる壁面構成2 グループワーク	予習	折り紙課題提出の準備をする	復習	壁面構成について理解を深める / 折り紙	
	第14回	内容	遊びを豊かにする造形表現活動 指導計画をつくる ※折り紙課題提出	予習	指導計画の準備をする	復習	指導計画について理解を深める	
	第15回	内容	造形表現指導実践とフィードバック	予習	手作りおもちゃの指導法について調べる	復習	自分なりのしどうほうを考える/授業振り返り	
	予習に要する学習時間：概ね 20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作成した作品（随時、発表）やレポートにコメントを行う。 課題提出のフィードバック（10回目あたり）							
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： レポート（20%）、課題（20%）、作品・発表（40%）、授業態度【積極的参加、忘れ物の有無】（20%）</p>							
教科書	なし							
参考文献	<p>『楽しい造形表現』（子どもの造形表現研究会 編著、主文社）</p> <p>『クレヨンからはじめる幼児の描画指導』（松浦龍子 黎明書房）</p>							
注意事項								

科目名	音楽・身体表現（指導法）	単位数	1	授業時間数	15	担当教員	しおさき 塩崎 みづほ・二藤宏美
ナバリンクコード	CHS22106	授業形態	演習	実務経験			とうひろみ
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	保育内容の各領域を総合的にとらえ表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。体の動き、音・リズムを工夫し、豊かな感性を育み、自らのイメージを広げて表現する楽しさについて理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児の心情、認識、思考、動きなどを視野にいたした保育の構想の重要性を理解している。</li> <li>2. 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</li> <li>3. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</li> <li>4. 音楽・身体表現の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 1・2 ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	本授業の概要（合同） 音楽・身体表現のねらい、および内容について乳幼児期の発達を踏まえて理解する	予習	領域「表現」について教育要領等を読んでくる		
				復習	本時の内容をノートにまとめる		
	第2回	内容	【塩崎①】 指導案作成の構造を理解し、身体表現活動におけるねらいについて考え、具体的な題材について検討し、指導実践法について研究する。	予習	1年後期の授業のプリントを読んでくる		
				復習	本時の内容をノートにまとめ、興味のある題材を一つに絞る		
	第3回	内容	【塩崎②】 豊かな感性を育み、イメージが広がり、工夫した動きを引き出す言葉がけ・問いかけについて理解し、具体的な保育を想定した指導場面での活用について考える。	予習	指導案のねらいを考え、ノートの記入しておく		
				復習	具体的な題材を決め、指導案を完成させてくる		
	第4回	内容	【塩崎③】 3歳未満児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、その振り返りを通して保育の改善点について考える。	予習	指導ノートの記入の仕方例を読み込んでくる		
				復習	指導案に沿った指導ノートを記入する		
	第5回	内容	【塩崎④】 3歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りをグループでディスカッションし、保育の改善点について考える。	予習	指導のリハーサルを行う		
				復習	指導実践後の振り返りをノートにまとめる		
	第6回	内容	【塩崎⑤】 4歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、グループでのディスカッションを通して保育の改善について考える。	予習	身体表現遊びのウォーミングアップについて考えてくる		
				復習	改善点についてノートにまとめる		
	第7回	内容	【塩崎⑥】 5歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りをグループディスカッションし、保育の改善方法について考えを深める。	予習	5歳児の題材について考えノートにまとめる		
				復習	本時の指導実践の振り返りをノートにまとめる		
	第8回	内容	【塩崎⑦】 身体表現遊びの意義についてグループディスカッションし、指導法についての理解をまとめる。	予習	身体表現遊びの意義について自分なりの考えをノートにまとめる		
				復習	指導法についてノートにまとめる		
	第9回	内容	【二藤①】 幼児期の音楽表現におけるねらいについて考え、題材の概観・理解・実践を通して指導の姿をイメージする。	予習	教科書を読んで活動のねらいを理解しておく		
				復習	扱った音楽遊びの内容を覚える		
	第10回	内容	【二藤②】 3歳児の音楽表現の指導案を作成し、模擬授業の実践、振り返りを通して保育の改善について考える。	予習	指導案を作成し指導のリハーサルを行う		
				復習	3歳児の指導実践についてノートにまとめる		
	第11回	内容	【二藤③】 4歳児の音楽表現の指導案を作成し、模擬授業の実践、振り返りを通して保育の改善について考える。	予習	指導案を作成し指導のリハーサルを行う		
				復習	4歳児の指導実践についてノートにまとめる		
	第12回	内容	【二藤④】 5歳児の音楽表現の指導案を作成し、模擬授業の実践、振り返りを通して保育の改善について考える。	予習	指導案を作成し指導のリハーサルを行う		
				復習	5歳児の指導実践についてノートにまとめる		
	第13回	内容	【二藤⑤】 幼児の合奏表現の指導案を作成し、模擬授業の実践、振り返りを通して保育の改善について考える。	予習	指導案を作成し指導のリハーサルを行う		
				復習	幼児の合奏表現のポイントをノートにまとめる		
	第14回	内容	【二藤⑥】（グループワーク）テーマに沿って、声、音、楽器を使ったものがたりを創作し、発表の準備を行う。	予習	担当するテーマについて展開を考えてくる		
				復習	発表内容をまとめて練習しておく		
	第15回	内容	【二藤⑦】 作品を発表し互いに講評し合う。音楽表現指導の今日的な意義についてディスカッションする。	予習	発表内容のリハーサルを行う		
				復習	討論を踏まえて自分の考えをまとめる		
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。							
課題へのフィードバック	発表において、発表後に講評を行う。 レポート、ノートについては集めた際にコメントを書き返却する						

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（20%）、授業態度【積極的な参加、出席状況】（20%）
教科書	『体を楽器にした音楽表現リズム&ゲームにどっぷり！リトミック 77 選』（神原雅之著、明治図書出版） 『運動あそび・表現あそび 指導方法を身に付ける理論と実例』（宮下恭子編著、大学図書出版）
参考文献	『リトミックで遊ぼう 器楽合奏編』（定成淡紅子、全音楽譜出版社）
注意事項	身体表現の授業では、原則学校指定のジャージを着用して出席すること。 クラスを2つに分けて実施。塩崎：15回、二藤：15回

科目名	健康		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	はしもと ようこ 橋本 洋子 しんど のぶゆき 新戸 信之
ナバリングコード	CHS22108		授業形態	演習	実務経験			
業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	子ども達の健康な心と体を育てるための基盤となる知識を身に付ける。具体的には、幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達等において、幼児期には大人と違った特徴や意義があることを理解し、個々の発育・発達に即した指導をする際に必要となる知識を習得する。							
到達目標	1. 幼児期の健康課題について理解し、説明できる。 2. 幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解し、説明できる。 3. 安全な生活と怪我や病気の予防について理解し、説明できる。 4. 幼児期の運動発達の特徴と意義を理解し、説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1,2 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	保育現場の現状と「生きる力」について	予習	生きるために必要な力とその獲得方法を考える			
				復習	「健康」のねらい及び内容についてまとめる			
	第2回	内容	健康の定義と乳幼児の健康	予習	健康のためにしていることについて家族と話す			
				復習	「子どもの健康」の捉え方についてまとめる			
	第3回	内容	乳幼児期の健康課題	予習	自分の乳幼児期の健康状態について家族と話す			
				復習	乳幼児の健康課題の変遷についてまとめる			
	第4回	内容	乳幼児期の発育と発達	予習	出生時～5歳時の自分の身長と体重を調べる			
				復習	年齢ごとの発育・発達の特徴についてまとめる			
	第5回	内容	幼児の心の健康と自己肯定感	予習	「自己肯定感」についてwebで調べる			
				復習	心の安定や自己肯定感の重要性についてまとめる			
	第6回	内容	基本的な生活習慣の獲得とその意義 乳幼児期の生活習慣（食事・排泄・睡眠・運動）	予習	乳幼児期の健康課題および基本的な生活習慣とは何か調べる			
				復習	乳幼児が基本的な生活習慣を獲得することの意義・重要性をまとめる			
	第7回	内容	基本的な生活習慣と生活リズム	予習	生活リズムについて調べる			
				復習	基本的な生活習慣・生活リズムの形成と心身の発育・発達との関連についてまとめる			
	第8回	内容	乳幼児期の運動発達	予習	自分が「初めてできた事」が何歳であったのか、家族から聞き取る			
				復習	「ゴールデンエイジ」についてまとめる。			
第9回	内容	日常生活における幼児の身体活動	予習	日常生活における、幼児の身体活動をリストアップする				
			復習	「便利さ」と「健康」とのバランスについて考える				
第10回	内容	幼児期の運動遊びの重要性	予習	運動遊びの種類を調べる				
			復習	遊びをすることにより身につくと思われる能力についてまとめる				
第11回	内容	自然に触れること、戸外で遊ぶことの重要性	予習	自然に触れる遊びをリストアップする				
			復習	自宅周辺で可能な自然に触れる遊びを考える				
第12回	内容	保育現場におけるリスクとハザード	予習	公園から消えた「動く遊具」について調べる				
			復習	リスク対応についてまとめる				
第13回	内容	乳幼児の健康と安全について 感染症、熱中症、アレルギー等の対策について	予習	感染症、熱中症、アレルギーとは何か調べる				
			復習	保育現場における感染症、熱中症、アレルギーの事例についてまとめる				
第14回	内容	リスクマネジメントについて	予習	乳幼児に多いケガや病気について調べる。				
			復習	傷病の予防方法、応急処置方法についてまとめる。				
第15回	内容	子どもの健康に果たす保育者の役割 まとめ	予習	保育園や幼稚園で自分を担任した先生の言動を思い出す				
			復習	保育者としての役割を果たすために必要な資質についてまとめる				
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。								
課題へのフィードバック	小テストにより理解度を確認し、必要に応じた解説をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、授業態度（20%）							

教科書	『乳幼児の健康-教育・保育に向けた計画と実践』
参考文献	幼児期の食事と健康 - 公益社団法人 千葉県栄養士会【WEB】、幼児期運動指針：文部科学省【WEB】 幼児期の運動遊びが生涯の体力を左右する - 健康・体力づくり事業財団【WEB】
注意事項	

科目名	人間関係		単位数	1	授業時間数	30	担当教員 まるはしさとみ あきやまひろこ 丸橋 聡美・秋山 展子
ナバリングコード	CHS22109		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身につける。領域「人間関係」の指導基盤となる基礎理論として関係発達論的視点について学び、他者との関係や集団との関係のなかで人と関わる力が育つことを理解する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解している。</li> <li>2. 園生活における幼児期の人間関係の発達について理解している。</li> <li>3. 遊びのなかで育つ人との関わりや発達について、乳幼児との関係、保育者との関係、集団のなかでの育ちを観点として説明できる。</li> <li>4. 自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、それぞれの育ちについて子どもの発達の姿と合わせて説明できる。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ①②④ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、現代社会と幼児の人間関係①幼児期の生活経験と現代の幼児の生活（グループワーク）	予習	講義内容を読んでおく	復習	この科目で習得すべき内容を理解する
	第2回	内容	現代社会と子どもの人間関係②ディスカッション（ICTの活用）	予習	子どもの定義を考える	復習	人間関係の広義を理解する
	第3回	内容	3歳未満児の人間関係の発達①0歳児	予習	保育の基本とは何かを確認しておく	復習	0歳児の関わりや発達をまとめる
	第4回	内容	3歳未満児の人間関係の発達②1・2歳児	予習	1.2歳児の発達を調べておく	復習	1.2歳児の人との関わりや発達をまとめる 小テストの内容を確認する①
	第5回	内容	3歳以上児の人間関係の発達③3歳児	予習	3歳児の発達を調べておく	復習	小テストの内容を復習する①
	第6回	内容	3歳以上児の人間関係の発達④4・5歳児	予習	4.5歳児の発達を調べておく	復習	小テストの内容を確認する②
	第7回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係①乳幼児と遊び	予習	子どもの遊びを調べる	復習	小テストの内容を復習する②
	第8回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係②個の育ち	予習	事例プリントを読む	復習	小テストの内容を確認する③
	第9回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係③集団での育ち	予習	集団の形成について調べる	復習	小テストの内容を復習する③
	第10回	内容	乳幼児期の自立心の育ち（ICT活用）	予習	子どもの心の発達を調べる	復習	小テストの内容を確認する④
	第11回	内容	幼児期の共同性の育ち	予習	プリントを読んでおく	復習	小テストの内容を復習する④
	第12回	内容	幼児期の道徳性・規範意識の芽生えと育ち	予習	自身の事例をあげる	復習	小テストの内容を確認する⑤
	第13回	内容	乳幼児を取り巻く人間関係①家庭・地域との関わり	予習	身の周り（地域・家族）の事例を考える	復習	小テストの内容を復習する⑤
	第14回	内容	乳幼児を取り巻く人間関係②世代間交流	予習	身の周り（世代間交流）の事例を考える	復習	世代間交流についてノートに整理する
	第15回	内容	乳幼児期の人間関係のひろがる場と関係性、まとめ	予習	これまでの内容を整理する	復習	学んだ内容を整理する
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題や小テスト採点后返却し、説明を行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（40%）、課題（20%）、小テスト（20%）、授業態度【積極的な取り組み】（20%）						
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』・解説書、プリント資料、						
参考文献	授業において紹介する						
注意事項	必要に応じてビデオ視聴を取り入れ、資料・プリントを配布しながら進める。 自分自身の体験とつなげ、考えながら学びを深めること。						

科目名	環境	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	なかむら ほしの 中村・星野
ナバリングコード	CHS12104	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	子どもは家庭・保育所・幼稚園・地域社会などの「環境」の中で生活し、その体験を通じて、人格形成の基礎となる豊かな心情、思考力や想像力、意欲や態度などが培われる。本講義は、幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「環境」の内容を理解し、保育者に求められる援助について理解することを目的とする。						
到達目標	1. 子どもの成長にとって望ましい自然体験と保育者の適切な援助方法について理解している。 2. 「環境を通した保育」の意義と、保育者の援助について、自分の考えを述べるができる。 3. 自然と生命を尊重する態度を身につけ、子どもに伝えることができる。 4. 保育内容「環境」と小学校「生活科」の連続性について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1.2） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	保育と環境－「環境を通して行う保育」の特質、子どもの発達と環境との関わり	予習	幼稚園教育要領 第1章を読む。	復習	「環境を通して行う保育」についての課題
	第2回	内容	領域「環境」のねらいと内容－「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」。	予習	教科書 1～8p を読む。	復習	領域「環境」の概要についての課題
	第3回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（保育室、園舎）。	予習	教科書 11～15p を読む。	復習	類案室の環境に関する課題
	第4回	内容	子どもの生活と物的環境②－保育の環境構成（園庭）。	予習	教科書 27～31p を読む。	復習	園庭の環境に関する課題
	第5回	内容	子どもの生活と自然環境①－子どもを取り巻く自然環境	予習	教科書 45～47p を読む。	復習	幼稚園教育要領解説 195p を読む。
	第6回	内容	子どもの生活と自然環境②－自然環境と保育実践（自然への気づき・季節感）	予習	教科書 47～54p を読む。	復習	幼稚園教育要領解説 197p を読む。
	第7回	内容	子どもの生活と自然環境③－動物との関わり、飼育動物の特徴と配慮	予習	教科書 54～57p を読む。	復習	幼稚園教育要領解説 66. 67p を読む。
	第8回	内容	子どもの生活と自然環境④－植物の関わり、栽培植物の特徴と配慮、実践例	予習	教科書 57～58p を読む。	復習	幼稚園教育要領解説 199p を読む。
	第9回	内容	子どもの生活と社会①－社会環境と地域性、情報化と保育	予習	教科書 61～67p を読む。	復習	幼稚園教育要領解説 205p を読む。
	第10回	内容	子どもの生活と社会環境②－情報と生活、伝統的な行事との関わり、地域や施設との関わり	予習	教科書 67～75p を読む。	復習	幼稚園教育要領解説 200p を読む。
	第11回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と数、子どもの生活と文字	予習	教科書 77～84p を読む。	復習	幼稚園教育要領解説 203p を読む。
	第12回	内容	数量や文字に関する取り扱い②－小学校教育とのつながり	予習	教科書 84～91p を読む。	復習	幼稚園教育要領解説 212p を読む。
	第13回	内容	小学校教育への連続性－保育内容「環境」と小学校教育の「生活科」「総合学習」への連続性	予習	教科書 93～99p を読む。	復習	小学校「生活科」についての課題
	第14回	内容	保育内容「環境」に関わる教育思想の変遷－ペスタロッチ・フレーベル・オウエン・倉橋惣三など。	予習	配布された資料を読む	復習	環境を通した保育思想についてまとめる。
	第15回	内容	グループ討論と発表。 授業の振り返りとまとめ	予習	教科書 123～126p を読む。	復習	「環境を通して行う保育」についてレポートを作成する。
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題に対するフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（％）、レポート・課題（100％）、作品・発表（％）、実技（％）、授業態度（％）						
教科書	『保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領/幼稚園教育要領』（文部科学省・厚生労働省・内閣府、チャイルド本社） 『コンパス 保育内容 環境』（高橋貴志・目良秋子編、建帛社）						
参考文献	なし						
注意事項	保育者としての自覚と問題意識を持って授業に臨むこと。 中村 12 回・星野 3 回						

科目名	言葉	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	なかやま かずこ 中山 佳寿子
ナンバリングコード	CHS22111	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	乳幼児が豊かな言葉と表現を身につけ想像する楽しみを広げるために必要となる領域「言葉」指導の基礎的知識を身につける。言葉の意義と機能について理解した上で、乳幼児の発達に即して言葉を育む基礎的な力と、乳幼児の言葉を豊かに育む遊びや活動に関する知識を身につける。						
到達目標	1. 乳幼児の言葉の発達を理解している。 2. 人間にとっての言葉の意義や機能を理解している。 3. 乳幼児にとっての児童文化財の意義を理解している。 4. 子どもの豊かな言葉を育む活動や遊びについて基礎的な知識を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1 2 ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション（授業の内容、紹介する遊びや活動について）／ 領域「言葉」を学ぶ意義	予習	シラバスに目を通しておく	復習	授業のノート・指針・要領を対応させて読み込む
	第2回	内容	言葉の発達を学ぶ①（0歳～1歳半） 活動：「おなまえりレー」（グループワーク）	予習	前回のノートに目を通す	復習	授業で行った活動について、後で再現できるようまとめる
	第3回	内容	言葉の発達を学ぶ②（1歳半～3歳） 活動：「たんたん連想ゲーム」（グループワーク）	予習	前回のノートに目を通す	復習	授業で行った活動について、後で再現できるようまとめる
	第4回	内容	言葉の発達を学ぶ③（3歳～6歳） 活動：「ポーズでしりとり」	予習	前回のノートに目を通す	復習	言葉の発達について、ノートと教科書を見ながら理解を定着させる
	第5回	内容	言葉の発達を学ぶ④（まとめ） 討議：「早期幼児教育」のもたらす影響（グループワークの後、発表）	予習	前回までのノートに目を通す	復習	早期教育の問題点についてまとめる
	第6回	内容	多様な感情体験とことば①（教科書第3章） 活動：「額縁の絵Ⅰ」（グループワークの後、発表）	予習	事例（3-1、3-4、3-5、3-6）のみ目を通しておく	復習	授業で行った活動について、後で再現できるようまとめる
	第7回	内容	多様な感情体験とことば②（教科書第3章） 活動：「額縁の絵Ⅱ」（グループワークの後、発表）	予習	事例（3-8、3-9、3-11、3-14）のみ目を通しておく	復習	授業で行った活動について、後で再現できるようまとめる
	第8回	内容	体験・思いを共有するためのことば（教科書第4章）	予習	事例（4-3、4-6、4-7、4-8）のみ目を通しておく	復習	事例における「保育者の援助」をまとめる
	第9回	内容	ごっこ遊びの意義（教科書第7章） 活動：「ももたろうのごっこあそび①」（グループワークの後、発表）	予習	ごっこ遊びにはどんなものがあるか考えておく	復習	ごっこあそびを構想する手順をまとめておく
	第10回	内容	子どもと絵本（絵本の種類など） 活動：絵本を友だちに紹介しよう（グループワークの後、発表） レポート：4・5歳児向けの絵本	予習	4・5歳児向けの絵本を3冊読み授業にも持参する	復習	授業で出会った絵本の保育での活用法を考える
	第11回	内容	一次のことばと二次のことば（教科書第5章、6章） 活動：くろまる絵本を作ろう	予習	教科書 P130～131、138～142 を読んでおく	復習	二次のことばについてまとめる／くろまる絵本を仕上げしておく
	第12回	内容	話しことばと書きことば ～文字との出会い～ 活動：自作絵本（くろまる絵本）の発表	予習	「文字を書きたくなる遊び」について考える	復習	文字の習得の前提となる発達上の条件についてまとめる
	第13回	内容	ことばとはなにか？～言葉と思考～ 討議：「ケーキの切れない非行少年たち」について	予習	言葉を使わないで考えられるか試してみる	復習	言葉と思考の関係についてまとめておく
	第14回	内容	現代的課題と領域「言葉」（教科書第8章） 討議：「メディアによるバーチャル体験」と「ごっこ遊び」の違いについて考えよう（発表）	予習	教科書 P190～191 を読んでおく	復習	保育者として子どもの「感性」「創造性」「言葉の豊かさ」をどのように育むか、考察してまとめる
	第15回	内容	まとめ（学習内容と活動の振り返り）	予習	これまでのノートを見返しておく	復習	領域「言葉」と他領域の関連をまとめる
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	レポートにコメントを記入する。発表については具体的なアドバイスをを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（30%）、授業態度（20%）						

教科書	『新訂 事例で学ぶ保育内容 領域言葉』（無藤隆監修、出版社名 萌文書林）
参考文献	『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』
注意事項	授業を通して保育者にふさわしい言葉の豊かさや表現力を身につけよう。

科目名	造形表現		単位数	1	実務経験	担当教員 おぐち すぐる 小口 偉	
ナバリンコード	CHS22112		授業形態	演習			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	乳幼児期の造形的表現方法は、発達段階を踏まえ、適切な素材提供をすることが、活動に広がりとお興行きをもたらす。子どもの活動をもとにした活動体験をすることから、「素材、道具について」の造形的側面と、「乳幼児の表現活動について」の心身の発達における側面から、造形を通じた表現について理解、関心を深める。						
到達目標	1. 子どもたちの表現活動の意義を理解している。 2. 年齢やクラス編成ごとに変化する活動内容に応じた環境づくりができる。 3. 子どもたちと活動が楽しめる技術、視点、方法を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 1、2 ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	素材体験1 紙について 質感で遊ぶ	予習	参考書等の紙の活動に関する読み込み	復習	身近な紙の触り心地を確かめておく
	第2回	内容	素材体験2 グループワーク 紙について2 空間を使って遊ぶ	予習	遊ぶことは何かノートに書き出し持参する。	復習	体験を通して空間を使って遊ぶことは何か自分なりに考え、まとめる。
	第3回	内容	素材体験3 クレヨン、パスについて理解する	予習	参考書等のクレヨン、パスに関する項目を読み込む。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第4回	内容	素材体験4 グループワーク 粘土に触る	予習	参考書等の粘土に関する記述について読む。	復習	体験内容をノートにまとめる。
	第5回	内容	素材体験5 グループワーク シート系素材を理解する	予習	参考書等のハサミに関する記述について、ノートにまとめ持参する。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第6回	内容	道具体験1 道具を理解する ハサミについて	予習	参考書等のステープラーに関する記述について、ノートにまとめ持参する。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第7回	内容	道具体験2 道具を理解する ステープラーについて	予習	参考書等の接着に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第8回	内容	応用1 構成遊びについて1 色画用紙を使った構成遊び制作を体験する	予習	構成遊びについて調べる。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第9回	内容	応用2 構成遊びについて2 与えられたきっかけから画面構成をする1	予習	構成遊びについて調べる。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第10回	内容	応用3 構成遊びについて3 与えられたきっかけから画面構成をする2 発表	予習	構成遊びについて調べ、まとめたノートを持参する。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第11回	内容	応用4 様々な技法遊び デカルコマニー/スクラッチの制作体験をする	予習	技法遊びについて5つの種類とその方法を調べ、まとめたものを持参する。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第12回	内容	立体の扱いについて「紙立体」 合同制作と共同制作を体験する	予習	参考書の紙立体に関する記述について、ノートにまとめ持参する。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第13回	内容	生活素材を使った制作体験をする	予習	造形素材として使用できる可能性のあるものを集めておく。	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第14回	内容	工作体験をする「動きを遊ぶ紙工作」	予習	参考書の紙工作に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	第15回	内容	振り返り ドキュメンテーション作成をする	予習	ドキュメンテーションについて調べ、まとめたノートを持参する。(60分)	復習	体験内容を記録ノートにまとめる。
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。						
課題へのフィードバック	各提出課題に対し採点をする。返却の際に保育現場での実践方法や、注意点を伝える。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験( )%、レポート・課題(20%)、作品・発表(40%)、実技( )%、授業態度【積極的な取り組み】(40%)						
教科書	『保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領』平成29年3月31日告示						
参考文献	『楽しい造形表現』(子ども造形表現研究会、圭文社) 『保育園・幼稚園の造形あそび』(鮫島良一、馬場千晶、成美堂出版)						
注意事項	出来映えは重視しません。誠実に、積極的に取り組むこと。 ※ 作品制作に関わる道具、材料費は個人負担です。(1600円)。						

3・7 科目名	音楽・身体表現		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おおわこういち しおざき 大輪公老・塩崎みづほ
ナバリングコード	CHS22113		授業形態	演習	実務経験	無		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	領域「表現」における音楽・身体表現の指導法に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや環境について実践的に学ぶとともに、保育者として必要な知識・技能を学び、豊かな感性と表現力を身に付ける。							
到達目標	1. 見る・聴く・動くなどの様々な表現を楽しむことを通して、イメージを豊かにすることができる。 2. 生活の中での出来事を、様々な素材を生かして表現することができる。 3. それぞれの表出・表現を受け止め、表現する過程を工夫し、より楽しめるよう発展させることができる。 4. 他者を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができる。 5. ソルフェージュ（音感教育）をベースに唱歌・童謡における基本的な音楽要素を下記の訓練を通して身に付け、かつピアノ・打楽器演奏及び歌唱法が理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1.2 ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	授業の概要について理解する 領域「表現」のねらい及び内容について理解する	予習	シラバスを読み、本授業のねらいを理解する	復習	本時の内容をノートにまとめる	
	第2回	内容	「乳幼児の表現」 乳幼児期のリズム遊びの実技の実践を通して、保育者として受け止める視点についてグループディスカッションし、その大切さについて考える。	予習	乳幼児期の表現の特徴について、調べる	復習	グループ討議の内容をまとめ、自分の感想も記入する	
	第3回	内容	「身体表現とは」 運動会作品に繋がる表現遊びの実践を行い、その活動を通して、豊かな表現を引き出すための保育者の役割や、題材について討議する。	予習	乳幼児期の運動発達についての箇所を読んでくる	復習	身体表現の題材についてまとめる	
	第4回	内容	「生活の中での身体表現」 生活を題材とした身体表現遊びの実技を通して、豊かな表現活動の展開の可能性についてグループディスカッションをする。	予習	生活の中での身表現の題材について考えてくる	復習	本時の実技内容についてまとめ、感想を記入する	
	第5回	内容	「絵本と身体表現」 絵本を題材とした身体表現遊びの実技を通して、展開についてグループディスカッションをする。	予習	身体表現に利用できる絵本を探してくる	復習	作品の動きをノートにまとめ、感想を記入する	
	第6回	内容	「自然と身体表現」 自然を題材とした身体表現遊びの実技を通して、展開についてグループディスカッションをする。	予習	動きになりそうな自然物を探し、撮影する	復習	作品テーマと動きについてまとめ、感想を記入する	
	第7回	内容	「ICTを使った身体表現」 ICTを活用した表現方法について実践し、生かし方・工夫について話し合い、まとめる。	予習	ICTの意味について調べ活用方法について考えてくる	復習	活用の仕方、操作の仕方の練習をする	
	第8回	内容	「作品創作と発表」 今までの授業のまとめとして、作品創作過程を学び、発表し、発表会までの流れについて学ぶ。	予習	創作した動きの練習と動きの記入をする	復習	発表までの過程を振り返りレポートにまとめる	
	第9回	内容	楽典①譜表・音名・階名、及び英・日における音符の読み書き。	予習	資料を熟読し、要点をレポートにまとめる。	復習	プリント資料の五線紙へ音符及び音名を書く。	
	第10回	内容	楽典②楽語・音程・調：伊語による基本的な楽語ならびにインタビューと調性の理解。	予習	資料を熟読し、要点をレポートにまとめる。	復習	プリント資料へ楽語、音程、調性を書き込む。	
	第11回	内容	楽典③音・休符の種類と和音：音・休符、和音の名称とその内容への理解。	予習	資料を熟読し、要点をレポートにまとめる。	復習	プリント資料へ音・休符・和音と名称を記入。	
	第12回	内容	リズム及び書き取りの基本：基礎的なリズムを拍子とともに理解し、ディクテーションの方法を学ぶ。	予習	資料を熟読し、要点をレポートにまとめる。	復習	書き取ったものを再度演奏して確認する。	
	第13回	内容	リズムカノン唱とリズム叩き：カノン形式への理解と、カノン唱及びリズム叩きを学ぶ。	予習	資料を参照しカノンをレポートへまとめる。	復習	カノン唱・リズム叩きを再度演奏し確認する。	
	第14回	内容	リズム諸楽器（打楽器）の解説とリズム楽器演奏：リズム楽器の絵図をまとめ、リズム楽器を実演する。	予習	資料を参照し打楽器をレポートへまとめる。	復習	絵図のまとめと手拍子によるリズムの再演奏。	
	第15回	内容	学習まとめの発表：唱歌・童謡を任意選択し妥当と思われるリズム楽器を付して演奏。	予習	資料を参照し選択した作品をレポートへ記す。	復習	無伴奏による歌唱に打楽器を付し再演奏。	
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								

課題へのフィードバック	提出を求めた課題レポート等に対しては、添削を施し返却・解説する。また簡易な実技演奏に関しては可能な限り個別に対応しながらコメントを行う。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 30 %）、作品・発表（ 20 %）、実技（ 20 %）、授業態度【積極的に参加し、自分なりの表現、意見をする、出席状況】（ 30 %）
教科書	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身につける理論と実例』（宮下恭子編著、大学図書出版）
参考文献	『新・幼児の音楽教育』（井口太編、朝日出版社）『実用こどものうた』（田口雅夫・高崎和子編、カワイ出版）
注意事項	成績評価は授業内でのレポート、発表、授業態度等で総合的に判断する。 授業内での飲食、スマートフォンの使用、私語は厳禁。 身体表現の授業では、実技を行う際必ず指定のジャージを着用すること。 大輪：8回、塩崎：8回

科目名	音楽 I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おおむ こういち 大輪 公彦 他
ナンバリングコード	EDS22101		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	この授業では、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽に関する基礎的な知識や理論(楽典)、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を並行して行う。6名前後のグループの半数が個人レッスン、それ以外の半数はクラス授業を受講し、45分で交代する							
到達目標	1. 基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2. 幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3. 保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科(2・3・7) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 授業内容、進め方について	予習	事前にシラバスを読んでおく			
				復習	この科目で学ぶ内容を確認しておく			
	第2回	内容	ハ長調の和音・分散和音の伴奏形① 大学ピアノ教本 No.1~8	予習	大学ピアノ教本 No.1~8の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No.1~8の復習			
	第3回	内容	分散和音の伴奏形②・③ 大学ピアノ教本 No.9~16	予習	大学ピアノ教本 No.9~16の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No.9~16の復習			
	第4回	内容	分散和音の伴奏形④ 4分音符と8分音符 大学ピアノ教本 No.17~24	予習	大学ピアノ教本 No.17~24の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No.17~24の復習			
	第5回	内容	ハ長調の下属和音 大学ピアノ教本 No.25~26	予習	大学ピアノ教本 No.25~26の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No.25~26の復習			
	第6回	内容	ハ長調の主和音・下属和音・属和音 大学ピアノ教本 No.27~32	予習	大学ピアノ教本 No.27~32の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No.27~32の復習			
	第7回	内容	ト長調の主和音・下属和音・属和音 大学ピアノ教本 No.33~38	予習	大学ピアノ教本 No.33~38の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No.33~38の復習			
	第8回	内容	中間発表会(個人発表) いろいろな伴奏形①~④ 大学ピアノ教本 No.39~42	予習	大学ピアノ教本 No.39~42の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No.39~42の復習			
第9回	内容	高い音の練習 大学ピアノ教本 No.43~46	予習	大学ピアノ教本 No.43~46の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No.43~46の復習				
第10回	内容	3/8拍子と6/8拍子 大学ピアノ教本 No.47~48 生活のうたの弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No.47~48他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No.47~48他の復習				
第11回	内容	付点4分音符を用いたリズム 大学ピアノ教本 No.49~54 生活のうたの弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No.49~54他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No.49~54他の復習				
第12回	内容	ハ長調の音階 大学ピアノ教本 No.55~58 生活のうたの弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No.55~58他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No.55~58他の復習				
第13回	内容	ハ長調の音階 大学ピアノ教本 No.59~61 生活のうたの弾き歌い④	予習	大学ピアノ教本 No.59~61他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No.59~61他の復習				
第14回	内容	ト長調の音階 大学ピアノ教本 No.62~67 生活のうたの弾き歌い⑤	予習	大学ピアノ教本 No.62~67他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No.62~67他の復習				
第15回	内容	これまでの授業のまとめと発表	予習	発表曲の予習				
			復習	指導を受けた点を復習する				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(10%)、作品・発表(30%)、実技(50%)、授業態度【積極的参加】(10%)							
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』(大学音楽教育研究グループ、教育芸術社) 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』(小林美実 他、チャイルド本社)							
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。							
注意事項								

科目名	音楽Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おおわ こういち 大輪 公老 他
ナンバリングコード	EDS22102		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	音楽Ⅰに引き続き、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽に関する基礎的な知識や理論(楽典)、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を並行して行う。6名前後のグループの半数が個人レッスン、それ以外の半数はクラス授業を受講し、45分で交代する。							
到達目標	1. 基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2. 幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3. 保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科(2・3・7) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	臨時記号と半音階 大学ピアノ教本 No.68~69 季節のうた(春) 弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No.68~69 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.68~69 他の復習	
	第2回	内容	16分音符を用いたリズム 大学ピアノ教本 No.70~72 季節のうた(春) 弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No.70~72 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.70~72 他の復習	
	第3回	内容	イ短調の主要三和音 大学ピアノ教本 No.73~76 季節のうた(春) 弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No.73~76 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.73~76 他の復習	
	第4回	内容	6度・3度の重音 大学ピアノ教本 No.77~78 季節のうた(夏) 弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No.77~78 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.77~78 他の復習	
	第5回	内容	3連符 大学ピアノ教本 No.79~80 季節のうた(夏) 弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No.79~80 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.79~80 他の復習	
	第6回	内容	へ長調よりハ長調への転調 大学ピアノ教本 No.81 季節のうた(夏) 弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No.81 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.81 他の復習	
	第7回	内容	3度の重音と8度の跳躍 大学ピアノ教本 No.82 季節のうた(秋) 弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No.82 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.82 他の復習	
	第8回	内容	弱起の曲 大学ピアノ教本 No.83~84 季節のうた(秋) 弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No.83~84 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.83~84 他の復習	
	第9回	内容	ニ長調とニ短調の主要三和音 大学ピアノ教本 No.85~86 季節のうた(秋) 弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No.85~86 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.85~86 他の復習	
	第10回	内容	装飾音 大学ピアノ教本 No.87~90 季節のうた(冬) 弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No.87~90 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.87~90 他の復習	
	第11回	内容	複付点音符 大学ピアノ教本 No.91 季節のうた(冬) 弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No.91 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.91 他の復習	
	第12回	内容	大学ピアノ教本 No.92~94 季節のうた(冬) 弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No.92~94 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.92~94 他の復習	
	第13回	内容	マーチ、その他① 大学ピアノ教本 No.95~98	予習	マーチ曲(大学ピアノ教本 No.95~98)の予習	復習	マーチ曲(大学ピアノ教本 No.95~98)の復習	
	第14回	内容	マーチ、その他② 大学ピアノ教本 No.99~102	予習	マーチ曲(大学ピアノ教本 No.99~)の予習	復習	マーチ曲(大学ピアノ教本 No.99~)の復習	
	第15回	内容	マーチ、その他③ 大学ピアノ教本 No.103~107	予習	大学ピアノ教本 No.103~107 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.103~107 他の復習	
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(10%)、作品・発表(30%)、実技(50%)、授業態度【積極的参加】(10%)							
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』(大学音楽教育研究グループ、教育芸術社) 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』(小林美実 他、チャイルド本社)							
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。							
注意事項								

科目名	音楽Ⅲ	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おおわ こういち 大輪 公老 他	
ナンバリングコード	EDS22201	授業形態	演習	実務経験				
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	音楽Ⅰ、音楽Ⅱで学んだ内容をもとに、子どもの音楽活動を支える基礎技能として、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されるこどもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。クラスを担当する複数の教員より指導を受ける。							
到達目標	1. 音楽Ⅰ、音楽Ⅱで身につけた知識、ピアノ演奏技術を深め、教育実習や保育現場での実践に対応できるよう、より多くのこどものうたの弾き歌いができている。 2. コードネームを用いた楽譜から、簡単な伴奏付けをすることができている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・3・7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	事前にシラバスを読んでおく	復習	この科目で学ぶ内容を確認しておく	
	第2回	内容	園生活のうた 弾き歌い① 「おはよう」「おはようのうた」他	予習	「おはよう」「おはようのうた」の予習	復習	「おはよう」「おはようのうた」を復習	
	第3回	内容	園生活のうた 弾き歌い② 「おべんとう」「おかえりのうた」他	予習	「おべんとう」「おかえりのうた」の予習	復習	「おべんとう」「おかえりのうた」の復習	
	第4回	内容	園生活のうた 弾き歌い③ 「さよならのうた」「おかたづけ」「おむねをはりましょ」	予習	「さよならのうた」の予習	復習	「さよならのうた」の復習	
	第5回	内容	季節のうた 4月① 他 「あくしゅでこんにちは」「せんせいとおともだち」	予習	「あくしゅでこんにちは」他の予習	復習	「せんせいとおともだち」他の復習	
	第6回	内容	季節のうた 4月② 「チューリップ」「ちょうちょう」「めだかの学校」他	予習	「チューリップ」「ちょうちょう」他の予習	復習	「ちょうちょう」「めだかの学校」他の復習	
	第7回	内容	季節のうた 5月① 「こいのぼり」「手をたたきましよう」他	予習	「手をたたきましよう」「こいのぼり」他の予習	復習	「手をたたきましよう」「こいのぼり」他の復習	
	第8回	内容	季節のうた 5月② 「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他	予習	「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他の予習	復習	「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他の復習	
	第9回	内容	季節のうた 6月① 「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」他	予習	「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」の予習	復習	「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」の復習	
	第10回	内容	季節のうた 6月② 「とけいのうた」「すてきなパパ」「歯をみがきましよう」	予習	「とけいのうた」「すてきなパパ」他の予習	復習	「とけいのうた」「すてきなパパ」他の復習	
	第11回	内容	季節のうた 7・8月① 「たなばたさま」「うみ」「アイスクリームのうた」他	予習	「たなばたさま」「うみ」の予習	復習	「たなばたさま」「うみ」の復習	
	第12回	内容	季節のうた 7・8月② 「おぼけなんてないさ」「シャボン玉」他	予習	「おぼけなんてないさ」「シャボン玉」他の予習	復習	「おぼけなんてないさ」「シャボン玉」他の復習	
	第13回	内容	あそびのうた① 「グーチョキパーでなにつくろう」他	予習	「グーチョキパーでなにつくろう」他の予習	復習	「グーチョキパーでなにつくろう」他の復習	
	第14回	内容	あそびのうた② 「とんとんとんとんひげいさん」他	予習	「とんとんとんとんひげいさん」他の予習	復習	「とんとんとんとんひげいさん」他の復習	
	第15回	内容	あそびのうた③ 「むすんでひらいて」「こぶたぬきつねこ」他	予習	「むすんでひらいて」他の予習	復習	「こぶたぬきつねこ」他の復習	
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（30%）、実技（50%）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』（小林美実 他、チャイルド本社）							
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。							
注意事項								

科目名	音楽Ⅳ	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おおわ こういち 大輪 公老 他
ナンバリングコード	EDS22202	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	音楽Ⅰ～Ⅲで学んだ内容をもとに、子どもの音楽活動を支える基礎技能として、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されるこどもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。クラスを担当する複数の教員より指導を受ける。						
到達目標	1. 音楽Ⅰ～Ⅲで身につけた知識、ピアノ演奏技術を深め、教育実習や保育現場での実践に対応できるよう、より多くのこどものうたの弾き歌いができている。 2. コードネームを用いた楽譜から、簡単な伴奏付けをすることができている。						
学位授与方針	幼児教育学科(2・3・7) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	季節のうた 9月①	予習	「とんぼのめがね」「つき」他の予習		
			「とんぼのめがね」「つき」「大きなくりの木の下で」他	復習	「とんぼのめがね」「つき」他の復習		
	第2回	内容	季節のうた 9月②	予習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の予習		
			「きらきら星」「どんぐりころころ」他	復習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の復習		
	第3回	内容	季節のうた 10月①	予習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の予習		
			「やきいもグーチャーパー」「きのこ」他	復習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の復習		
	第4回	内容	季節のうた 10月②	予習	「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」の予習		
			「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」他	復習	「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」の復習		
	第5回	内容	季節のうた 11月①	予習	「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」の予習		
			「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」他	復習	「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」の復習		
	第6回	内容	季節のうた 11月②	予習	「夕やけこやけ」「たきび」他の予習		
			「夕やけこやけ」「たきび」「こぎつね」他	復習	「夕やけこやけ」「たきび」他の復習		
	第7回	内容	季節のうた 12月①	予習	「あわてんぼうのサンタクロース」他の予習		
			「あわてんぼうのサンタクロース」他	復習	「あわてんぼうのサンタクロース」他の復習		
	第8回	内容	季節のうた 12月②	予習	「ジングルベル」他の予習		
			「ジングルベル」「サンタクロース」他	復習	「ジングルベル」他の復習		
第9回	内容	季節のうた 1月①	予習	「お正月」「雪」他の予習			
		「お正月」「雪」他	復習	「お正月」「雪」他の復習			
第10回	内容	季節のうた 1月②	予習	「雪のこぼろず」「雪のペンキやさん」他の予習			
		「雪のこぼろず」「雪のペンキやさん」他	復習	「雪のこぼろず」「雪のペンキやさん」他の復習			
第11回	内容	季節のうた 2月①	予習	「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他の予習			
		「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他	復習	「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他の復習			
第12回	内容	季節のうた 2月②	予習	「春がきた」「どこかで春が」他の予習			
		「春がきた」「どこかで春が」他	復習	「春がきた」「どこかで春が」他の復習			
第13回	内容	季節のうた 3月①	予習	「うれしいひなまつり」他の予習			
		「うれしいひなまつり」「思い出のアルバム」他	復習	「思い出のアルバム」他の復習			
第14回	内容	季節のうた 3月②	予習	「一年生になったら」他の予習			
		「さよならぼくたちのほいくえん」「一年生になったら」	復習	「さよならぼくたちのほいくえん」他の復習			
第15回	内容	コードネームを用いた伴奏付け	予習	コードネームについての予習			
			復習	コードネームを用いた伴奏の練習			
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法： 作品・発表(30%)、実技(50%)、授業態度【積極的参加】(20%)						
教科書	『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』(小林美実 他、チャイルド本社)						
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。						
注意事項							

科目名	ソルフェージュ		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おおわ こういち 大輪 公彦
ナバリンコード	ASA22201		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	幼児教育者として必要な音楽の基礎知識を学ぶと共に、音楽教育技術を身につけることを目的とする。 ソルフェージュ（音感教育）をベースに、学生諸氏が下記の訓練を通して唱歌・童謡における基本的な音楽要素を身につけ、ピアノ演奏及び歌唱等を教育現場で実践できることを目標とする。							
到達目標	1. リズム唱、リズム叩き、リズム書き取りができる。 2. 旋律歌唱、旋律書き取りができる。 3. 和音書き取りができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1.2.3.4.5） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	主要3和音と調音	予習	3和音についてレポート（五線紙）にまとめる			
				復習	書きとった3和音をピアノで弾き確認する			
	第2回	内容	全音符・休符、2分音符・休符を含む書き取り	予習	全音符・休符、2分音符・休符を五線紙にまとめる			
				復習	全音符・休符、2分音符・休符を確認する			
	第3回	内容	4分音符・休符、8分音符・休符を含む書き取り	予習	4分音符・休符、8分音符・休符を五線紙にまとめる			
				復習	4分音符・休符、8分音符・休符を確認する			
	第4回	内容	16分音符・休符、付点音符を含む書き取り	予習	16分音符・休符、付点音符を五線紙にまとめる			
				復習	16分音符・休符、付点音符を確認する			
	第5回	内容	3連符及び他の連符を含む書き取り	予習	3連符及び他の連符を五線紙にまとめる			
				復習	3連符及び他の連符を確認する			
	第6回	内容	タイを含むリズムの書き取り	予習	タイを含むリズムを五線紙にまとめる			
				復習	タイを含むリズムを確認する			
	第7回	内容	タイを含む旋律の書き取り	予習	タイを含む旋律を五線紙にまとめる			
				復習	タイを含む旋律を確認する			
	第8回	内容	異なった複数のリズムをもつ旋律の書き取り	予習	異なった複数のリズムをもつ旋律を五線紙にまとめる			
				復習	異なった複数のリズムをもつ旋律を確認する			
	第9回	内容	主要3和音の書き取り	予習	主要3和音を五線紙にまとめる			
				復習	主要3和音をピアノで弾き確認する			
	第10回	内容	主要3和音(転回形)書き取り	予習	主要3和音(転回形)を五線紙にまとめる			
				復習	主要3和音(転回形)をピアノで弾き確認する			
第11回	内容	唱歌・童謡中の基本旋律(第5回、第6回)の書き取り	予習	代表的唱歌・童謡中の基本旋律を五線紙にまとめる				
			復習	代表的唱歌・童謡中の基本旋律をピアノで弾き確認する				
第12回	内容	唱歌・童謡中の基本旋律(第7回、第8回)の書き取り	予習	第11回で学んだ唱歌・童謡中の基本旋律を五線紙にまとめる				
			復習	第12回で学んだ唱歌・童謡中の基本旋律をピアノで弾き確認する				
第13回	内容	唱歌・童謡中の基本旋律(第9回、第10回)の書き取り	予習	第12回で学んだ唱歌・童謡中の基本旋律を五線紙にまとめる				
			復習	第13回で学んだ唱歌・童謡中の基本旋律をピアノで弾き確認する				
第14回	内容	唱歌・童謡中の基本旋律(第5回～第10回)の書き取り	予習	第13回で学んだ唱歌・童謡中の基本旋律を五線紙にまとめる				
			復習	第14回で学んだ唱歌・童謡中の基本旋律をピアノで弾き確認する				
第15回	内容	まとめ	予習	第11～14回までの唱歌・童謡中の基本旋律を五線紙にまとめる				
			復習	第11～14回までの唱歌・童謡中の基本旋律をピアノで弾き確認する				
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	随時レポート提出や実技（リズム楽器付き歌唱）を行い、各個人へ解説・アドバイスをを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、実技（ 30 %）、授業態度【積極的参加】（ 20 %）							
教科書	なし							

参考文献	『実用 こどものうた』(田口雅夫・高崎和子、カワイ出版) 『新・幼児の音楽教育』(井口太、朝日出版社)
注意事項	講義内容を理解出来ないまま終わらせたくないので質問を歓迎する。(授業時間外でも可) 尚、授業中の私語・飲食は厳しく注意する。机の上に飲食物を置かないこと。 これらの注意に従わない者は学生証を提示の上、退室を命ずることがある。 授業内でレポート・実技演奏等を実施する予定。各自五線紙付きノートを用意すること。

科目名	教育社会学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	のぶた りな 信田 理奈
ナバリングコード	SOE22201		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ( )							
授業の内容	AI 技術や IoT が進化するなか、2020 年度から小学校でプログラミング教育が始まった。しかしその一方で、いじめ、不登校、ネット依存、ブラック校則、教育格差、スマホ育児、性的マイノリティへの偏見など、子どもたちをめぐる問題は後を絶たない。この授業では、グローバル化や ICT により変動する社会との関係から教育事象を捉え、いかなる社会的要因が教育問題の発生や増減に影響しているかを考える。							
到達目標	1. 現代の教育事象について社会的視点から説明できる。 2. 子どもを取り巻く環境と教育的課題について理解している。 3. 保育や教育の現場で適用可能な社会的思考力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科 ( 4,5 ) 地域保育学科 ( ) 文化表現学科 ( )							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス：教育社会学とは何か	予習	教育に関する最新のニュースについて調べる			
				復習	教育社会的思考の特徴についてまとめる			
	第2回	内容	家族の機能と子どもの社会化	予習	現代の子どものしつけについて調べる			
				復習	家庭の教育力についてノートにまとめる			
	第3回	内容	成育環境としての地域とコミュニティ	予習	地域の変容と子どもの遊びについて調べる			
				復習	地域の教育力についてノートにまとめる			
	第4回	内容	子どもの非行・逸脱・不適応① いじめ	予習	いじめの定義と認知件数について調べる			
				復習	いじめ問題の捉え方についてノートにまとめる			
	第5回	内容	子どもの非行・逸脱・不適応② 不登校	予習	不登校の定義と認知件数について調べる			
				復習	教育機会確保法についてノートにまとめる			
	第6回	内容	子どもの非行・逸脱・不適応③ ブラック校則	予習	中高時代の理不尽な校則について振り返る			
				復習	校則の教育的意義についてノートにまとめる			
	第7回	内容	子どもの貧困と居場所づくり 子ども食堂	予習	子どもにとって居場所とは何かを考える			
				復習	子ども食堂の機能についてノートにまとめる			
	第8回	内容	グローバリゼーションと教育格差① 途上国の子どもたち	予習	途上国の就学率と識字率について調べる			
				復習	貧困による負の連鎖についてノートにまとめる			
	第9回	内容	グローバリゼーションと教育格差② 先進国の子どもたち	予習	日本の子どもの相対的貧困率について調べる			
				復習	ユニセフの子どもの幸福度についてまとめる			
	第10回	内容	ICTと教育の情報化① 学びのイノベーション	予習	PISA (学習到達度調査) について調べる			
				復習	ICT教育の課題についてノートにまとめる			
	第11回	内容	ICTと教育の情報化② ネット依存、スマホ育児	予習	メディア環境が育児に及ぼす影響を調べる			
				復習	情報リテラシーについてノートにまとめる			
	第12回	内容	教育とジェンダー① 男/女を二分化する学校文化	予習	幼稚園における性別分化の事例について調べる			
				復習	隠れたカリキュラムについてノートにまとめる			
	第13回	内容	教育とジェンダー② 高等教育における男女格差	予習	男女別の大学進学率と学部学科について調べる			
				復習	高等教育のジェンダー構図についてまとめる			
	第14回	内容	教育とジェンダー③ 人権としてのLGBT教育	予習	性同一性障害の児童生徒数について調べる			
				復習	多様な性と人権についてノートにまとめる			
	第15回	内容	持続可能な社会と教育、多様性の尊重に向けて	予習	持続可能な開発目標 (SDGs) について調べる			
				復習	SDGsの実現と教育についてノートにまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	Google Classroom を通じて、レポート・課題 (小テストを含む) を返却する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施 ( ) する / ( ○ ) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (70%)、授業態度【積極的参加】(30%)							
教科書	なし							
参考文献	『新版 教育の社会学』(荻谷剛彦・濱名陽子・木村涼子・酒井朗、有斐閣アルマ) 『シリーズ現代の教職7 新しい時代の教育社会学』(加野芳正・越智康詞、ミネルヴァ書房)							
注意事項	日頃から教育に関する最新のニュースをチェックし、問題意識をもって授業に臨むこと。							

科目名	教育方法・技術論		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	とうま ゆうこ 當麻 祐子
ナンバリングコード	EDU22106		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	<p>幼児教育における教育方法と技術に関する基本的な事柄について学ぶ。  また、保育の実践やねらいなどを伝える色々な方法を学ぶ。  教材制作の技術と方法について学び、教材を作成して発表する。  情報機器を活用した教材も作成し、学び合う。</p>							
到達目標	<p>1. 幼児期の特性を理解し、具体的な教育方法について考察できる  2. 保育の実践や、そのねらいなどを適切に伝える方法を理解している  3. 教育目標に即した教材を、情報機器などを使って作成できる  4. 学生相互が発表する機会をもち、プレゼンテーション能力や聞く態度を身に付けている</p>							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（①・②・③・④・⑤）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション・教育方法とは何か	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方や習得すべきことを理解する			
	第2回	内容	幼児期の遊びについて 昔と今（グループワーク）	予習	自分の幼児期の遊びを思い出しておく			
				復習	遊びの捉え方の変化を記録する			
	第3回	内容	幼児期の遊びと発達について（グループワーク）	予習	幼児の発達を調べる			
				復習	幼児期の遊びや発達をまとめる			
	第4回	内容	幼児の遊具とおもちゃについて	予習	色々なおもちゃを考える			
				復習	幼児とおもちゃの関係をまとめる			
	第5回	内容	ペープサートとパネルシアターについて	予習	ペープサートについて調べる			
				復習	演じ方をまとめる			
	第6回	内容	ワーク～歌とペープサート制作～	予習	教材にしたい歌を選んでくる			
				復習	次週までに完成しておく			
	第7回	内容	ペープサートの発表と評価	予習	発表に向けて練習しておく			
				復習	自己と他者の評価をまとめる			
	第8回	内容	自然・飼育と栽培	予習	自然遊びを考える			
				復習	自然からの学びをまとめる			
第9回	内容	おたより～子どもの育ちをどう伝えるか～	予習	保護者への伝達方法を考える				
			復習	伝達方法の色々をまとめる				
第10回	内容	プレゼンテーションソフトの活用 ～おたよりの作成～	予習	おたよりに必要な事項を調べる				
			復習	おたより作成のポイントを整理する				
第11回	内容	おはなしと紙芝居（実技）	予習	発表したい作品を考える				
			復習	演じ方を復習する				
第12回	内容	うたと手あそび（グループワーク）	予習	資料を集めておく				
			復習	見直し、工夫する				
第13回	内容	ハンカチあそびと折り紙（実技）	予習	教材の準備をしておく				
			復習	自分なりに振り返り、まとめる				
第14回	内容	造形あそび	予習	教材の種類を調べておく				
			復習	他学生から学んだことをまとめる				
第15回	内容	運動あそび・まとめ	予習	授業全体の振り返りをしておく				
			復習	学んだことや自己課題を整理する				
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	前回の課題を全体で振り返り、確認したり新たな気づきにつなげる							
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない  成績評価の方法：筆記試験（20%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（20%）</p>							
教科書	オリジナルのパワポスライドを使用（適宜配布）							
参考文献	「幼稚園教育要領 / 保育所保育指針 / 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（チャイルド本社）							
注意事項	大切な幼児期の保育教育に携わる為の勉強であることを自覚して臨むこと。各自の進捗に応じて課題の制作を進めておくこと。							

科目名	教育相談		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ナンバリングコード	EDP22201		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	幼児教育において、幼稚園教諭が行う教育相談は子どもの健全な成長に欠かせないものである。一方で、子どもを正しく理解し、その保護者からの相談を的確に受けることは、幼稚園教諭にとってかなり高度な知識が必要となる。本授業では、特に保護者からの相談をどのように受けるのか、様々な観点から学んでいく。							
到達目標	1. 保護者からの相談を受けることができる。 2. 相談の技法を習得している。 3. 他職種との連携の必要性を理解している。 4. 子どもの発達を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1, 2, 4, 5 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	教育相談とは	予習	シラバスを読んでおく。			
				復習	授業内容を確認する。			
	第2回	内容	保育者と相談	予習	自分が相談を受ける場面を想定しておく。			
				復習	自分自身の相談スキルを確認する。			
	第3回	内容	クライアント中心療法	予習	自分が悩んだときの状態を思い出してみる。			
				復習	クライアント中心療法の理論と実践の確認。			
	第4回	内容	精神分析法	予習	幼少期の体験が心に与える影響を考えてみる。			
				復習	精神分析理論と実践の確認。			
	第5回	内容	認知行動療法	予習	学習理論を復習しておく。			
				復習	認知行動療法の理論と実践の確認。			
	第6回	内容	保育者としての相談：専門性を活かす	予習	保育者の専門性と何か考えておく。			
				復習	相談を実践できるようまとめる。			
	第7回	内容	保育者としての相談：他機関との連携	予習	地域の相談機関を調べておく。			
				復習	連携を実践できるようまとめる。			
	第8回	内容	保育者としての相談：寄り添う援助	予習	クライアント中心療法を復習しておく。			
				復習	保護者に寄り添えるようまとめる			
第9回	内容	教育相談の枠組み	予習	幼稚園における相談環境を考える。				
			復習	実習先を想定して相談業務をイメージする。				
第10回	内容	子どもの心理的不適応に関する相談	予習	子どもの心理的不適応について調べておく。				
			復習	心理的不適応に関する相談技法を確認する。				
第11回	内容	子どもの発達に関する相談	予習	子どもの発達理論を確認しておく。				
			復習	発達に関する相談技法を確認する。				
第12回	内容	発達障害に関する相談①（知的障害、自閉症スペクトラム）	予習	知的障害、自閉症について確認しておく。				
			復習	障害児や保護者へのアプローチを確認する。				
第13回	内容	発達障害に関する相談②（ADHD、LD）	予習	ADHD、LDについて確認しておく。				
			復習	子どもの受け止め方を確認する。				
第14回	内容	保護者自身の相談	予習	保護者の悩みを考えてみる。				
			復習	保護者の悩みの受け止め方を確認する。				
第15回	内容	現代の子育てと相談	予習	現代の子育てを考えてみる。				
			復習	現代の保護者に対する相談を整理する。				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	筆記試験の結果から、理解の不十分な点を後日伝える。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（90%）、授業態度（ 10%）							
教科書	『事例で学ぶ保育のための相談援助・支援』（須永進、同文書院）							
参考文献								
注意事項	私語は慎むこと。本授業内では Google Classroom などを用いて、アクティブラーニングやグループワークを行います。							

科目名	保育指導法 I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	とうま ゆうこ 當麻 祐子
ナンバリングコード	EDU22109		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	保育・教育指導に必要な知識を学び、具体的な事例や保育教材研究等を通して実践的に学ぶ。 様々な保育・教育場面を想定し、実際に活動する幼児の姿等のビデオやグループワークなど交えながら学んでいく。							
到達目標	1. 子どもの姿を映したビデオを見て、子ども理解の課題に答えることが出来る 2. 提示されたエピソードに対し、学生同士で話し合い、色々な視点に気付くことが出来る 3. 「遊び」の重要性を理解している 4. 発達と指導について関連して理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（①・②・③・④・⑤） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション・保育指導法とは何か	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業の進め方や習得すべきことを理解する			
	第2回	内容	子どもをとりまく現状	予習	子どもをとりまく現状を調べる			
				復習	子どもを理解する為に必要なことをまとめる			
	第3回	内容	子ども理解とは何か～事例	予習	子どもを観察する			
				復習	辞令を振り返っておく			
	第4回	内容	子ども理解～ビデオを通して (グループワーク)	予習	自分なりの子どものイメージをまとめておく			
				復習	ビデオからの読み取りを整理する			
	第5回	内容	子ども理解と評価	予習	子どもイメージの変化について考える			
				復習	子ども理解に必要なことをまとめる			
	第6回	内容	ふさわしい生活の展開	予習	幼児期にふさわしい生活とは何か考える			
				復習	ふさわしい生活の展開をまとめる			
	第7回	内容	遊びを通しての保育	予習	自分なりの遊びのイメージを考える			
				復習	幼児期の遊びとは何かまとめる			
	第8回	内容	子どもの遊び～ビデオを通して (グループワーク)	予習	子どもが遊んでいるのを観察する			
				復習	子どもの遊びの読み取りを整理する			
第9回	内容	3歳児 1期～5期の保育	予習	3歳児の発達をおさえておく				
			復習	3歳児の育ちと保育を整理する				
第10回	内容	4歳児 1期～5期の保育	予習	4歳児の発達をおさえておく				
			復習	4歳児の育ちと保育を整理する				
第11回	内容	5歳児 1期～5期の保育	予習	5歳児の発達をおさえておく				
			復習	5歳児の育ちと保育を整理する				
第12回	内容	1人ひとりに応じた指導	予習	長所・短所を考える				
			復習	発達の特徴をまとめる				
第13回	内容	環境を通しての保育	予習	色々な環境を考えておく				
			復習	環境を通して行う保育の意義をまとめる				
第14回	内容	様々な環境と活動 (グループワーク)	予習	環境の構成を調べる				
			復習	環境と活動についてまとめる				
第15回	内容	園生活の流れと指導	予習	家庭の生活を考える				
			復習	1日の流れについてまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	レポートや発表に対し、コメントを行う 前回の授業の振り返りを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（10%）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	オリジナルのパワポスライドを使用（適宜配布）・保育方法論（神長美津子他編著）光生館							
参考文献	「幼稚園教育要領 / 保育所保育指針 / 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（チャイルド本社）							
注意事項	人格の基礎を培う幼児期の保育教育に携わる為の勉強であることを自覚し臨むこと 授業へ取り組む姿勢を重視していく							

科目名	保育指導法Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	とうま ゆうこ 當麻 祐子
ナバリンクコード	EDU22207		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	保育・教育指導に必要な知識を学び、具体的な事例や保育教材研究等を通して実践的に学ぶ。 様々な保育・教育場面を想定し、実際に活動する幼児の姿等のビデオやグループワークなど交えながら学んでいく。 実習に向け、読み聞かせ、エピソードについてなど具体的に学ぶ。							
到達目標	1. 子どもの姿を映したビデオを見て、子ども理解の課題に答え説明出来る 2. 提示されたエピソードに対し、学生同士で話し合い、色々な視点に気付いている 3. 指導要領を実際の保育教育とつなげて理解している 4. 幼児教育に携わることへの責任とやりがいを感じ取られている							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（①・②・③・④・⑤） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	基本的な生活習慣と規範意識	予習	生活習慣の現状を調べる			
				復習	生活習慣の重要性をまとめる			
	第2回	内容	様々な安全指導（グループワーク）	予習	園内での危険について考える			
				復習	安全対策についてまとめる			
	第3回	内容	園行事について	予習	様々な園行事を調べる			
				復習	園行事の捉え方をまとめる			
	第4回	内容	様々な保育形態	予習	保育形態の種類を調べる			
				復習	各々の特徴をまとめる			
	第5回	内容	保育の質と評価	予習	より良い保育とは何か考える			
				復習	記録についてまとめる			
	第6回	内容	児童文化財と保育	予習	読み聞かせ用の絵本を選んでくる			
				復習	絵本や紙芝居について整理する			
	第7回	内容	絵本読み聞かせ（実技）	予習	読み聞かせの練習をする			
				復習	他学生から学んだことを整理する			
	第8回	内容	エピソードから学ぶ（発表）	予習	実習でのエピソードをまとめる			
				復習	エピソードを新たな視点で整理する			
第9回	内容	園内外の環境を活かした保育（グループワーク）	予習	実習園の環境を振り返る				
			復習	他学生から学んだことを整理する				
第10回	内容	主体的・対話的で深い学び	予習	教育要領を読む				
			復習	教材研究をまとめる				
第11回	内容	教材研究の実際～造形（実技）	予習	廃素材の準備				
			復習	造形指導のポイントをまとめる				
第12回	内容	特別支援教育について	予習	発達障害について調べる				
			復習	支援についてまとめる				
第13回	内容	様々な連携・保護者・学校の地域	予習	学校や地域との連携について考える				
			復習	必要性や注意点などをまとめる				
第14回	内容	学び合い育ちあうクラスづくり	予習	生きる力の基礎について調べる				
			復習	幼児期の教育の重要性をまとめる				
第15回	内容	保育者の専門性・まとめ	予習	保育者の心構えを考える				
			復習	幼児期の教育・保育者の役割についてまとめる				
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポートや発表に対し、コメントを行う 前回の授業の振り返りを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（10%）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	オリジナルのパワポスライドを使用（適宜配布）・保育方法論（神長美津子他編著）光生館							
参考文献	「幼稚園教育要領 / 保育所保育指針 / 幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（チャイルド本社）							
注意事項	人格の基礎を培う幼児期の保育教育に携わる為の勉強であることを自覚し臨むこと 授業へ取り組む姿勢を重視していく							

科目名	総合演習Ⅰ		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	はしもとようこ ほしのおきむ しみずすみこ
ナバリンコード	CHS22208		授業形態	演習	実務経験			橋本洋子・星野治・清水澄子
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	少子社会が進む中様々な対策がなされているが、子どもが安心して育つ環境が十分に整えられているとはいえない。そこで、本演習では、3グループに分かれて子どもを取り巻く実状を様々な視点から捉え、理解し、視野を広げるとともに、保育者として適切な対応ができる保育力を養う。また、次年度に開講される総合演習Ⅱ(卒業研究)のテーマや作業方針を決めるためのヒントを習得する。							
到達目標	1. 文献検索や発表を通して、保育者として必要な知識・情報を得るための適切な手段を身につけている。 2. 弱者を守ることを意味を考えながら、防災に対する知識を習得している。 3. 社会問題をはじめ保育に関係する様々な問題に向き合い、保育者として考える力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( ①・②・③・④・⑤ ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	合同授業 ガイダンス：本演習のねらい、進め方			予習	シラバスに目を通し授業形態を理解する	
					復習	配布資料の内容を確認し理解しておく		
	第2回	内容	橋本① 健康の意義を考える ビデオ「病の起源」	星野①	清水①	予習	自身の生活を振り返り「健康」について考える	
						復習	ビデオからの学びをレポートにまとめる	
	第3回	内容	橋本② 子どもの健康・食生活の現状 論文の検索、研究テーマの選択	星野②	清水②	予習	子どもの健康に関連する情報を収集する	
						復習	研究テーマを決定する	
	第4回	内容	橋本③ 論文・資料の読み方 文献調査(1)	星野③	清水③	予習	収取した論文、資料を精読する	
						復習	収取した論文、資料をまとめる	
	第5回	内容	橋本④ 文献調査(2)発表準備・スライド 作成	星野④	清水④	予習	図書館で研究テーマに必要な資料を探す	
						復習	研究発表に必要な資料を整理する	
	第6回	内容	橋本⑤ 文献調査(3)発表レジュメの提出	星野⑤	清水⑤	予習	研究発表の内容をまとめる	
						復習	研究発表の準備①レジュメを作成し提出する	
	第7回	内容	橋本⑥ 研究発表(1)	星野⑥	清水⑥	予習	研究発表の準備②作成したスライドを確認する	
						復習	発表者の内容をまとめる	
	第8回	内容	橋本⑦ 研究発表(2)	星野⑦	清水⑦	予習	発表予定学生のレジュメを確認する	
						復習	発表者の内容をまとめ、整理する	
	第9回	内容	橋本⑧ 研究発表(3) まとめ	星野⑧	清水⑧	予習	発表予定学生のレジュメを確認する 既発表者の評価をまとめる	
						復習	研究方法・発表を振り返り、自己評価する	
	第10回	内容	合同授業 学外授業のオリエンテーション			予習	各教員の指示に従い準備する	
						復習	学外授業の意義と目的を理解する	
第11回	内容	合同授業 学外授業			予習	学外授業配布資料を確認する		
					復習	レポートにまとめる		
第12回	内容	星野① 防災の基礎知識	清水①	橋本①	予習	シラバスを読んでおく		
					復習	配布資料の内容を理解する		
第13回	内容	星野② 文芸作品と防災(1)	清水②	橋本②	予習	防災関連の文字作品を選択する		
					復習	作品のあらすじをまとめる		
第14回	内容	星野③ 文芸作品と防災(2)	清水③	橋本③	予習	前回選択した作品を精読する		
					復習	作品に対する鑑賞文を作成する		
第15回	内容	星野④ 保育と防災	清水④	橋本④	予習	必要な参考書を通読しておく		
					復習	保育と防災の関連をまとめる		
第16回	内容	星野⑤ 文芸作品と防災(3)	清水⑤	橋本⑤	予習	防災関連の映像作品を選択する		
					復習	作品の概要を整理する		
第17回	内容	星野⑥ 文芸作品と防災(4)	清水⑥	橋本⑥	予習	前回選択した作品を上映する		
					復習	作品に対する感想文を作成する		
第18回	内容	星野⑦ 防災関連の最新情報	清水⑦	橋本⑦	予習	作業内容を予め確認する		
					復習	ネットサーフィンを行う		
第19回	内容	星野⑧ 演習まとめ	清水⑧	橋本⑧	予習	これまでの予習内容を振り返る		
					復習	防災に関する見解をまとめる		
	内容				予習	少子化問題を考えてみる		

	第 20 回		清水① 少子化を考える：原因・現状・対策	橋本①	星野①	復習	将来の日本について少子化の視点から考える
	第 21 回	内容	清水② 変わる日本の家庭・親子関係	橋本②	星野②	予習 復習	家庭って何だろう、自分への影響を考える 自分の問題としてもう一度考えてみる
	第 22 回	内容	清水③ 子どもへの虐待問題：その変遷と対策	橋本③	星野③	予習 復習	インターネットで児童虐待事件を読んでみる 保育士として「できること」を考えてみる
	第 23 回	内容	清水④ 子どもの貧困問題：現状と影響と対策	橋本④	星野④	予習 復習	子ども食堂について調べてみる 社会は、自分は何ができるのかを考える
	第 24 回	内容	清水⑤ 様々な職業と日本人の賃金について	橋本⑤	星野⑤	予習 復習	自分のアルバイトの賃金を考えてみる 就職コーナーに足を運んで求人票をみてみる
	第 25 回	内容	清水⑥ 日本の税金：どこから集めて何に使っているのか	橋本⑥	星野⑥	予習 復習	所沢市の税金の歳入・歳出をみておく 自分なら何に使うかを考えてみる
	第 26 回	内容	清水⑦ 様々な絵本や児童文学が伝えたいこと	橋本⑦	星野⑦	予習 復習	日ごろから「子ども向きの本」を読んでおく。 自分が著したい絵本や児童文学を考えてみる。
	第 27 回	内容	清水⑧ 世界の子どもたちは何を考えどう生きているのか	橋本⑧	星野⑧	予習 復習	ネットで好きな国の子どもについて調べる。 「幸福って何？」というテーマで考えてみる。
	第 28 回	内容	合同授業 総合演習Ⅱ（卒業研究・ゼミ）への準備			予習 復習	研究内容を振り返り次年度の研究テーマを考える 次年度のゼミの研究テーマを絞る
	第 29 回	内容	合同授業 女子教育を考える（ビデオ）			予習 復習	女性が働く社会（環境）について調べる 女性の社会進出について考えレポートにまとめる
	第 30 回	内容	合同授業・まとめ 保育者としての心構え(ビデオ「みんなの夢まもるため」)			予習 復習	1年間の学びを振り返る 保育者となる責任と自覚についてまとめる
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題提出・発表後に課題を確認し、講評（返却）する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、発表（40%）、授業態度【積極的参加】（20%）						
教科書	必要に応じて随時紹介する						
参考文献	必要に応じて随時紹介する						
注意事項	<p>※この演習はAおよびBクラスを3グループに分け、グループ毎に演習8回を1ラウンドとするオムニバス形式が中心となる。</p> <p>※3名の教員がそれぞれのグループを担当する。学生は合同授業および1ラウンド（8回）の授業を3ラウンド受講する。</p> <p>※詳細は初回の合同授業（オリエンテーション）で説明する。</p> <p>※ラウンド毎に研究発表を行うため、各ラウンドの担当教員の指導・指示に従うこと。</p> <p>※ラウンド（8回）毎に2/3以上の出席が必要となるので注意すること。</p> <p>※校外学習を実施する場合がある。詳細については授業内で説明する。</p>						

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員 かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ナバリングコード	CHS22209		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。研究テーマとしては、臨床心理学に関連する「母子関係」「保育者のメンタルケア」「子育て支援」などを中心とする。						
到達目標	1. 自分自身の興味がある分野について理解している。 2. 客観的な判断を行うための、研究方法を理解している。 3. 得られたデータから考察することができる。 4. 自分の意見を論理的に表現することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 1,2 ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	研究テーマを考える	予習	自分の興味あるテーマを考える		
				復習	検討した内容を整理する		
	第2回	内容	過去の卒業研究を読み込む	予習	自分の研究をイメージする		
				復習	参考になりそうな研究を読み込む		
	第3回	内容	具体的な研究内容を検討する	予習	自分の研究したい内容を考える		
				復習	検討した内容を整理する		
	第4回	内容	研究方法を学ぶ	予習	研究の具体的な内容を考える		
				復習	自分のテーマと研究方法を考える		
	第5回	内容	先行研究を検索する	予習	文献検索の方法を調べる		
				復習	手に入れた文献に目を通す		
	第6回	内容	先行研究を読み込む	予習	文献を読む		
				復習	文献を読みなおす		
	第7回	内容	先行研究を読み込む	予習	新たな文献を読む		
				復習	先行研究をまとめる		
	第8回	内容	先行研究の発表	予習	発表資料を作成する		
				復習	発表資料で指摘された点を整理する		
	第9回	内容	先行研究の発表	予習	発表資料を修正する		
				復習	指摘された点を整理する		
	第10回	内容	研究テーマの決定	予習	研究テーマを考える		
				復習	研究テーマで指摘された点を整理する		
第11回	内容	研究の具体的方法を考える	予習	研究テーマを理解しておく			
			復習	研究テーマを整理する			
第12回	内容	研究内容の決定	予習	研究内容を考える			
			復習	研究内容を整理する			
第13回	内容	参考文献を検索する	予習	足りない知識を理解する			
			復習	参考文献に目を通す			
第14回	内容	参考文献を読み込む	予習	参考文献の読み込み			
			復習	参考文献の読みなおし			
第15回	内容	参考研究文献を読み込む	予習	新たな参考文献の読み込み			
			復習	新たな参考文献の読みなおし			
第16回	内容	データを取る	予習	調査法を考える			
			復習	調査を行う			
第17回	内容	データを取る：不足分	予習	さらに調査を行う			
			復習	不足分の調査を行う			
第18回	内容	データの入力	予習	データを見直す			
			復習	データの入力作業			
第19回	内容	データの入力:確認作業	予習	データの入力作業の続き			
			復習	データの入力作業の見直し			
第20回	内容	データの分析	予習	不足分のデータの入力作業			
			復習	分析作業			

	第 21 回	内容	データの分析：統計	予習	分析作業の続き
				復習	統計作業
	第 22 回	内容	方法の執筆	予習	統計の見直し
				復習	論文執筆
	第 23 回	内容	結果の執筆	予習	方法執筆
				復習	結果執筆
	第 24 回	内容	はじめにの執筆	予習	結果執筆を終わらせる
				復習	はじめにの執筆
	第 25 回	内容	考察の執筆	予習	はじめにの執筆を終わらせる
				復習	考察執筆
	第 26 回	内容	引用文献等の執筆	予習	考察執筆を終わらせる
				復習	引用文献執筆
	第 27 回	内容	発表について	予習	自分の論文を読み込む
				復習	発表内容を考える
	第 28 回	内容	パワーポイントの作成	予習	発表準備
				復習	パワーポイント準備
	第 29 回	内容	発表原稿の作成	予習	パワーポイント準備を終わらせる
				復習	発表原稿準備
	第 30 回	内容	発表	予習	発表に必要な事柄の準備
				復習	指摘された内容を整理する
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	随時指導の中で行っていく				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（80%）、作品・発表（10%）、授業態度（10%）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	講義時間以外にも積極的に研究を行うこと。				

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	おおわ こういち 大輪 公彦
ナバリンコード*	CHS22209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。							
到達目標	1. 論文口調で文章を書くことができる。 2. 要約・縮約の技術を身につけ、それらができるようになる。 3. 論文の書式(文献表等の書き方)を身につけ、それらができるようになる。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(1.2.3.4.5) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	概要を予習しレポートにまとめる			
				復習	オリエンテーション内容をレポート化する			
	第2回	内容	音楽領域研究の方法①洋楽	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる			
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる			
	第3回	内容	音楽領域研究の方法②日本音楽	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる			
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる			
	第4回	内容	音楽領域研究の方法③その他の音楽	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる			
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる			
	第5回	内容	テーマの設定とグループ分け	予習	テーマを考えプリントにまとめる			
				復習	設定したテーマの概要をプリントにまとめる			
	第6回	内容	テーマの決定	予習	テーマについて熟考しプリントにまとめる			
				復習	副題を含めた詳細をプリントにまとめる			
	第7回	内容	テーマに関する図書研究①図書館の機能と検索法	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる			
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる			
	第8回	内容	テーマに関する図書研究②秋草学園図書館	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる			
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる			
	第9回	内容	テーマに関する図書研究③外部図書館	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる			
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる			
	第10回	内容	資料検索と論文書式①資料検索法	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる			
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる			
	第11回	内容	資料検索と論文書式②検索資料の確認	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる			
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる			
	第12回	内容	資料検索と論文書式③参考引用資料の書式法	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる			
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる			
	第13回	内容	中間報告 概要	予習	中間報告についてレポートにまとめる			
				復習	中間報告概要を再確認しレポートにまとめる			
	第14回	内容	中間報告 文献について	予習	文献の概要についてレポートにまとめる			
				復習	文献の詳細をレポートにまとめる			
	第15回	内容	中間報告 文献の書式	予習	文献の書式を確認しレポートにまとめる			
				復習	書式の詳細をレポートにまとめる			
	第16回	内容	中間報告 洋書文献・その他の書式	予習	複数の書式についてレポートにまとめる			
				復習	ラテン語略記法をレポートにまとめる			
	第17回	内容	論文の推敲①論文口調は整っているか	予習	推敲の方法についてレポートにまとめる			
				復習	論文口調についてレポートにまとめる			
	第18回	内容	論文の推敲②各題における全体の配分	予習	各題の配分をレポートにまとめる			
				復習	各題の概要をレポートにまとめる			
	第19回	内容	論文の推敲③要旨を的確に記述しているかどうか	予習	要旨の概要をレポートにまとめる			
				復習	要旨の詳細をレポートにまとめる			
	第20回	内容	最終報告①注釈・引用文・引用法	予習	注釈・引用の概要をレポートにまとめる			
				復習	注釈・引用の詳細をレポートにまとめる			

	第 21 回	内容	最終報告②参考文献の本文中の示し方	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 22 回	内容	最終報告③従来型の示し方	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 23 回	内容	最終報告④近年型の示し方	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 24 回	内容	卒業論文指導 ①インターネット資料の表記	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 25 回	内容	卒業論文指導 ②新聞記事の表記	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 26 回	内容	卒業論文指導 ③書名をどのように表記するか	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 27 回	内容	卒業論文指導 ④引用文献一覧の作成	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 28 回	内容	卒業論文指導 ⑤参考文献一覧の作成	予習	プリント概要を熟読しレポートにまとめる
				復習	配布資料を熟読しレポートにまとめる
	第 29 回	内容	卒業論文報告	予習	報告内容の概要をレポートにまとめる
				復習	レポートにまとめた概要を再確認する
	第 30 回	内容	レジュメ発表	予習	レジュメの概要についてレポートにまとめる
				復習	発表したレジュメを再確認しレポート化する
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	随時レポート（要約・縮約）の提出をし、各個人へ解説・アドバイスをを行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 100 %）				
教科書	毎時プリントを配布。				
参考文献	『日本語練習帳』（大野晋、岩波新書）				
注意事項	自分の研究テーマを明確にし、積極的に取り組むことを期待する。 論文完成までのマクロ的な計画を立てて進めること。				

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	はしもと ようこ 橋本 洋子
ナバリンクコード	CHS22209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。研究テーマは食や健康など日常生活全般にわたり、研究方法は①フィールドワーク、②質問紙調査、③文献研究等がある。P (plan、計画) D (do 実行) C (check 評価、振り返る) A (act 改善) サイクルで効果的に学習する方法を学ぶ。							
到達目標	1. 子どもを取り巻く生活環境を理解している。 2. 主体的に研究テーマをみつけ、様々な角度から情報を収集し検証する力を身につけている。 3. 調査結果等から疑問を解決し、まとめる力を身につけている。 4. 適切な表現を用いて聞き手に分かりやすく説明するスキルを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(①・②・3・④・⑤) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 授業の進め方と年間計画の立案	予習	シラバスをよく読んでおく			
				復習	研究テーマを考える			
	第2回	内容	健康について考える(DVD)	予習	健康に関する資料を収集する			
				復習	レポートをまとめる			
	第3回	内容	研究テーマを考える① 保育制度について	予習	保育制度について調べる			
				復習	保育制度についてレポートにまとめる			
	第4回	内容	研究テーマを考える② 子ども・保育者を取り巻く環境	予習	保育内容の授業を復習しておく			
				復習	保育環境についてレポートをまとめる			
	第5回	内容	文献・資料収集、観察① Keywordをもとに先行研究を調べる	予習	研究のkeywordを選定する			
				復習	調べた論文を整理する			
	第6回	内容	文献・資料収集、観察② 専門書・資料の検索	予習	論文を読む			
				復習	専門書・資料を読む			
	第7回	内容	文献・資料収集、観察③ 先行研究をまとめる	予習	専門書・資料をまとめる			
				復習	先行研究の文献をまとめる			
	第8回	内容	先行研究の発表・ディスカッション グループ①	予習	発表の準備をする			
				復習	ディスカッションの内容をまとめる			
	第9回	内容	先行研究の発表・ディスカッション グループ②	予習	発表の準備をする			
				復習	助言にもとづき研究テーマを選定しておく			
	第10回	内容	テーマの決定・研究内容の方向付け	予習	研究テーマに必要な論文・資料を収集する			
				復習	研究テーマを決める			
	第11回	内容	論文執筆の説明 研究計画の立案と必要資料の確認	予習	研究の方法を考える			
				復習	論文執筆に関する配布資料をよく読む			
	第12回	内容	論文の執筆 研究目的	予習	先行文献から導入を考える			
				復習	研究目的を書き進める			
	第13回	内容	論文の執筆 研究内容	予習	研究目的をまとめる			
				復習	研究内容の詳細を立案する			
	第14回	内容	論文の執筆 研究方法	予習	研究方法を考える(①～③より選択)			
				復習	研究方法の決定			
	第15回	内容	学外授業	予習	学外授業の目的を理解する			
				復習	学外授業の学びをレポートにまとめる			
	第16回	内容	研究計画の見直し	予習	選択した研究方法をまとめ、計画を立案する			
				復習	論文執筆に必要な資料を準備する			
	第17回	内容	研究方法に合わせてすすめる (論文執筆・質問紙作成・フィールドワーク)	予習	先行研究をベースに研究方法を確認する			
				復習	質問紙の作成・フィールドワークを記録する			
	第18回	内容	研究方法に合わせてすすめる (論文執筆・質問紙作成・フィールドワーク)	予習	質問紙の修正・フィールドワークをまとめる			
				復習	質問紙の準備・フィールドワークを記録する			
	第19回	内容	研究方法に合わせてすすめる (論文執筆・質問紙作成・フィールドワーク)	予習	調査への配慮を確認する・記録を整理する			
				復習	研究方法をまとめる			

第20回	内容	研究方法に合わせてすすめる (論文執筆・質問紙作成・フィールドワーク)	予習	調査の依頼をする
			復習	研究方法をまとめる
第21回	内容	論文執筆 質問紙およびフィールドワークのデータ整理	予習	データ入力の準備をする・記録を整理する
			復習	回収した質問紙の確認・記録を整理する
第22回	内容	論文執筆 質問紙およびフィールドワークのデータ入力	予習	研究方法の詳細および対象者を執筆する
			復習	回収した質問紙データおよび記録の確認
第23回	内容	論文執筆 質問紙およびフィールドワークのデータ解析	予習	データおよび記録の入力
			復習	入力したデータの確認
第24回	内容	論文執筆・修正 質問紙およびフィールドワークのデータをまとめる	予習	結果を執筆する
			復習	結果・考察をまとめる
第25回	内容	論文の修正 データの確認	予習	文献を確認する
			復習	研究結果を図表にまとめる
第26回	内容	論文の修正 文献の確認	予習	執筆した部分を読み返す
			復習	論文の内容確認(データ、図表の数値など)
第27回	内容	研究論文の提出	予習	考察をまとめる・ページ設定を確認する
			復習	論文を修正する
第28回	内容	研究発表・ディスカッション①	予習	論文の提出準備をする
			復習	研究発表の準備をする
第29回	内容	研究発表・ディスカッション②	予習	研究発表のレジュメを作成する
			復習	ディスカッションをレポートにまとめる
第30回	内容	まとめ	予習	研究発表のレジュメを作成する
			復習	ディスカッションをレポートにまとめる
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。				
課題へのフィードバック	提出レポートおよびディスカッション内容について都度、講評を行う 研究論文の執筆、修正を通してフィードバックを行う			
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法：論文(70%)、課題(10%)、発表・ディスカッション(10%)、授業態度【積極的参加】(10%)			
教科書	必要に応じて紹介する			
参考文献	必要に応じて紹介する			
注意事項	保育者としての視点から、「食」や「健康」をはじめとした自然科学の分野においてテーマをみつけ、文献研究や観察研究をすすめ、論文としてまとめていく。演習生それぞれが自分の研究テーマに向かって積極的に取り組むことを期待する。先行論文や白書などを参考に情報を収集し、綿密な計画を立て、取り組んでほしい。			

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明芳
ナバリングコード	CHS22209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	<p>保育、幼児教育に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じて保育者として必要な専門的知識をさらに深める。</p> <p>研究テーマ：1. 発達心理学など、子どもや保育・教育に関わる心理学全般、2. 「子育て支援」に関する分野、3. 「教育・保育相談」、「カウンセリング」などの分野</p>							
到達目標	<p>1. 卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得する。</p> <p>2. 学生個々が選んだテーマに関する見識を深めること。</p> <p>3. 保育・教育現場での問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できるようになること。</p>							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(1,2,5) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	本ゼミの方針と年間計画等	予習	シラバスやゼミ案内書を読む。			
				復習	ゼミ内容と年間計画について理解する。			
	第2回	内容	論文作成についての概説①	予習	論文とは何か、その概要を調べる。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第3回	内容	論文作成についての概説②	予習	前回の講義内容を理解する。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第4回	内容	論文作成についての概説③	予習	前回の講義内容を理解する。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第5回	内容	各学生による研究テーマの選定①	予習	テーマについて考える。			
				復習	テーマの選定方法について理解する。			
	第6回	内容	各学生による研究テーマの選定②	予習	自己の卒論テーマを考える。			
				復習	テーマの選定を実際に試みる。			
	第7回	内容	各学生による研究テーマの選定③	予習	自己の卒論テーマをしぼる。			
				復習	テーマの選定を実際に試みる。			
	第8回	内容	各学生による研究テーマの選定④	予習	自己の卒論テーマをしぼる。			
				復習	テーマの選定をおこなう。			
	第9回	内容	研究論文等読み合わせ①	予習	配布された資料を読む。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第10回	内容	研究論文等読み合わせ②	予習	資料の再読み込み。			
				復習	講義内容を理解し資料の再読み込み。			
	第11回	内容	文献・資料収集①	予習	テーマに関連する文献を探す。			
				復習	文献を読む。			
	第12回	内容	文献・資料収集②	予習	テーマに関する研究論文を探す。			
				復習	研究論文を読む。			
	第13回	内容	文献・資料収集③	予習	文献研究の概要を調べる。			
				復習	文献研究の意義と方法について理解する。			
	第14回	内容	卒論計画の発表会①	予習	自己の卒論計画について考える。			
				復習	レジュメ作成。			
	第15回	内容	卒論計画の発表会②	予習	レジュメ内容確認と配布。			
				復習	レジュメの修正。			
	第16回	内容	論文執筆の関する説明	予習	論文に関して、これまでの学びを再復習。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第17回	内容	論文内容の検討と修正①	予習	決定したテーマと構成の確認。			
				復習	講義内容を理解する。			
	第18回	内容	論文内容の検討と修正②	予習	必要な文献の検討と整理。			
				復習	講義内容を理解する。			
第19回	内容	論文執筆①	予習	論文を書く。				
			復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。				

	第 22 回	内容		予習		
				復習		
	第 23 回	内容		予習		
				復習		
	第 24 回	内容		予習		
				復習		
	第 25 回	内容		予習		
				復習		
	第 26 回	内容		予習		
				復習		
	第 27 回	内容		予習		
				復習		
	第 28 回	内容		予習		
				復習		
	第 29 回	内容		予習		
				復習		
	第 30 回	内容		予習		
				復習		
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。					
	課題へのフィードバック					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）					
教科書	『書名』（著者名、出版社名）					
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）					
注意事項						

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナンバリングコード	CHS22209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他( )							
授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。研究テーマとしては、「地域における健全育成」、「現代における子どもの居場所」等のキーワードを中心とする。							
到達目標	1. 論文の作成方法を習得している。 2. 少人数のゼミナール形式で協調性を身につけている 3. 論文作成を通して、保育者として必要な専門的知識を習得している。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 1・5 ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	授業の進め方	予習	自分の関心あるテーマを探す			
				復習	自身の生活を考える			
	第2回	内容	文献による基礎研究	予習	文献を探す			
				復習	探した文献をまとめる			
	第3回	内容	視聴覚教材による基礎研究	予習	関連資料を探す			
				復習	教材から学んだことをまとめる			
	第4回	内容	テーマの設定	予習	テーマを考えてくる			
				復習	テーマを細かく分解してくる			
	第5回	内容	テーマの確定	予習	細分化したテーマを書き出してくる			
				復習	テーマについて調べてくる			
	第6回	内容	文献・資料の収集方法	予習	テーマに関して検索してくる			
				復習	学んだことをプリントにまとめる			
	第7回	内容	文献の収集	予習	文献の検索			
				復習	収集した文献の整理			
	第8回	内容	資料の収集	予習	資料の検索			
				復習	収集した資料の整理			
	第9回	内容	研究論文の読み方	予習	資料をまとめてくる			
				復習	集めた資料・文献を読む			
	第10回	内容	調査、研究の方法	予習	読んだ資料をまとめる			
				復習	学んだことをプリントにまとめる			
	第11回	内容	論文の執筆について	予習	課題論文を読んでくる			
復習				学んだことをプリントにまとめる				
第12回	内容	中間発表 前半グループ	予習	発表用レジュメづくり				
			復習	発表の振り返り				
第13回	内容	中間発表 後半グループ	予習	発表用レジュメづくり				
			復習	発表の振り返り				
第14回	内容	論文の組み立て	予習	配布プリントを読んでくる				
			復習	学んだことをプリントにまとめる				
第15回	内容	研究方法の検討	予習	研究方法の案を考えてくる				
			復習	研究方法を練り直す				
第16回	内容	調査票の作り方	予習	先行研究を分析する				
			復習	学んだことをプリントにまとめる				
第17回	内容	調査票の作成	予習	論文作成上の疑問を整理する				
			復習	論文執筆を進める				
第18回	内容	研究論文の執筆 ① 研究動機	予習	論文作成上の疑問を整理する				
			復習	論文執筆を進める				
第19回	内容	研究論文の執筆 ② 用語整理・定義・動向	予習	論文作成上の疑問を整理する				
			復習	論文執筆を進める				
第20回	内容	研究論文の執筆 ③ 研究調査等	予習	論文作成上の疑問を整理する				
			復習	論文執筆を進める				
第21回	内容	研究論文の執筆 ④ 情報整理	予習	論文作成上の疑問を整理する				
			復習	論文執筆を進める				

	第22回	内容	研究論文の執筆 ⑤ 研究内容整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第23回	内容	研究論文の執筆 ⑥ 提出前確認	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第24回	内容	中間発表	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第25回	内容	論文の修正 ① 形式の整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第26回	内容	論文の修正 ② 文献の整理	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第27回	内容	論文の修正 ③ 内容修正	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文執筆を進める
	第28回	内容	論文発表 準備	予習	論文作成上の疑問を整理する
				復習	論文をまとめる
	第29回	内容	論文発表	予習	論文全体の振り返りを行う
				復習	発表用資料を作成する
	第30回	内容	まとめ	予習	論文内容をまとめ発表準備をする
				復習	他者の研究から学んだことをまとめる
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成した論文、及び論文を元にした発表の講評を伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：論文（70%）、発表（20%）、授業態度【積極的参加】（10%）				
教科書	なし				
参考文献	なし				
注意事項	なし				

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	とねがわ あきひろ 利根川 彰博
ナンバリングコード	CHS22209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行う。論文提出後には発表会を行い、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。主な研究テーマとしては、保育内容、保育実践、幼児期の遊び等を中心とする。							
到達目標	1. 自分の興味・関心に基づき、研究テーマを見出すことができる。 2. 先行研究を検討し、問題の所在を明確化することができる。 3. テーマに沿ったデータを収集し、考察することができる。 4. 卒業論文の形式を学び、内容を論理的にまとめることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 1, 2, 5 ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	一年間の見通しを立てる			
	第2回	内容	自分の興味・関心のあるテーマの発表	予習	自分の研究テーマを考えておく			
				復習	議論を踏まえて、振り返る			
	第3回	内容	研究論文の読み方	予習	指定された研究論文を読んでおく			
				復習	改めて論文を読み直す			
	第4回	内容	研究のテーマと方法	予習	興味のある研究論文を読んでおく			
				復習	研究の方法を整理する			
	第5回	内容	研究テーマについての講義①	予習	テーマについての文献を読んでおく			
				復習	紹介された文献を読む			
	第6回	内容	研究テーマについての講義②	予習	テーマについての文献を読んでおく			
				復習	紹介された文献を読む			
	第7回	内容	フィールドワーク①	予習	フィールド施設の概要をつかんでおく			
				復習	自分の関心に基づいて振り返る			
	第8回	内容	フィールドワーク②	予習	自分の関心に基づいて観察する視点を定めておく			
				復習	自分の関心に基づいて振り返る			
	第9回	内容	研究テーマの選定	予習	自分の関心あるテーマを探す			
				復習	テーマについての文献を読む			
	第10回	内容	先行研究の検討①	予習	自分のテーマの先行研究を探す			
				復習	先行研究を読み、考察する			
第11回	内容	先行研究の検討②	予習	自分のテーマの先行研究を探す				
			復習	先行研究を読み、考察する				
第12回	内容	先行研究の発表	予習	レジュメをつくり発表の準備をする				
			復習	発表の振り返りをする				
第13回	内容	研究テーマに沿った意見交換	予習	互いの関心を把握しておく				
			復習	内容を整理する				
第14回	内容	研究の概要整理	予習	自分の研究概要をまとめておく				
			復習	内容を整理する				
第15回	内容	中間発表①	予習	発表の準備をする				
			復習	発表の振り返りをする				
第16回	内容	中間発表②	予習	発表の準備をする				
			復習	発表の振り返りをする				
第17回	内容	研究方法の検討①	予習	目的と方法を確認しておく				
			復習	見通しを整理する				
第18回	内容	研究方法の検討②	予習	目的と方法を確認しておく				
			復習	見通しを整理する				
第19回	内容	データ整理①	予習	論文作成のデータを収集しておく				
			復習	内容を整理する				
				予習	論文作成のデータを収集しておく			

	第20回		データ整理②	復習	内容を整理する
	第21回	内容	データ整理③	予習	論文作成のデータを収集しておく
				復習	内容を整理する
	第22回	内容	論文作成①	予習	論文の構成を考えておく
				復習	研究の動機を書く
	第23回	内容	論文作成②	予習	論文の構成を考えておく
				復習	目次を書く
	第24回	内容	論文作成③	予習	論文作成を進めておく
				復習	考察を進める
	第25回	内容	論文作成④	予習	論文作成を進めておく
				復習	指摘を踏まえてまとめる
	第26回	内容	論文修正	予習	論文を読み返しチェックする
				復習	仕上げをする
	第27回	内容	研究発表準備	予習	自分の論文をまとめておく
復習				パワーポイントにまとめる	
第28回	内容	研究発表会①	予習	発表の準備をする	
			復習	発表の振り返りをする	
第29回	内容	研究発表会②	予習	発表の準備をする	
			復習	発表の振り返りをする	
第30回	内容	まとめ	予習	個人としてのまとめをしておく	
			復習	意見交換の振り返りをする	
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。					
課題へのフィードバック	毎回、進捗状況についてのフィードバックを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：論文（70%）、発表（20%）、授業態度【積極的参加】（10%）				
教科書	なし				
参考文献	個別に紹介する				
注意事項	自ら見通しを立て、授業時間外にも進めておくこと。				

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナバリンクコード	CHS22209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業研究(論文もしくは作品の作成)を行う。 講義は少人数によるゼミナール形式で行われる。 卒業研究成果物の提出後には、各ゼミナール単位での発表会が行われる。							
到達目標	1. “保育・幼児教育の専門家”としての将来の自分自身を想定した、「災害サバイバルシミュレーション」の実行を通して、いつ現実化するかわからない災害に遭遇した際の心構えを身につけている。 2. 上記シミュレーションの結果を、卒業研究成果物として整理することにより、特に防災の観点からみて保育者に必要とされる知識を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 1,2,3,4,5 ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	前期ガイダンス 演習の目的や授業の進めかた等々についての説明	予習	シラバス全体に目を通しておく。			
				復習	今後一年間の授業の流れを意識し理解する。			
	第2回	内容	研究の前準備① 大学での学びの意味、ノート作成のノウハウ	予習	参考書の「第0講～第2講」の概要を把握する。			
				復習	以後第6回までの授業の流れを把握する。			
	第3回	内容	研究の前準備② テキストの読みかた、要約のノウハウ	予習	参考書の「第3講～第4講」の概要を把握する。			
				復習	授業時に指定された演習を、授業時間内に行う。			
	第4回	内容	研究の前準備③ 思考展開と意見表明、図書館の利用	予習	参考書の「第5講～第6講」の概要を把握する。			
				復習	図書館等で選んだ資料に関する見解を整理する。			
	第5回	内容	研究の前準備④ レポート・論文の書きかた	予習	参考書の「第7講～第8講」の概要を把握する。			
				復習	第4回復習時に整理した見解を文章化する。			
	第6回	内容	研究の前準備⑤ レジュメの作成、発表	予習	参考書の「第9講～第10講」の概要を把握する。			
				復習	第5回復習時の見解に対するレジュメを作る。			
	第7回	内容	過去の卒業研究例の閲覧 本学科卒業生の論文・作品の鑑賞	予習	第1回授業時の配布資料を熟読する。			
				復習	卒業研究のイメージを各自なりに把握する。			
	第8回	内容	研究の前準備⑥ 既存資料(教員が準備する)の通解	予習	事前に配布された文字資料の概要を把握する。			
				復習	取り扱った文字資料に関する見解を文章化する。			
	第9回	内容	研究の前準備⑦ 既存資料(教員が準備する)の通解	予習	事前に通告された映像資料の概要を把握する。			
				復習	取り扱った映像資料に関する見解を文章化する。			
	第10回	内容	研究の前準備⑧ 既存資料(教員が準備する)の通解	予習	事前に指定された過去の災害の概要を把握する。			
				復習	取り扱った災害に関する見解を文章化する。			
	第11回	内容	研究の前準備⑨ 既存資料(履修者が準備する)の検索	予習	第10回授業時に指示された準備を行う。			
復習				図書館等で既存資料を検索する。				
第12回	内容	研究の前準備⑩ 既存資料(履修者が準備する)の内容理解	予習	第11回復習時の検索資料を各自持参する。				
			復習	各自が選択した資料を精解して見解を整理する。				
第13回	内容	研究の前準備⑪ 既存資料(履修者が準備する)の発表準備	予習	各自が選択した資料に関する見解を文章化する。				
			復習	文章化した見解に対するレジュメを作成する。				
第14回	内容	研究の前準備⑫ 既存資料(履修者が準備する)の見解発表	予習	第13回復習時に作成したレジュメを持ち寄る。				
			復習	他履修者の発表に対する見解を文章化する。				
第15回	内容	授業前半(第1回～第14回)のまとめ これまでの演習内容の総括および整理	予習	第14回授業までの配布資料類を概観しておく。				
			復習	授業前半部の学習内容を整理し文章化する。				
第16回	内容	後期ガイダンス 演習目的の確認、シミュレーションの意義	予習	再度、シラバス全体に目を通しておく。				
			復習	今後半年間の授業の流れを意識し理解する。				
第17回	内容	研究の前準備⑬ 到達目標を意識した資料(教員が準備する)の通解	予習	前もって配布された文字資料の概要を把握する。				
			復習	取り扱った文字資料に関する見解を整理する。				
第18回	内容	研究の前準備⑭ 到達目標を意識した資料(教員が準備する)の通解	予習	前もって通告された映像資料の概要を把握する。				
			復習	取り扱った映像資料に関する見解を整理する。				
第19回	内容	研究の前準備⑮ 到達目標を意識した資料(教員が準備する)の通解	予習	事前に示された過去の防災例の概要を把握する。				
			復習	過去の防災例に関する各自の見解を整理する。				
第20回	内容	研究の前準備⑯ シミュレーションの概要	予習	前もって配布された資料類に目を通しておく。				
			復習	シミュレーションの目的や意義を理解する。				
第21回	内容	研究の前準備⑰ シミュレーションの条件設定	予習	第20回授業時の指示内容について理解する。				
			復習	シミュレーションの条件設定を各自で行う。				

第 22 回	内容	研究の前準備⑩ シミュレーションの実施	予習	第 21 回復習時の条件設定を持ち寄る。
			復習	シミュレーションの実行結果を整理する。
第 23 回	内容	卒業研究① 本番シミュレーションのための準備	予習	シミュレーションの実施方法を再度確認する。
			復習	シミュレーションの詳細な条件設定を行う。
第 24 回	内容	卒業研究② 本番シミュレーションの開始	予習	第 23 回復習時の条件設定を持ち寄る。
			復習	シミュレーションを実施し、条件設定を見直す。
第 25 回	内容	卒業研究③ 本番シミュレーションの継続	予習	第 24 回シミュレーションの結果や見直された条件設定を持ち寄る。
			復習	シミュレーションを再実施し、全体の内容および結果をより一層充実させる。
第 26 回	内容	卒業研究④ 本場シミュレーション結果の中間発表	予習	第 25 回復習時のシミュレーション結果に関して整理し、発表できるようにしておく。
			復習	他の履修者のシミュレーション結果を参考にして、各自のシミュレーションを増補改訂する。
第 27 回	内容	卒業研究⑤ 本番シミュレーションの完成	予習	第 26 回のシミュレーション結果およびそれに対する各自の見解を整理する。
			復習	各自のシミュレーションの決定版を完成する。
第 28 回	内容	卒業研究⑥ 卒業研究成果物の作成	予習	各自のシミュレーションの決定版を持ち寄る。
			復習	各自のシミュレーションの決定版を所定の様式で卒業研究成果物に仕上げ、大学あて提出する。
第 29 回	内容	卒業研究⑦ 各自の研究発表および質疑応答	予習	提出済み成果物に対するレジュメを作成し、持ち寄る。
			復習	自他のシミュレーションに対する各自の見解を文章化する。
第 30 回	内容	全体のまとめ 通年の演習内容の総括および整理	予習	授業開始以後のすべての配布物や各自の卒業研究に再度、目を通しておく。
			復習	幼児教育・保育に対する本授業の学習意義を文章化して、提出する。
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	資料類の通解を行う際、必要な確認テストおよび解説を行う。 履修者各自の見解を文章化したもの（レポート、レジュメ、その他）は随時提出が求められ、必要な添削指導を経て再度返却される。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（70%）、作品・発表（20%）、授業態度（10%）			
教科書	『大学基礎講座 改増版 充実した大学生活を送るために』（藤田哲也ほか、北大路書房） 注意：上記テキストは、一年生向け授業「地域保育基礎講座」で使ったものを再利用する（所持している場合は再購入しなくてよい）。			
参考文献	必要に応じて随時紹介する。			
注意事項	1. 上記「授業計画」に示す授業のうち第 2 回～第 6 回の授業は、教科書の内容に即して開講する。 2. 架空イベントの詳細を頭の中で想起し整理するには、豊かな想像力および強い精神力が求められる。 3. 卒業研究成果物（本番シミュレーション結果）は、「作品」として扱われる。 4. 提出期限後に成果物の修正を求められた場合、その修正作業に対する評価は「発表」に含まれる。			

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	しんど のぶゆき 新戸 信之
ナバリングコード	CHS22209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。研究テーマとしては、「レクリエーション」「運動」「遊び」「幼児体育」「野外体験活動」「指導方法」「保育現場」がキーワードとなる。							
到達目標	1. 論文を完成させる。 2. 論文作成に必要なスキルを身につける。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 2,3 ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	講義の方針と年間計画、研究テーマの選定について	予習	興味・関心のある事項を洗い出す			
				復習	興味・関心のある事項を整理する			
	第2回	内容	研究テーマの選定①	予習	子どもを取り巻く環境、子どもが抱える問題に対する考えをまとめる			
				復習	興味・関心のある事項と、子どもに対する考えとの接点を模索する			
	第3回	内容	研究テーマの決定、発表	予習	関心事と子どもとの関係についてまとめる			
				復習	授業の内容を咀嚼し、まとめる			
	第4回	内容	資料収集、文献調査① キーワードを基に検索する	予習	文献検索の「初期キーワード」を考える			
				復習	新たに導き出したキーワードをまとめる			
	第5回	内容	資料収集、文献調査② 導き出したキーワードを基に文献を検索する	予習	研究テーマと関連の強いキーワードを絞り込む			
				復習	検索した論文の参考・引用文献をリストアップする			
	第6回	内容	資料収集、文献調査③ 先行研究の参考・引用文献を検索する	予習	主要な研究者のリストアップ			
				復習	文献を入手方法別にまとめる			
	第7回	内容	資料収集、文献調査④ 文献を絞り込む	予習	収集した文献から自分の研究に関わる個所を探す			
				復習	文献をキーワード別に分類する			
	第8回	内容	資料収集、文献調査⑤ 文献の整理	予習	文献の概要を読む			
				復習	文献の情報をまとめる			
	第9回	内容	研究デザインの検討	予習	文献を研究デザイン別に仕訳ける			
				復習	研究デザインについてまとめる			
	第10回	内容	調査方法、データ処理について	予習	収集した文献の「方法」に目を通す			
				復習	自分の研究に適した方法についてまとめる			
	第11回	内容	文体、表現について	予習	文体・表現を意識して、興味のある研究論文を読む			
				復習	過去のレポート等を添削する			
	第12回	内容	執筆準備	予習	卒業論文の体裁を確認する			
				復習	文体、表現の確認			
	第13回	内容	論文の執筆① 序章の執筆	予習	研究の動機、問題の背景、目的など、研究テーマに関する事柄を整理する			
				復習	章立てを考える			
	第14回	内容	資料収集、文献調査⑥	予習	序章中のエビデンスが必要な個所を確認する			
				復習	文献の情報をまとめる			
	第15回	内容	中間発表：前半	予習	発表資料の作成			
				復習	方向性の確定とリスケジュール			
	第16回	内容	中間発表：後半	予習	発表資料の作成			
				復習	方向性の確定とリスケジュール			
	第17回	内容	論文の執筆②	予習	研究の背景と目的を再確認			
				復習	論文の執筆			
	第18回	内容	論文の執筆③	予習	指導箇所の確認、データ収集			
				復習	論文の執筆、データの確認			
第19回	内容	論文の執筆④	予習	指導箇所の確認				
			復習	論文の執筆、データ入力				

第 20 回	内容	論文の執筆⑤	予習	指導箇所の確認、データ処理の方法を確認
			復習	論文の執筆、分析の実行
第 21 回	内容	論文の執筆⑥	予習	指導箇所の確認
			復習	論文の執筆
第 22 回	内容	論文の修正①	予習	指導箇所の確認
			復習	指導箇所の修正
第 23 回	内容	論文の修正②	予習	指導箇所の確認
			復習	指導箇所の修正
第 24 回	内容	論文の完成①	予習	指導箇所の確認
			復習	指導箇所の修正
第 25 回	内容	論文の完成②	予習	体裁の確認
			復習	細部の確認、修正
第 26 回	内容	発表資料の作成①	予習	論文のポイントとなる箇所の当たりを付ける
			復習	コマ割りの確認
第 27 回	内容	発表資料の作成②	予習	発表原稿の確認
			復習	スライドの動作確認
第 28 回	内容	論文発表：前半	予習	リハーサルをする / 発表者の論文を読む
			復習	感想、コメントの内容についてまとめる
第 29 回	内容	論文発表：後半	予習	リハーサルをする / 発表者の論文を読む
			復習	感想、コメントの内容についてまとめる
第 30 回	内容	まとめ	予習	他のゼミ生の論文を読む
			復習	自己評価
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	随時検証し、解説をする。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する / （○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（20%）、作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（30%）			
教科書	なし			
参考文献	なし			
注意事項	好奇心と遊び心を持ちつつも、真面目でストイックな取り組みを求めます。 授業時間だけで論文を完成させることは不可能です。			

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	つちや ゆう 土屋 由
ナバリングコード	CHS22209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	<p>保育、幼児教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じ、保育者として必要な専門的知識をさらに深める。</p> <p>主な研究テーマとしては、「保育内容」「子どもの生活・遊びや文化に関すること」「育児・家族に関すること」などである。保育所・幼稚園・家庭をフィールドとする質的研究および文献研究を行い、論文としてまとめる。</p>							
到達目標	<p>1. 保育・幼児教育について、興味あるテーマを設定し、その課題について理解している。</p> <p>2. 自らの選んだテーマに関連する文献を読み、問題の所在を明らかにすることができる。</p> <p>3. インタビューや質問紙調査、文献調査など、必要な資料収集の方法を理解している。</p> <p>4. 必要な資料収集及び考察を進め、卒業研究としてまとめることができる。</p>							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(1.2.5) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	講義の方針と年間計画	予習	シラバスに目を通す			
				復習	卒論をまとめるまでの計画をたてる			
	第2回	内容	フィールドワークとは何か	予習	フィールドワーク(配布プリント)に目を通す			
				復習	フィールドワークについてノートにまとめる			
	第3回	内容	フィールドワークの調査方法	予習	調査方法(配布プリント)に目を通す			
				復習	様々な調査方法についてノートにまとめる			
	第4回	内容	フィールドワークのまとめ方	予習	まとめ方(配布プリント)に目を通す			
				復習	まとめ方についてノートにまとめる			
	第5回	内容	研究テーマの選定	予習	研究テーマを考える			
				復習	研究テーマをさらに練る			
	第6回	内容	研究テーマについて必要な文献を集める①専門書	予習	テーマに関する専門書を調べる			
				復習	調べた専門書を入手し、読む			
	第7回	内容	研究テーマについて必要な文献を集める②論文	予習	テーマに関する論文を調べる			
				復習	調べた論文を入手し、読む			
	第8回	内容	先行研究の検討①調査方法や対象	予習	先行研究を見つける			
				復習	先行研究の調査方法や対象をまとめる			
	第9回	内容	先行研究の検討②結果や考察	予習	先行研究を引き続き探す			
				復習	先行研究の結果や考察をまとめる			
	第10回	内容	問題の所在や目的を明らかにする	予習	研究の問題の所在や目的を考える			
				復習	研究の問題の所在や目的をまとめる			
	第11回	内容	中間報告の準備	予習	中間報告に向けて、調べた文献などを整理する			
				復習	中間報告の内容を検討する			
	第12回	内容	中間報告①前半グループ	予習	中間報告に向けてレジュメを仕上げる			
				復習	他者の発表を聞き、気づいたことをまとめる			
	第13回	内容	中間報告②後半グループ	予習	中間報告に向けてレジュメを仕上げる			
				復習	他者の発表を聞き、気づいたことをまとめる			
	第14回	内容	子ども関連施設の見学	予習	対象子ども関連施設を調べる			
				復習	対象子ども関連施設の意義をまとめる			
	第15回	内容	子ども関連施設の見学	予習	利用者の様子を観察する			
				復習	体験して気づいたことをまとめる			
	第16回	内容	調査の実施に向けた準備	予習	調査方法の下案を作成する			
				復習	インタビュー項目や質問紙を作成する			
	第17回	内容	調査の実施①質問紙調査	予習	調査に必要な準備をする			
				復習	調査後の整理をする			
	第18回	内容	調査の実施②インタビューや観察調査	予習	調査に必要な準備をする			
				復習	調査後の整理をする			
第19回	内容	結果の整理①質問紙調査	予習	質問紙調査の結果をおおまかに整理する				
			復習	質問紙調査の結果を検討する				

第 20 回	内容	結果の整理②インタビューや観察調査	予習	インタビューや観察調査の結果を整理する
			復習	インタビューや観察調査の結果を検討する
第 21 回	内容	考察を進める①観点 1	予習	結果に基づき、観点 1 の下案をまとめる
			復習	考察 1 としてまとめる
第 22 回	内容	考察を進める②観点 2	予習	結果に基づき、観点 2 の下案をまとめる
			復習	考察 2 としてまとめる
第 23 回	内容	考察を進める③観点 3	予習	結果に基づき、観点 3 の下案をまとめる
			復習	考察 3 としてまとめる
第 24 回	内容	結論を検討する	予習	結論の下案を考える
			復習	検討を踏まえ、結論を仕上げる
第 25 回	内容	今後の課題を検討する	予習	今後の課題の下案を考える
			復習	検討を踏まえ、今後の課題を仕上げる
第 26 回	内容	研究のまとめ①前半部分のまとめ	予習	卒業研究の前半部分を整理する
			復習	修正を踏まえて、前半部分を仕上げる
第 27 回	内容	研究のまとめ②後半部分のまとめ	予習	卒業研究の後半部分を整理する
			復習	修正を踏まえて、後半部分を仕上げる
第 28 回	内容	論文発表①前半グループ	予習	前半グループプレゼン作成
			復習	発表を聞いて、気づいたことをまとめる
第 29 回	内容	論文発表②後半グループ	予習	後半グループプレゼン作成
			復習	発表を聞いて、気づいたことをまとめる
第 30 回	内容	まとめ	予習	振り返りを考える
			復習	他者の発表を聞き、気づいたことをまとめる
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	卒業研究の発表を行いコメントを伝える。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：論文（70%）、発表（20%）、作品・発表（ ）%、実技（ ）%、授業態度【意欲】（10%）			
教科書	なし			
参考文献	授業において適宜紹介する。			
注意事項	研究テーマを明確にすること。必要な文献をしっかりと読みこなすこと。			

科目名	総合演習Ⅱ(卒業研究)		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	まつなが しずこ 松永 静子
ナンバリングコード	CHS22209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	保育・教育に関連する幅広い分野から学生が興味あるテーマを選択し、そのテーマを専門とする専任教員の指導により卒業論文を作成する。講義は少人数によるゼミナール形式で行う。論文提出後には発表会を行い、保育者として必要な知識をさらに深める。主な研究テーマとしては、児童文化、児童文学、保育内容、遊び、育児、家庭支援等を中心とする。							
到達目標	1. 学生が自らの興味関心に基づき、研究テーマを見出すことができる。 2. テーマに沿った文、インタビュー調査、文献調査、フィールドワークなどにより、研究し、内容をまとめることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(1・2・3・4・5) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	講義の方針と年間計画	予習	研究テーマに関する資料収集			
				復習	研究テーマに関する資料収集			
	第2回	内容	研究テーマについての講義	予習	資料の事前準備			
				復習	資料からテーマをまとめる			
	第3回	内容	研究テーマについての講義	予習	資料の事前準備			
				復習	資料からテーマをまとめる			
	第4回	内容	研究テーマについての講義	予習	資料の事前準備			
				復習	資料からテーマをまとめる			
	第5回	内容	学生によるテーマの選定	予習	テーマに関する計画立案			
				復習	テーマに関する計画立案修正			
	第6回	内容	学生によるテーマの選定	予習	テーマに関する計画立案			
				復習	テーマに関する立案修正			
	第7回	内容	学生によるテーマの選定	予習	テーマに関する計画立案			
				復習	テーマに関する立案修正			
	第8回	内容	文献調査	予習	テーマに関する文献を読む			
				復習	テーマに関する文献をまとめる			
	第9回	内容	文献調査	予習	テーマに関する文献を読む			
				復習	テーマに関する文献をまとめる			
	第10回	内容	文献調査	予習	テーマに関する文献を読む			
				復習	テーマに関する文献をまとめる			
第11回	内容	フィールドの見学	予習	テーマに関する視察の準備				
			復習	視察の結果をまとめる				
第12回	内容	フィールドの見学	予習	テーマに関する視察の準備				
			復習	視察の結果をまとめる				
第13回	内容	中間発表	予習	序論執筆				
			復習	序論修正				
第14回	内容	中間発表	予習	序論執筆				
			復習	序論修正				
第15回	内容	中間発表	予習	序論執筆				
			復習	序論修正				
第16回	内容	論文作成の準備	予習	本論執筆の準備				
			復習	本論執筆				
第17回	内容	論文作成の準備	予習	本論執筆の準備				
			復習	本論執筆				
第18回	内容	論文作成の準備	予習	本論執筆の準備				
			復習	本論執筆				
第19回	内容	論文作成	予習	序論・本論執筆				
			復習	序論・本論修正				
第20回	内容	論文作成	予習	序論・本論執筆				
			復習	序論・本論修正				

	第 21 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	本論執筆
	第 22 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	本論執筆
	第 23 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	本論執筆
	第 24 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	本論執筆
	第 25 回	内容	論文作成	予習	本論執筆
				復習	最終章まで執筆
	第 26 回	内容	論文修正	予習	最終章まで執筆
				復習	最終章まで執筆
	第 27 回	内容	論文修正	予習	最終章まで執筆
				復習	最終章まで執筆
第 28 回	内容	論文修正	予習	最終章まで執筆	
			復習	最終章まで執筆	
第 29 回	内容	論文発表	予習	論文のゼミ内発表	
			復習	論文のゼミ内発表振り返り	
第 30 回	内容	論文発表	予習	論文のゼミ内発表	
			復習	論文のゼミ内発表振り返り	
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	個人指導による論文指導を行いフィードバックする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）%、レポート・課題（ 70 %）、作品・発表（ 20 %）、実技（ ）%、授業態度【積極的参加】（ 10 %）				
教科書					
参考文献					
注意事項					

科目名	カウンセリング論	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ナンバリングコード	CLP22202	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	心の悩みを解決する方法の一つとしてカウンセリングが挙げられる。カウンセリングの場面で重要なことは、悩んでいるクライアントの話しを如何に聴き、如何に理解するかである。そこで本授業では、精神分析やロジャーズなどのカウンセリング理論を取りあげ、実習を交えながら、クライアントの悩みの聞き方を考えていく。 <u>この授業でピアヘルパーの資格受験対策も行う。</u>						
到達目標	1. カウンセリングの技法を習得している。 2. 実際に悩んでいる人の相談相手になることができる 3. ピアヘルピングの理論を理解している。 4. ピアヘルピングを行うことができる						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（2,3,5） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	カウンセリングの定義	予習	教科書 p.16-21 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第2回	内容	構成的グループエンカウンター	予習	教科書 p.10-15 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第3回	内容	現代社会とカウンセリング	予習	教科書 p.16-21 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第4回	内容	カウンセリングと近接領域	予習	教科書 p.22-32 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第5回	内容	ピアヘルピングの基本	予習	教科書 p33-39, 46-51 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第6回	内容	リレーションの作り方	予習	教科書 p.33-45 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第7回	内容	問題の把握	予習	教科書 p.33-45 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第8回	内容	援助法について	予習	教科書 p.52-64 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第9回	内容	問題の解決法	予習	教科書 p.65-97 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第10回	内容	青年期の諸問題	予習	教科書 p.98-121 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第11回	内容	グループの動かし方	予習	教科書 p.122-142 を読んでおく。		
				復習	授業で扱った内容を覚える。		
	第12回	内容	ゲシュタルトセラピー	予習	ゲシュタルトセラピーとは何か調べておく。		
				復習	ゲシュタルトセラピー理論を再確認する。		
	第13回	内容	論理療法	予習	論理療法とは何か調べておく。		
				復習	論理療法理論を再確認する。		
	第14回	内容	ロールプレイ	予習	ロールプレイの設定を考えておく。		
				復習	相談実践場面を考える。		
	第15回	内容	保育者とカウンセリング	予習	ここまでの授業内容を振り返っておく。		
				復習	保育現場での相談全般を考える。		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業を理解しているか、常に質問を行っていく。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（90%）、授業態度【積極的参加】（10%）						
教科書	『ピアヘルパーハンドブック』（日本教育カウンセラー協会、図書文化社） 『ピアヘルパーワークブック』（日本教育カウンセラー協会、図書文化社）						
参考文献	なし						
注意事項	ピアヘルパー資格受験希望者は必ず受講すること。						

科目名	保育施設経営論		単位数	2	授業時間数		担当教員 いのう けいこ 伊能 恵子
ナンバリングコード	SWS22211	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	保育所を経営するということは、保育実践の“価値”を生み出し続けることであるという真理を理解する。そのために、経営の条件、経営者の条件を学び「経営品質」の考え方を獲得し、身につけることを目的とする。						
到達目標	1. 学生1人1人が経営者としてばかりではなく、保育実践者としての倫理観を習得できる。 2. 保育施設を経営する観点から、保育実践をみがいていくフレームワークを習得できる。 3. 自分の良さを発見し、職場で輝く働き方を習得できる。 4. 組織人としての心構えを習得できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1・2・3・4・5）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	保育所経営の条件	予習	シラバスを読んでくる		
				復習	人生の第一歩シートをまとめる		
	第2回	内容	価値を生み出す保育所経営活動	予習	経営者の条件を考える		
				復習	経営理念と方針を考える		
	第3回	内容	保育所におけるリーダーシップ	予習	リーダーシップとは何かを考える		
				復習	経営の本質と認識をまとめる		
	第4回	内容	保育所における社会的責任	予習	社会的責任とは何かを考える		
				復習	保育士に守らせたい倫理観をまとめる		
	第5回	内容	保育業界市場の理解と対応	予習	保育業界とはどんなものか考える		
				復習	保育の対象とその理由をまとめる		
	第6回	内容	保育所戦略の策定と展開	予習	保育所とはどんな所か考える		
				復習	保育所の役割とあるべき姿をまとめる		
	第7回	内容	保育士の能力向上	予習	保育士に必要な能力を考える		
				復習	理想とする職場環境をまとめる		
	第8回	内容	保育所の能力向上	予習	人材育成とは何かを考える		
				復習	保育士資質向上の必然性をまとめる		
第9回	内容	保育現場という職場環境	予習	職場とは何かを考える			
			復習	職場内コミュニケーションをまとめる			
第10回	内容	保育価値創造のプロセス	予習	子ども、保護者、保育士の関係性を考える			
			復習	顧客価値とは何かをまとめる			
第11回	内容	情報マネジメント	予習	保育に必要な情報とは何かを考える			
			復習	情報コントロールの必然性をまとめる			
第12回	内容	保育所経営活動結果分析	予習	顧客とは何かを考える			
			復習	顧客満足の見点をまとめる			
第13回	内容	人事・労務管理①：自己啓発	予習	労務管理とは何かを考える			
			復習	自己分析を行いまとめる			
第14回	内容	人事・労務管理②：自己育成	予習	人事管理とは何かを考える			
			復習	他己分析を行いまとめる			
第15回	内容	経営するということ	予習	経営者とはどうあるべきか考える			
			復習	経営することをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	毎授業ごとの課題、レポートにコメントし返却する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（100%）						
教科書	なし						
参考文献	『日本経営品質アセスメント基準書』（日本経営品質委員会）日本経営品質学会機関紙 『社会福祉施設・事業者の為の経営ハンドブック』（東京都社会福祉協議会）						
注意事項	毎授業に課題提出を求める為、出席は必須である。						

科目名	地域福祉		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナンバリングコード	SWS22210		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他( )							
授業の内容	本講義では地域福祉の発展過程を踏まえながら、将来の展望を示し、社会福祉に必要な知識を学ぶことを目的としている。							
到達目標	1. 地域福祉の基本的な考え方とシステムを理解している。 2. 行政組織と民間組織の役割を理解している。 3. 現代における地域福祉の課題を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 1・5 ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	新しい社会福祉システム	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	地域福祉の基本的な考え方	予習	教科書「子ども支援」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に子ども支援についてまとめる			
	第3回	内容	地域福祉の主体と福祉教育	予習	教科書「教育と福祉制度」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に福祉制度についてまとめる			
	第4回	内容	行政組織と民間組織の役割と実際	予習	教科書「児童・地域福祉」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に地域組織についてまとめる			
	第5回	内容	コミュニティソーシャルワークと専門職の役割	予習	教科書「相談援助」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に相談援助についてまとめる			
	第6回	内容	住民の参加と方法	予習	教科書「地域福祉理解」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に地域福祉理解の内容をまとめる			
	第7回	内容	地域子育て支援の施設を見学	予習	子育て支援施設について理解を深める			
				復習	見学から学んだことを整理する			
	第8回	内容	地域子育て支援の課題	予習	理解したことをレポートにして提出			
				復習	支援課題を整理する			
第9回	内容	地域における社会資源	予習	教科書「地域福祉関連機関」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に関連機関についてまとめる				
第10回	内容	社会資源の活用・調整	予習	教科書「ボランティア」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心にボランティアについてまとめる				
第11回	内容	民生委員とは	予習	教科書「民生委員」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に民生委員についてまとめる				
第12回	内容	地域における福祉サービスの実際	予習	居住地域の福祉サービスを調べる				
			復習	調べた内容をレポートにまとめる				
第13回	内容	日本の地域福祉に影響を与えた海外の考え方	予習	日本の福祉サービスの章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に福祉サービスの内容をまとめる				
第14回	内容	福祉によるまちづくりとソーシャルアクション	予習	教科書「地域ケア」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に地域ケアの内容をまとめる				
第15回	内容	これまでのまとめ	予習	教科書・プリントの内容を整理する				
			復習	学習内容をまとめて、学習成果を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	・課題・提出物等について確認を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する／(○)しない 成績評価の方法：レポート・課題( 70 %)、授業態度【積極的参加】( 30 %)							
教科書	『子育てとケアの原理』（高橋貴志監修、望月雅和編著、北樹出版）							
参考文献	なし							
注意事項	なし							

科目名	児童館・放課後児童クラブの機能と運営		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナンバリングコード	SWS22104		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	児童館は、子どもに健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする児童福祉法による児童厚生施設である。そして、放課後児童クラブは、同法に基づき小学生のうち、保護者が昼間家庭にいないものに、適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図る事業である。授業では、児童館・放課後児童クラブの歴史、目的、役割、利用状況、現状・課題を学んでいく。							
到達目標	1. 児童館・放課後児童クラブの機能や地域における役割を理解している。 2. 児童館・放課後児童クラブにおける子育て支援や児童の健全育成を理解している。 3. 児童館が小学生及び中・高生の居場所づくりなど、地域の核となる児童福祉施設として重要な役割を担っていることを理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	児童厚生員とその資格の説明	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	児童館・放課後児童クラブの説明	予習	教科書「児童館の概要」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に児童館の概要をまとめる			
	第3回	内容	現代の子どもたちの遊び環境	予習	教科書「児童館の施設特性」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に遊び環境についてまとめる			
	第4回	内容	法的根拠・事業目的	予習	教科書「事業目的」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に事業目的についてまとめる			
	第5回	内容	児童館・放課後児童クラブの種別及び機能	予習	教科書「施設規模別特徴」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に種別と機能をまとめる			
	第6回	内容	小型児童館・児童センター・大型児童館の設置及び運営	予習	教科書「施設特性」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に施設特性についてまとめる			
	第7回	内容	児童館ガイドライン	予習	教科書「ガイドライン」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心にガイドラインを整理する			
	第8回	内容	職員の役割	予習	教科書「児童厚生員の役割」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に職員の役割についてまとめる			
第9回	内容	放課後児童健全育成事業の概要と実態	予習	教科書「放課後児童クラブ」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に児童クラブについてまとめる				
第10回	内容	放課後児童クラブの現状と課題	予習	教科書「クラブの現状」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に現状と課題についてまとめる				
第11回	内容	小学生・中学生・高校生の対応	予習	教科書「児童館の機能」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に中高生対応の内容をまとめる				
第12回	内容	児童館の活動内容と事例	予習	教科書「児童館プログラム」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に活動内容をまとめる				
第13回	内容	放課後児童クラブの活動内容と事例	予習	教科書「実践事例」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に事例から学んだことをまとめる				
第14回	内容	子育て支援	予習	教科書「子育て支援」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に子育て支援の内容をまとめる				
第15回	内容	これまでのまとめ	予習	教科書・プリントの内容を整理する				
			復習	学習内容をまとめて、学習成果を振り返る				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	・小テストを行い、試験後に解答を示し、解説をおこなう。 ・提出物等について確認を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、課題（20%）、授業態度【積極的参加】（30%）※講義の中で必要に応じて小テストをおこなう。							
教科書	『児童館論』（一般財団法人 児童健全育成推進財団）							
参考文献	なし							
注意事項	児童館実習参加者は必修となる。							

科目名	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いぎき としろう 井垣 利朗
カンパリコード	SWS22105		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	児童ソーシャルワークをベースとした児童館・放課後児童クラブの活動概要、行事の企画立案法、利用者への対応、地域とのかかわり等、児童館・放課後児童クラブの業務の実際を理解する。授業の中で児童館活動事例の映像と子どもの遊びを紹介し、実践的な指導スキルが身につくことを目的とする。							
到達目標	1. 児童館・放課後児童クラブの機能と役割、活動の概要を提示することができる。 2. 地域の子育て支援のエキスパートとして、児童のソーシャルワークスキルを身につけている。 3. 子育て支援法、ボランティアの育成法等の実施方法を身につけている。 4. 現場における実践可能なプログラムの企画立案ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 2. 4 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション（児童館・放課後児童クラブの一日、年間の流れ）	予習	シラバスを読む。	復習	児童館の一日について理解をする。	
	第2回	内容	児童館の概要（児童館の歴史と設置目的、法的根拠、児童館ガイドライン等）	予習	児童館ガイドラインの第1章を読む。	復習	児童館の機能と役割を理解し整理する。	
	第3回	内容	子どもの発達と遊びの支援の実際（グループワーク）	予習	小学生の好きな遊びを調査する。	復習	子どもの発達と遊びについてまとめる。	
	第4回	内容	子どもの遊びを通じた健全育成（実技）	予習	子どもの現状を表すキーワードを調査する。	復習	子どもの遊びの効用を理解する。	
	第5回	内容	子どもの居場所づくりと保護者への子育て拠点事業	予習	児童館の活動についてレポートを作成する。	復習	居場所づくりの必要性について考える。	
	第6回	内容	ボランティアの育成と地域連携	予習	ボランティア体験の感想を整理する。	復習	ボランティアと地域連携の必要性を理解する。	
	第7回	内容	放課後児童クラブの概要（法的根拠、活動内容、育成支援の内容、放課後児童クラブ運営指針等）	予習	放課後児童クラブのレポートを作成する。	復習	放課後児童クラブ運営指針を読む。	
	第8回	内容	子育て支援を行う乳幼児活動（実技）	予習	児童館の乳幼児活動の事例を調査する。	復習	子育て支援における配慮する点を理解する。	
	第9回	内容	体験・自己実現を目指す小学生活動（グループワーク）	予習	児童館の小学生活動の事例を調査する。	復習	小学生活動の配慮する点を理解する。	
	第10回	内容	地域社会と結びつける中高生活動（グループワーク）	予習	児童館の中高生活動の事例を調査する。	復習	中高生活動の配慮する点を理解する。	
	第11回	内容	子どものニーズに基づいた行事やイベントの企画立案（グループワーク）	予習	イベント企画立案の課題を作成する。	復習	イベント企画立案の手法を整理する。	
	第12回	内容	グループ企画発表会と講評（発表）	予習	グループ企画発表の事前準備をする。	復習	イベント企画の留意点を理解する。	
	第13回	内容	児童厚生員の職務と子どもの接し方（実技）	予習	児童館ガイドライン第5章を読む。	復習	児童厚生員の職務を理解する。	
	第14回	内容	児童館・放課後児童クラブの運営（倫理、安全管理、防犯防災対策等）	予習	子どもの安全管理について考える。	復習	児童館の運営について理解する。	
	第15回	内容	まとめ（児童館・放課後児童クラブに求められる社会的課題）	予習	児童館の必要性のレポートを作成する。	復習	児童館の社会的課題と必要性を整理する。	
	予習に要する学習時間：概ね100分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（15%）、作品・発表（15%）、実技（15%）、授業態度（55%）							
教科書	「なし」毎回、資料を配布する。							
参考文献	『児童館論』（一般財団法人 児童健全育成推進財団）、『健全育成論』（一般財団法人 児童健全育成推進財団）							
注意事項	課題は、期限を厳守すること。欠席回数が、全授業の3分の1を超えた場合は評価の対象外となる。							

科 目 名	児童文化（感受性開発を含む）	単 位 数	2	授業時間数	60	担当教員	はまな なな 浜名 那奈
ナンバリングコード	CHS22114	授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）						
授 業 の 内 容	児童文化財（わらべうた、手遊び、絵本、パネルシアター、おもちゃ等）を子どもたちに手渡す保育者として、まず自らがそれらに触れることを楽しみ、感受性を磨いていってほしい。この授業では、児童文化全般にわたって知識を深め、優れた児童文化財を見抜く力を養い、それらをどのように子どもたちに手渡していくかを学ぶ。						
到 達 目 標	1. 児童文化に触れることを楽しみ、それによって自らの感受性を磨くことができる。 2. 児童文化財を制作、実演することができる。 3. 児童文化の知識を習得している。 4. 優れた児童文化財を選び取り、子どもたちに手渡すことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1,2,3,4 ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	第1回	内容	読み聞かせの経験をふり返る 手遊びを調べる（グループワーク）	予習	シラバスを読んでおく。	復習	調べた手遊びを練習する。
	第2回	内容	講義：児童文化の概念と成立	予習	児童文化の概念について調べる。	復習	児童文化の概念についてまとめる。
	第3回	内容	講義：子ども観の変遷	予習	子ども観とは何かを調べる。	復習	子ども観の歴史をまとめる。
	第4回	内容	講義：子どもの文化財①：無形の文化財	予習	無形の文化財には何があるか調べる。	復習	無形の文化財についてまとめる。
	第5回	内容	講義：子どもの文化財②：有形の文化財	予習	有形の文化財には何があるか調べる。	復習	有形の文化財についてまとめる。
	第6回	内容	ミトンくま①制作：前半（グループワーク）	予習	制作の準備をする。	復習	制作の手順を理解する。
	第7回	内容	ミトンくま②制作：後半（グループワーク）	予習	制作の手順を整理しておく。	復習	演じる練習をする。
	第8回	内容	講義：絵本とは何か	予習	絵本とは何か調べる。	復習	絵本とは何かまとめる。
	第9回	内容	講義：発達に応じた絵本の選び方	予習	自分が絵本を選ぶときの基準は何か考える。	復習	発達に応じた絵本の選び方をまとめる。
	第10回	内容	読み聞かせの実践①絵本を選ぶ（グループワーク）	予習	読み聞かせする本を練習する。	復習	練習をふり返り、自宅でも練習する。
	第11回	内容	読み聞かせの実践②絵本の読み方（グループワーク）	予習	読み聞かせする本を練習する。	復習	練習をふり返り、自宅でも練習する。
	第12回	内容	発表：絵本の読み聞かせ①	予習	発表する絵本を読んで練習する。	復習	発表のふり返りをする。
	第13回	内容	発表：絵本の読み聞かせ②	予習	発表する絵本を読んで練習する	復習	発表のふり返りをする。
	第14回	内容	発表：絵本の読み聞かせ③	予習	発表する絵本を読んで練習する。	復習	発表のふり返りをする。
	第15回	内容	パネルシアターとは何か	予習	パネルシアターについて調べる。	復習	パネルシアターについてまとめる。
	第16回	内容	パネルシアターまたはエプロンシアター制作① ：型紙をとる	予習	制作したい作品を選ぶ。	復習	制作の手順を理解する。
	第17回	内容	パネルシアターまたはエプロンシアター制作② ：Pペーパーまたは布に型取りする	予習	制作に必要なものを準備する。	復習	制作をふり返る。
	第18回	内容	パネルシアターまたはエプロンシアター制作③ ：彩色1回目、エプロンのしかけを作る	予習	制作に必要なものを準備する。	復習	制作をふり返る。
	第19回	内容	パネルシアターまたはエプロンシアター制作④ ：彩色2回目、人形を作る1回目	予習	制作に必要なものを準備する。	復習	制作をふり返る。
	第20回	内容	パネルシアターまたはエプロンシアター制作⑤ ：仕上げ、人形を作る2回目	予習	制作に必要なものを準備する。	復習	制作の見直しをする。

第 21 回	内容	パネルシアターまたはエプロンシアター練習	予習	演じ方を確認する。
			復習	リハーサルをふり返り、自宅でも練習する。
第 22 回	内容	発表：パネルシアターまたはエプロンシアター①	予習	発表の準備をする。
			復習	発表全般をふり返る。
第 23 回	内容	発表：パネルシアターまたはエプロンシアター②	予習	発表の準備をする。
			復習	発表全般をふり返る。
第 24 回	内容	発表：パネルシアターまたはエプロンシアター③	予習	発表の準備をする。
			復習	発表全般をふり返る。
第 25 回	内容	リサイクルおもちゃ制作①計画を立てる	予習	自宅にある廃材をチェックする。
			復習	制作の手順と材料、道具を確認する。
第 26 回	内容	リサイクルおもちゃ制作②制作する	予習	必要な材料と道具をそろえる。
			復習	子どもに制作指導する際の留意点を確認する。
第 27 回	内容	昔ばなしとは何か	予習	何も見ないで語れる昔話があるか試してみる。
			復習	昔ばなしを読む。
第 28 回	内容	季節の行事・遊び①調べる（グループワーク）	予習	日本の季節の行事、遊びを調べる。
			復習	日本の季節の行事、遊びをまとめる。
第 29 回	内容	季節の行事・遊び②発表（グループワーク）	予習	発表の準備をする。
			復習	発表全般をふり返る。
第 30 回	内容	まとめ	予習	これまでのノートやプリントを見返す。
			復習	この一年で何を得たか、考える。
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	小テストの解説を行い、リフレクション・ペーパーにコメントを付す。 発表に対して講評を行う。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（50%）			
教科書	『絵本から学ぶ子どもの文化』（浅木尚実編著、同文書院）			
参考文献	配布プリントで、その都度紹介する。			
注意事項	講義回には、ふり返りの小テストを行う。ミトンくま制作は、手袋人形の制作に変更する可能性がある。 毎回プリントを配布するので、収納できるよう、A4 サイズのファイルを用意すること。 制作に必要な材料を準備すること。ミトンくまキット代 1,000 円、P ペーパー800 円、画材 700～1,600 円（いずれも予定価格）の用意。			

科目名	地域活動 I		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	きたのかがや 北野・加賀谷
ナバリングコード	SWS22108		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本授業では、なぜ、ボランティア活動が必要なのか、日本に於けるボランティアの歴史及びボランティア活動を実施するうえでの注意点について学ぶ。また、グループ作業として、所沢市の現状を調べ所沢市の子育てに関する地図作りを行っていく。その上で、ボランティア実施計画を作成し、他の学生の前で発表し質疑応答をする。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティア活動について、その必要性を身に着け、かつ他者に説明できる。</li> <li>2. 自らの考えを他者に説明し理解させる技術を身に着けている。</li> <li>3. 所沢市の子育て状況を理解している。</li> <li>4. 地域のボランティアに対するニーズを理解して、自身もボランティア活動を行う事ができる。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 2, 3, 5 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	説明を整理する			
	第2回	内容	現在の日本の社会を知り、なぜボランティア活動が必要かについて学ぶ。(1)	予習	日ごろから新聞を丹念に読み、社会の動きなど問題意識を養うこと。			
				復習	授業で学んだ内容について、よく理解できなかった点をノートに記述し、次回の授業で質問をする。			
	第3回	内容	現在の日本の社会を知り、なぜボランティア活動が必要かについて学ぶ。(2)	予習	日ごろから新聞を丹念に読み、社会の動きなど問題意識を養うこと。			
				復習	授業で学んだ内容について、よく理解できなかった点をノートに記述し、次回の授業で質問をする。			
	第4回	内容	日本におけるボランティア活動の歴史を学ぶ。	予習	最近の新聞からボランティア活動の例をピックアップし、その行動背景について理解しておく。			
				復習	授業で学んだ内容について、よく理解できなかった点をノートに記述し、次回の授業で質問をする。			
	第5回	内容	海外におけるボランティア活動の歴史を学ぶ。	予習	最近の新聞からボランティア活動の例をピックアップし、その行動背景について理解しておく。			
				復習	授業で学んだ内容について、よく理解できなかった点をノートに記述し、次回の授業で質問をする。			
	第6回	内容	ボランティア活動全般及び災害ボランティア、環境ボランティアなど種々のボランティア活動において注意すべき点を学ぶ。(1)	予習	最近の新聞からボランティア活動の例をピックアップし、その行動背景について理解しておく。			
				復習	授業で学んだ内容について、よく理解できなかった点をノートに記述し、次回の授業で質問をする。			
	第7回	内容	ボランティア活動全般及び災害ボランティア、環境ボランティアなど種々のボランティア活動において注意すべき点を学ぶ。(2)	予習	最近の新聞からボランティア活動の例をピックアップし、その行動背景について理解しておく。			
				復習	授業で学んだ内容について、よく理解できなかった点をノートに記述し、次回の授業で質問をする。			
	第8回	内容	グループディスカッション：ボランティアはなぜ必要なのか	予習	前回までの話の整理			
				復習	ディスカッションの内容を整理する。			
第9回	内容	レポート作成	予習	レポート作成に必要な資料を探しておく				
			復習	レポートを見直す				
第10回	内容	所沢市を理解する①説明	予習	所沢市のHPを閲覧しておく				
			復習	授業で学んだ内容について、よく理解できなかった点をノートに記述し、次回の授業で質問をする。				
第11回	内容	所沢市を理解する②実地見学	予習	見学場所を調べる				
			復習	気づいた事をメモしておく				
第12回	内容	所沢市を理解する③所沢市に必要なボランティアを考える	予習	ディスカッションに必要な資料を探しておく				
			復習	ディスカッションの内容を整理する				
第13回	内容	所沢市の地図作り①	予習	作業についてイメージする				
			復習	作業の足りないところを進める				
第14回	内容	所沢市の地図作り②	予習	作業の足りないところを進める				
			復習	作業の足りないところを進める				
第15回	内容	夏休み中の活動について	予習	日ごろから新聞を丹念に読み、社会の動きなど問題意識を養うこと				
			復習	授業で学んだ内容について、よく理解できなかった点をノートに記述し、次回の授業で質問をする				
第16回	内容	課題説明	予習	日ごろから新聞を丹念に読み、社会の動きなど問題意識を養うこと				

			復習	授業で学んだ内容について、よく理解できなかった点をノートに記述し、次回の授業で質問をする
第17回	内容	ボランティア実施計画の発表（1/3） 発表内容について他のグループとの質疑	予習	決められた時間内で発表できるよう練習をすること
			復習	他のグループからの意見をもとに計画の修正をする
第18回	内容	ボランティア実施計画の発表（2/3） 発表内容について他のグループとの質疑	予習	決められた時間内で発表できるよう練習をすること
			復習	他のグループからの意見をもとに計画の修正をする
第19回	内容	ボランティア実施計画の発表（3/3） 発表内容について他のグループとの質疑	予習	決められた時間内で発表できるよう練習をすること
			復習	他のグループからの意見をもとに計画の修正をする
第20回	内容	大規模ボランティア活動のための事前指導（1）	予習	大規模ボランティア〔所沢市民フェスティバル（予定）〕について概要を調べておく
			復習	配布資料等を通して当日の各自の役割を確認する
第21回	内容	大規模ボランティア活動への参加（1）： 所沢市民フェスティバル（予定）など	予習	配布資料等を通してイベント当日の各自の役割を再度確認し、必要な準備を行う
			復習	イベント当日の各自の活動内容を記録する
第22回	内容	大規模ボランティア活動に係る事後指導（1）	予習	イベント当日の各自の活動内容を振り返る
			復習	各自の活動報告を作成する
第23回	内容	駅ボランティア体験講習会（学内にて実施予定）	予習	配布された資料等に目を通して活動内容の概要を把握しておく
			復習	当日の活動報告を作成する
第24回	内容	大規模ボランティア活動のための事前指導（2）	予習	大規模ボランティア〔所沢市民フェスティバル（予定）〕について概要を調べておく
			復習	配布資料等を通して当日の各自の役割を確認する
第25回	内容	大規模ボランティア活動への参加（2）： サンタをさがせ！（予定）など	予習	配布資料等を通してイベント当日の各自の役割を再度確認し、必要な準備を行う
			復習	イベント当日の各自の活動内容を記録する
第26回	内容	大規模ボランティア活動に係る事後指導（2）	予習	イベント当日の各自の活動内容を振り返る
			復習	各自の活動報告を作成する
第27回	内容	ボランティア活動に係るまとめ（1/3）： 活動報告レポートの作成	予習	今年度全般の活動内容を振り返る
			復習	今年度全般の各自の活動報告を作成する
第28回	内容	ボランティア活動に係るまとめ（2/3）： 活動報告の発表[1/2]	予習	決められた時間内で発表できるよう練習をすること
			復習	他のグループからの発表をもとに必要な修正をする
第29回	内容	ボランティア活動に係るまとめ（3/3）： 活動報告の発表[2/2]	予習	決められた時間内で発表できるよう練習をすること
			復習	他のグループからの発表をもとに必要な修正をする
第30回	内容	まとめ	予習	今年度全般の各自のボランティア活動の内容を振り返る
			復習	次年度の各自のボランティア活動へ向けた心構えを確認する
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。				
課題へのフィードバック	Google Classroom上でコメントをつけていく。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（70%）、授業態度【積極的参加】（30%）			
教科書	必要に応じて随時紹介する。			
参考文献				
注意事項	アクティブラーニングとするため、2～7回の講義では小テストを行い、次週返却する。授業中に与えられる質問についての正解者には1点加点する。意見や考え方を求められたとき、論理だった意見や考え方を述べた場合も1点加点する。			

科目名	地域活動Ⅱ		単位数	2	授業時間数	60	担当教員 かがや たかふみ 加賀谷 崇文
ナバリングコード	SWS22213		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	(対面)・遠隔・その他( )						
授業の内容	<p>「地域活動Ⅱ」は「地域活動Ⅰ」での学びと実践を基礎にして第2年次に行うものであるが、昨年度は新型コロナウイルスの関係で学外での活動が行えなかった。そのため今年度は変則的な方法で行っていく事になる。具体的には、グループに分かれて所沢市と自分の住んで居る地域における子育て関連施設についての調査を行い、そこで必要とされているボランティアについて考察を行っていく。また、事態の収束が期待される後期は所沢地域を中心にボランティア活動を行っていく。また、それと並行して SNS を利用したボランティア活動も行う。</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の状況により本演習内容等は変更されることがある。</p>						
到達目標	<p>1. 「地域のニーズにあった支援をする」保育者を目指し、地域の子育ての実態を理解する。</p> <p>2. 地域の子育てのニーズを学ぶ。</p> <p>3. 活動に関わる、あるいは参加する大人との交流による経験と学びを積むことができる。</p> <p>4. 活動を通して、課題を発見し考察を行える力を養成できる。</p>						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科( 2,3,5 ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとグループ分け	予習	ニュースや新聞を通して、社会の動きなど問題意識を養うこと。		
				復習	授業内容を理解する。		
	第2回	内容	課題説明と SNS を利用したボランティアの説明	予習	自分居住地区の自治体 HP を閲覧する。		
				復習	授業で学んだ内容について理解し、不明な点は次の授業で質問をする。		
	第3回	内容	地域に関する個人作業	予習	地域について理解しておく。		
				復習	個人作業を終わらせる。		
	第4回	内容	グループディスカッション	予習	所沢市について理解しておく。		
				復習	グループディスカッションの整理		
	第5回	内容	資料集め・・・SNS 活動の開始	予習	今回の授業テーマについて調べ、考えておく。		
				復習	授業で学んだ内容について理解し、不明な点は次の授業で質問をする。		
	第6回	内容	グループ発表の準備	予習	今回の授業テーマについて理解し、考えをまとめておく。		
				復習	授業で学んだ内容について理解し、自分の発表に生かすことを考える。		
	第7回	内容	グループ発表とディスカッション1 (持ち時間は約20分)	予習	今回の授業テーマについて理解し、考えをまとめておく。		
				復習	他者の発表で学んだ内容について理解し、自身の地域貢献に生かすことを考える。		
	第8回	内容	全受講生による個人発表とディスカッション2	予習	今回の授業テーマについて理解し、考えをまとめておく。		
				復習	他者の発表で学んだ内容について理解し、自身の地域貢献に生かすことを考える。		
第9回	内容	全受講生による個人発表とディスカッション3	予習	今回の授業テーマについて理解し、考えをまとめておく。			
			復習	他者の発表で学んだ内容について理解し、自身の地域貢献に生かすことを考える。			
第10回	内容	発表内容をもとにした活動に関する説明	予習	今回の授業テーマについて理解し、考えをまとめておく。			
			復習	授業内容の理解を図り、グループ内での他者との協力関係を育む。			
第11回	内容	グループ作業	予習	今回の授業テーマについて理解し、考えをまとめておく。			
			復習	授業内容の理解を図り、グループ内での他者との協力関係を育む。			
第12回	内容	グループ活動①	予習	今回の授業テーマについて理解し、考えをまとめておく。			
			復習	他者の発表で学んだ内容について理解し、自身の地域貢献に生かすことを考える。			
第13回	内容	グループ活動②	予習	今回の授業テーマについて理解し、考えをまとめておく。			
			復習	他者の発表で学んだ内容について理解し、自身の地域貢献に生かすことを考える。			
第14回	内容	グループ活動③	予習	今回の授業テーマについて理解し、考えをまとめておく。			
			復習	他者の発表で学んだ内容について理解し、自身の地域貢献に生かすことを考える。			
第15回	内容	まとめ	予習	前期で学んだことを復習しておく。			
			復習	前期活動の見直し			
第16回	内容	[後期開始]	予習	前期の復習と課題提出準備。			

		オリエンテーション	復習	授業内容を理解しておく。
第17回	内容	事前指導①(提出書類の書き方や活動先調べの方法等)	予習	活動先の種類、内容等について事前に調べ理解しておく。
			復習	授業内容をしっかり理解する
第18回	内容	外部講演	予習	講演者の活動についての事前調べ。
			復習	学びの整理とレポート作成。
第19回	内容	外部講演	予習	講演者の活動先の事前調べ。
			復習	学びの整理とレポート作成。
第20回	内容	活動先スタッフ(企画者等)の話①(企画意図、内容、活動学生へのメッセージ等と質疑応答)	予習	講演者の活動についての事前調べ。
			復習	学びの整理とレポート作成。
第21回	内容	活動先スタッフ(企画者等)の話②	予習	講演者の活動についての事前調べ。
			復習	学びの整理とレポート作成。
第22回	内容	事前指導：活動先と活動内容についての事前調べと書類準備。(所沢市市民フェスティバル、サンタを探せ、児童館等)	予習	改めて活動先意義等について確認する。
			復習	最終チェックをおこなう。
第23回	内容	実際の活動	予習	活動先への理解と体調面を含めた準備を整えておく。
			復習	実際の活動での反省等をする。
第24回	内容	実際の活動	予習	活動先への理解と体調面を含めた準備を整えておく。
			復習	実際の活動での反省等をする。
第25回	内容	実際の活動	予習	活動先への理解と体調面を含めた準備を整えておく。
			復習	実際の活動での反省等をする。
第26回	内容	事後指導：活動レポートの作成指導	予習	実際の活動で内容を整理しておく。
			復習	レポートの作成。
第27回	内容	各グループによる発表会①：発表と質疑応答	予習	発表準備と聴く姿勢を整える。
			復習	他者からの学びを整理する。
第28回	内容	各グループによる発表会②：発表と質疑応答	予習	発表準備と聴く姿勢を整える。
			復習	他者からの学びを整理する。
第29回	内容	まとめレポートの作成①：社会貢献とは何か/これまでの活動を今後どのように生かすか等	予習	課題の内容を理解し、吟味する。
			復習	より深い考察を丁寧におこないレポートを作成する。
第30回	内容	まとめレポートの作成②と将来に向けて	予習	課題の内容を理解し、吟味する。
			復習	より深い考察を丁寧におこないレポートを作成する。
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。				
課題へのフィードバック	レポートや発表について講評を行う。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施しない 成績評価の方法：レポート・課題（70%）、授業態度【積極的参加】（30%）			
教科書	特に指定しない。			
参考文献	授業内で随時紹介する。			
注意事項	この科目は、地域保育学科の必修科目である。 ボランティア活動の実施および内容については、諸事情により変更される場合がある。 ボランティア活動の参加に当たっては、ボランティア活動依頼事業体関係者とのハウレンソウ（報告・連絡・相談）に留意すること。 また、活動にはGoogle Classroomを用いたアクティブラーニングが前提となるので通信量などに注意する事。			

科目名	インターンシップ I		単位数	2	授業時間数	90	担当教員	はしもと ようこ 橋本 洋子
ナバリングコード	SWS22107		授業形態	実習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	インターンシップ（就業体験）は学外実習のひとつであり、様々な分野の企業等の就業体験を通して職業理解を深め、広い視野をもつことができる。この授業は夏季および春季の長期休業期間等を利用して実施されるインターンシップ実習、および事前事後指導からなる。実務体験を通して、自身の職業適性、社会人に求められる基礎学力、キャリア形成を考える絶好の機会である。							
到達目標	1. 授業を通して社会人として必要な教養、ビジネスマナーを習得している。 2. 授業体験を通して仕事への責任感を持つことができる。 3. 就業体験を通して自己の課題に気づき自主的に行動することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（1・②・③・4・⑤） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス① インターンシップ実習の意義と概要	予習	インターンシップとは何か考える	復習	インターンシップの意義を理解する	
	第2回	内容	ガイダンス② インターンシップ報告会 (前回実習参加学生の体験発表)	予習	インターンシップで学ぶ内容を考える	復習	先輩等の体験報告をまとめる	
	第3回	内容	インターンシップへの心構え(グループワーク) 受入事業体の職種・業務内容の理解	予習	事業体の職種、仕事内容を調べておく	復習	希望する実習先について調べる	
	第4回	内容	インターンシップ実習への申込手続き 事業体の選定・実習申込書の作成	予習	実習で学びたいことを考える	復習	必要書類をまとめ提出する	
	第5回	内容	学内選考(書類提出・面談)	予習	選定した実習先について調べる	復習	書類を精読する	
	第6回	内容	実習先の決定、書類の配布	予習	実習先の職務内容を理解する	復習	必要書類に記入する	
	第7回	内容	事前指導① 実習の目的、目標設定、手続き	予習	実習の目標を考える	復習	調査書の下書きをする	
	第8回	内容	事前指導② 調査書、承諾書等書類の作成および提出	予習	必要書類を揃える	復習	必要書類を確認する	
	第9回	内容	事前指導③ グループワーク 社会人としての基本マナーを学ぶ	予習	テキスト、配布資料を精読する	復習	テキストを読み返す	
	第10回	内容	事前指導④ グループワーク オリエンテーションについて 日誌の書き方	予習	オリエンテーションの意義を考える	復習	実習先への連絡方法を確認する	
	第11回	内容	事前指導⑤ グループディスカッション 実習中の注意事項	予習	日誌の必要箇所を記入する	復習	実習に必要な書類を確認する	
	第12回	内容	就業体験(現場での実務体験) 5~14日 (事業体によって実習時期・期間は異なる)	予習	実習先からの注意事項を確認する	復習	学んだことを日誌に記録する	
	第13回	内容	事後指導① 記録の提出、報告書の作成・提出	予習	実習を振り返り報告書にまとめる	復習	報告会の準備をする	
	第14回	内容	事後指導② 面談、実習報告会の準備	予習	学んだことをまとめておく	復習	面談を通して学びを振り返る	
	第15回	内容	事後指導③ インターンシップ報告会(発表)	予習	発表の準備をする	復習	インターンシップで学んだことを確認する	
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題について毎授業で確認し説明する。事後指導にて講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 実習・記録（60%）、課題・ディスカッション（20%）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	『新編 ワークで学ぶ インターンシップ・リテラシー』（長谷川文代 編、西文社）必要に応じて紹介する							
参考文献	必要に応じて紹介する							
注意事項	インターンシップは保育実習では体験できない一般企業をはじめ様々な事業体での就業体験である。積極的にチャレンジして欲しい。ただし、以下の注意事項を厳守すること。事業体によって実習の時期および期間が異なるため、詳細は授業内で説明							

する。

1. 学外でのインターンシップ実習にはこの授業を履修、出席することが条件である。
2. 実習に必要な手続きをはじめ事前・事後指導を行うので授業の無断欠席は派遣を中止する場合もある。
3. 実習の派遣は、書類の提出および面談の上、決定する。
4. 履修態度、必要書類の提出等に問題がある場合は履修を取り止めることもある。

科目名	インターンシップⅡ		単位数	2	授業時間数	90	担当教員	はしもと ようこ 橋本 洋子
ナバリングコード	SWS22212		授業形態	実習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	この授業は、「インターンシップⅠ」修了学生のみ履修することができる、様々な分野の企業等での就業体験である。夏季および春季休暇を利用して実施する。「インターンシップⅠ」実習内容を振り返るとともに、社会人として必要なマナーや責任感を習得することを目標とする。実際の体験を通して、自らの視野を広げるだけでなく、課題に直面した際の解決能力やコミュニケーション能力の向上をはかる貴重な体験となる							
到達目標	1. 就業体験を通して社会人に求められるマナーと責任感を身につけている。 2. 就業体験を通して主体的に学び、自己の資質向上に取り組むことができる。 3. 就業体験を通して自らのキャリアプランやライフプランを考えることができる。 4. 就業体験を報告書としてまとめ発表、および質疑応答に適切に対応する力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（1・②・③・4・⑤）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション インターンシップⅠを振り返る	予習	インターンシップⅠでの学びを振り返る			
				復習	インターンシップⅠでの課題を明確にする			
	第2回	内容	報告会の準備（グループディスカッション）	予習	発表の準備をする			
				復習	発表内容をまとめる			
	第3回	内容	報告会での発表	予習	発表内容を確認する			
				復習	希望する実習先について調べる			
	第4回	内容	インターンシップ実習への申し込み手続き 事業体の選定、実習申込書の作成	予習	実習の目的を明確にする			
				復習	実習申込書を確認する			
	第5回	内容	学内選考（書類提出・面談）	予習	実習申込内容を確認し、面談の準備をする			
				復習	書類を精読する			
	第6回	内容	実習先の決定 書類の作成（調査書、約書など）	予習	意義を考える			
				復習	書類の下書きをする			
	第7回	内容	事前指導① 実習の目的、目標設定、実習先について調べる	予習	目標を設定する			
				復習	目標に沿って書類を作成する			
	第8回	内容	事前指導② 書類の提出	予習	提出書類を準備する			
				復習	配布資料を精読する			
第9回	内容	事前指導③ グループワーク 社会人としてのマナーの確認	予習	配布資料を確認する				
			復習	配布資料、課題を読みかえり理解する				
第10回	内容	事前指導④ グループディスカッション オリエンテーションについて、日誌の書き方	予習	インターンシップⅠの日誌を準備する				
			復習	オリエンテーションと日誌の意義を考える				
第11回	内容	事前指導⑤ グループディスカッション 実習中の注意事項、オリエンテーション報告書の提出	予習	配布資料を精読する				
			復習	実習中の注意事項を確認する				
第12回	内容	就業体験（現場での実務体験）5～14日 （事業体によって実習時期・期間は異なる）	予習	実習先からの注意事項を確認する				
			復習	体験、学びを日誌に記録し考察する				
第13回	内容	事後指導① 記録、報告書の作成	予習	記録を整理する・実習日誌の提出				
			復習	報告会の準備をする				
第14回	内容	事後指導② 面談、報告書の提出	予習	記録、報告書をまとめる				
			復習	面談を通して学びを振り返る				
第15回	内容	事後指導③ 報告会（発表）	予習	発表の準備をする				
			復習	インターンシップで学んだことを確認する				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題について毎授業で確認し説明する。事後指導にて講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：実習・記録（60%）、課題・ディスカッション（20%）、授業態度【積極的参加】（20%）							
教科書	『新編 ワークで学ぶ インターンシップ・リテラシー』（長谷川文代 編、西文社）必要に応じて紹介する							
参考文献	必要に応じて紹介する							
注意事項	インターンシップⅡは保育実習では体験できない一般企業をはじめ様々な事業体での2度目の就業体験となる。インターンシ							

	<p>ップ I の学びを通して、自己の課題と向き合い、社会人として必要なマナーや実務、コミュニケーション力のスキルアップを目指して欲しい。事業体によって実習の時期および期間が異なるため、詳細は授業内で説明する。この授業を履修し、出席することが条件であり、実習に必要な手続きをはじめ事前・事後指導を行う。</p>
--	---

科目名	レクリエーション論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	しんど のぶゆき 新戸 信之
ナンバリングコード	HES22101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	楽しみを持って行う全ての活動は「レクリエーション」であり、決して特別な活動を指す言葉ではない。しかし、他者を楽しませる為には特別なスキルが必要となる。 本講義では楽しむことの必要性を理解するとともに、楽しませるために必要な知識を習得する。							
到達目標	1. 「レクリエーション」とは即ち“笑顔を作ること”であり、特別な活動ではないことを理解している。 2. 効率良く、効果的にプログラムを展開する方法について理解している。 3. 内発的な動機付けにより活動を促す原理について理解している。 4. 簡単なイベントを企画立案することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1,3 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション			予習	シラバスの確認 「自由」とは何か考える	
			自由とレクリエーション			復習	「レクリエーション」とは何か考える	
	第2回	内容	レクリエーションの意義			予習	「レクリエーション」の必要性を考える	
			伝統・文化の中の“レクリエーション”			復習	授業の内容を整理してまとめる	
	第3回	内容	レクリエーション運動の展開			予習	レクリエーションが広がった理由を考える	
						復習	授業の内容を整理してまとめる	
	第4回	内容	領域別レクリエーション			予習	レクリエーションはどのような場所で行われているか考える。	
						復習	授業の内容を整理してまとめる	
	第5回	内容	ライフスタイルとレクリエーション			予習	どのような人がどのようなレクリエーション活動を行っているか考える	
						復習	授業の内容を整理してまとめる	
	第6回	内容	レクリエーション支援の構造と役割			予習	レクリエーション支援は誰が誰にどのようにして行われているか考える	
						復習	授業の内容を整理してまとめる	
	第7回	内容	健康スポーツとレクリエーション			予習	健康・スポーツとレクリエーションとの関係を考える	
						復習	授業の内容を整理してまとめる	
	第8回	内容	レクリエーションの価値とニーズ			予習	レクリエーション活動のニーズとその価値について考える	
			財の分類			復習	授業の内容を整理してまとめる	
第9回	内容	レクリエーション行動のメカニズム			予習	人はなぜレクリエーション活動をするのか？を考える		
					復習	授業の内容を整理してまとめる		
第10回	内容	集団づくりとコミュニケーション			予習	人が集う理由を考える		
		グループワーク			復習	授業の内容を整理してまとめる		
第11回	内容	ホスピタリティ			予習	ホスピタリティについて検索する		
		グループワーク			復習	授業の内容を整理してまとめる		
第12回	内容	レクリエーション事業の展開			予習	「運動会」というプロジェクトの全体像をイメージする		
					復習	授業の内容を整理してまとめる		
第13回	内容	イベントチラシの作成方法			予習	折り込みチラシやイベントポスターの内容を見ておく		
		グループワーク			復習	授業の内容を整理してまとめる		
第14回	内容	支援プログラム案の作成方法			予習	責任実習で担当してみたい内容をイメージする		
		支援プログラム評価の視点			復習	授業の内容を整理してまとめる		
第15回	内容	まとめ			予習	半期の授業内容をふりかえる		
					復習	シラバスの確認 「自由」とは何か考える		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業中に行う小テストの解説							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／(o)しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（40%）							
教科書	『楽しさをとおした心の元気づくり～レクリエーション支援の理論と方法～』（日本レクリエーション協会）							
参考文献	なし							
注意事項	なし							

科目名	レクリエーション実技		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	しんど のぶゆき 新戸 信之
ナンバリングコード	HES22102		授業形態	実技	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	前期は、コミュニケーションゲームをはじめ、工作、スポーツ、手遊び、パズル、伝承遊びなど、様々なレク財に親しむ。 後期は、日時・場所・対象など、現場に即した状況設定でロールプレイをすることにより、余裕を持って各実習に臨み得るスキルを身につけることを目的とする。							
到達目標	1. 事前情報に即した支援プログラムを作成することができる。 2. 支援現場の状況に応じた対応ができる。 3. 他者の指導を的確に評価することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 1,2,5 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション コミュニケーション・ワーク（個人→グループ）			予習		
						復習		
	第2回	内容	動的グループ・ゲーム			予習		
						復習		
	第3回	内容	グループ・ワーク・トレーニング ※グループワーク			予習		
						復習		
	第4回	内容	自然で遊ぶ			予習		
						復習		
	第5回	内容	スマートフォンを利用して遊ぶ① 「SNS フォトコンテスト」			予習		
						復習		
	第6回	内容	身近な物を利用して遊ぶ：「新聞紙」			予習		
						復習		
	第7回	内容	知的レク			予習		
						復習		
	第8回	内容	創造的レク 絵画「絵手紙」			予習		
						復習		
	第9回	内容	創造的レク 造形「紙粘土細工」			予習		
						復習		
	第10回	内容	黒板アート ※グループワーク			予習		
						復習		
第11回	内容	スマートフォンを利用して遊ぶ② 「フォトラリー」			予習			
					復習			
第12回	内容	PCを使ってイラストを描く①（ペイント系）			予習			
					復習			
第13回	内容	PCを使ってイラストを描く②（ドロー系）			予習			
					復習			
第14回	内容	新しい遊びの創作			予習			
					復習			
第15回	内容	レクリエーションプログラム案の作成①			予習			
					復習			
第16回	内容	レクリエーションプログラム案の作成②			予習			
					復習			
第17回	内容	“支援プログラム評価の視点について” 携帯メールによる他者評価の方法について”			予習			
					復習			
第18回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表の準備・リハーサル			予習			
					復習			
第19回	内容	コミュニケーションスキル・トレーニング			予習			
					復習			
第20回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループA 発表、相互評価			予習			
					復習			

	第 21 回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループB 発表、相互評価	予習	
				復習	
	第 22 回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループC 発表、相互評価	予習	
				復習	
	第 23 回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループD 発表、相互評価	予習	
				復習	
	第 24 回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループE 発表、相互評価	予習	
				復習	
	第 25 回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループF 発表、相互評価	予習	
				復習	
	第 26 回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループG 発表、相互評価	予習	
				復習	
	第 27 回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループH 発表、相互評価	予習	
				復習	
	第 28 回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループI 発表、相互評価	予習	
				復習	
	第 29 回	内容	ロールプレイによるレクリエーション支援発表：グループJ 発表、相互評価	予習	
				復習	
	第 30 回	内容	まとめ	予習	
				復習	
予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	前期：授業の最後に指導上のポイントや留意点を伝える。 後期：支援発表後にアドバイスをする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（20%）、作品・発表（50%）、実技（10%）、授業態度（20%）				
教科書	必要に応じて資料を配布				
参考文献	『楽しさをおとした心の元気づくり』（日本レクリエーション教会、日本レクリエーション教会）		『ミックスじゅーちゅ（子どもの遊びポータルサイト）』（ <a href="https://45mix.net/">https://45mix.net/</a> ）		
注意事項	作品（画像）の提出や、小テスト、後期の他者評価についてはスマートフォンと Google Classroom (LMS) を利用します。				

科目名	保育・教職実践演習(幼稚園)	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	はせがわ とねがわ はまな 長谷川・利根川・浜名
カンパリコード	EDU22206	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	将来の教員像を描けるように、教職の意義を実践的な演習体験を通して学び直し、自己の課題を自覚し、教職生活が円滑にスタートできるようにする。主に①使命感や責任感、教育的愛情に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児理解や学級経営に関する事項、④教科・保育内容に関する事項といった4つの具体的なテーマを中心に履修する。						
到達目標	1. 演習体験を通して、教職生活についての具体的なイメージができています。 2. 他の学生とのディスカッションなどを通じて、視野を広げて子どもとのかかわりを捉えられている。 3. ポスター発表などを通じて、今日的課題を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(2.4.5) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション(履修カルテの記入)	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。		
				復習	授業の評価方法や注意事項を確認する。		
	第2回	内容	子どもの権利に関する条約① 「知る」・「読む」・「使いこなす」	予習	子どもの権利条約の経緯を調べる。		
				復習	子どもの権利条約の条文に目を通す。		
	第3回	内容	子どもの権利に関する条約② 子どもに伝わる俳句を作る【グループワーク、発表】	予習	注目したい子どもの権利条約を3つ挙げる。		
				復習	他グループの発表を聞き、意見をまとめる。		
	第4回	内容	子どもの権利に関する条約③ 実習体験に基づき事例を作成する(ポスター)	予習	実習体験に基づき事例を考えてくる。		
				復習	事例と子どもの権利条約とのつながりが説明できているかを見直す。		
	第5回	内容	子どもの権利に関する条約④ 【ポスター発表、前半】	予習	発表の練習をする		
				復習	発表を聞き、意見をまとめる		
	第6回	内容	子どもの権利に関する条約⑤ 【ポスター発表、後半】	予習	発表の練習をする		
				復習	発表を聞き、意見をまとめる		
	第7回	内容	保育の質を考える① 保育事故、映像から学ぶ	予習	どのような保育事故があるのか調べる。		
				復習	保育事故について意見をまとめる。		
	第8回	内容	保育の質を考える② 子どものケガ・事故への対応と安全管理【グループワーク】	予習	子どものケガが起こる場面・場所を考える。		
				復習	子どものケガが起こる場面・場所を整理する。		
	第9回	内容	保育の質を考える③ 子どものケガ・事故への対応と安全管理【発表】	予習	発表の準備をする。		
				復習	発表を聞き、意見をまとめる。		
	第10回	内容	現職の先生による講座	予習	講座内容について配布されたプリントを読む。		
				復習	講座の内容をまとめる。		
	第11回	内容	保育と教材研究①教材研究とは	予習	これまでの実習で触れる機会があった教材を思い出す。		
				復習	学んだ内容を整理する。		
	第12回	内容	保育と教材研究③ 題材を探す	予習	教材研究に取り組む題材を探す。		
				復習	調べた文献を読み、整理する。		
	第13回	内容	保育と教材研究④ 教材研究に取り組む	予習	発表する内容を考える。		
				復習	発表内容を振り返り、追加する内容を考える。		
	第14回	内容	保育と教材研究⑤ 【発表】	予習	発表の練習をする。		
				復習	発表を聞き、意見をまとめる。		
	第15回	内容	授業全体のまとめと振り返り	予習	職業生活のあり方について意見をまとめる。		
				復習	授業で学んだことを整理する。		
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。							
課題へのフィードバック	・話し合いの内容および方向性について助言する。また、発表の内容についてコメントする。 ・Google クラウドルームを用いて課題や小テストのフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(60%)、発表(30%)、授業態度【意欲】(10%)						
教科書	なし						
参考文献	授業において適宜紹介する。						
注意事項							

科目名	保育所実習 I	単位数	2	授業時間数	90	担当教員	はせがわ きょうこ 長谷川 恭子
ナンバリングコード	CHS22104	授業形態	実習	実務経験	有		
授業の内容	<p>保育所実習 I は、保育所実習のうち前期実習にあたり、実習の段階としては「見学・観察実習」となる。前期実習では、保育所の役割と機能を理解する、子どもの発達や援助への理解を深める、保育内容や環境への理解を深める、保育の計画や記録・省察による保育の実際への理解を深めるといった内容を中心に学ぶ。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの生活や遊び、発達過程を理解している。</li> <li>2. 保育内容や保育環境を理解している。</li> <li>3. 記録に基づく省察や自己評価ができています。</li> <li>4. 実習を通して、保育の意義や保育者の役割を理解している。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（2.4.5） 文化表現学科（ ）						
授業計画	<p>前期保育所実習は、原則として第2学年の2月に実施する（2週間）。</p> <p>見学・観察実習の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の役割と機能             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育所の生活と一日の流れ</li> <li>(2) 保育所保育指針の理解と保育の展開</li> </ol> </li> <li>2. 子ども理解             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの観察とその記録による理解</li> <li>(2) 子どもの発達過程の理解</li> <li>(3) 子どもへの援助やかかわり</li> </ol> </li> <li>3. 保育内容・保育環境             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育の計画に基づく保育内容</li> <li>(2) 子どもの発達過程に応じた保育内容</li> <li>(3) 子どもの生活や遊びと保育環境</li> <li>(4) 子どもの健康と安全</li> </ol> </li> <li>4. 保育の計画、観察、記録             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育課程と指導計画の理解と活用</li> <li>(2) 記録に基づく省察・自己評価</li> </ol> </li> <li>5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育士の業務内容</li> <li>(2) 職員間の役割分担や連携</li> <li>(3) 保育士の役割と職業倫理</li> </ol> </li> </ol>						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： 実習園による評価（60%）、実習日誌（30%）、課題（10%）、実技（ ）%、授業態度【 】（ ）%</p>						
教科書	『実習の手引き』						
参考文献	授業において適宜紹介する。						
注意事項	<p>実習に参加する学生は、心身ともに健康であり、学内における教科の履修状況・出席・学習態度が良好であること。常に自分自身を見つめ直し、保育者になるための努力を続けることが求められる。</p>						

科 目 名	施設実習	単 位 数	2	授業時間数	90	担当教員	あきやま ひろこ 秋 山 展子
ナンバリングコード	SWS22204	授業形態	実習	実務経験	有		
授 業 の 内 容	施設実習は、保育所以外の児童福祉施設と知的障がい者施設で行われる実習である。本学の主な実習施設として、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設、知的障がい者支援施設などがある。原則として、11日間施設に宿泊又は通勤し、利用者と生活をともにしながら実習を行う。						
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前準備をしっかりと行い、実習施設について理解している。</li> <li>2. 利用者一人一人への適切な支援のあり方を習得している。</li> <li>3. 施設の機能を理解している。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 5 ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設の一日の生活の流れを知る。</li> <li>・保育者の一日の職務を知る。</li> <li>・利用者の一日の過ごし方や活動内容を学ぶ。</li> <li>・自由時間の過ごし方やレクリエーションについて学ぶ。</li> <li>・衣食住に関する支援の実際や配慮事項について学ぶ。</li> <li>・日中活動における支援のあり方について学ぶ。</li> <li>・福祉施設における保育者の役割について学ぶ。</li> <li>・福祉施設内のチームワークのあり方について学ぶ。</li> <li>・施設の機能について多様な視点から学ぶ。</li> <li>・福祉事務所、児童相談所など他機関との連携について学ぶ。</li> <li>・利用者や施設について総合的に学び、実習を振り返る。</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上11日間の学外実習をする。</p>						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： 実習施設の評価（50%）、実習記録（30%）、実習課題（20%）</p>						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	なし						

科目名	保育所実習Ⅱ	単位数	2	授業時間数	90	担当教員	はせがわ きょうこ 長谷川 恭子
ナンバリングコード	CHS22205	授業形態	実習	実務経験	有		
授業の内容	<p>保育所実習Ⅱは、保育所実習Ⅰでの学びを踏まえ、保育者として必要な資質・能力・技術を習得すること、さらには子どもの保育及び保護者・家庭への支援について総合的に学ぶ。実習の段階としては「参加・責任実習」であり、子どもの生活や発達へのかかわりを更に深め、保育者として職務内容や職業倫理についても理解を深めることが必要である。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの生活や発達、保育者の役割を理解している。</li> <li>2. 子どもの生活や発達に即した指導計画の作成方法を身につけている。</li> <li>3. 子どもの生活や発達に即し、指導計画に基づいて保育実践を行うことができる。</li> <li>4. 実習の省察・評価から保育の過程を理解することができる。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（2.3.5） 文化表現学科（ ）						
授業計画	<p>後期保育所実習は、原則として第3学年の9月（2週間）に実施する。</p> <p>参加・責任実習の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の役割や機能の具体的展開             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 養護と教育が一体となって行われる保育</li> <li>(2) 保育所の社会的役割と責任</li> </ol> </li> <li>2. 観察に基づく保育理解             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの心身の状態や活動の観察</li> <li>(2) 保育者の動きや実践の観察</li> <li>(3) 保育所の生活の流れや展開の把握</li> </ol> </li> <li>3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会などとの連携             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解</li> <li>(2) 入所している子どもの保護者支援と地域の子育て家庭への支援</li> <li>(3) 地域社会との連携</li> </ol> </li> <li>4. 指導計画の作成、実践、観察、記録、評価             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育課程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解</li> <li>(2) 作成した指導計画に基づく保育実践と評価</li> </ol> </li> <li>5. 保育士の業務と職業倫理             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 多様な保育の展開と保育士の業務</li> <li>(2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理</li> </ol> </li> <li>6. 自己の課題の明確化</li> </ol>						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： 実習園による評価（60%）、実習日誌（30%）、課題（10%）、実技（ ）%、授業態度【 】（ ）%</p>						
教科書	『実習の手引き』						
参考文献	授業において適宜紹介する。						
注意事項	<p>保育に関連する教科書・参考文献を読む、また遊びの具体例などについて情報を集めて習熟しておくなど、実習に向けて積極的に自己学習のプランを立て実行すること。</p>						

科 目 名	児童館実習	単 位 数	2	授業時間数	90	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナンバリングコード	SWS22105	授業形態	実習	実務経験	有		
授 業 の 内 容	児童館において、約10日間の実習を行う。実習を通して、児童館・放課後児童クラブの現場で実際に業務を体験することで、児童館や放課後児童クラブの活動を理解するとともに、自分自身の適性を改めて見つめなおす。						
到 達 目 標	1. 児童館・放課後児童クラブの役割、意義について実践を通じて理解している。 2. 一日の活動プログラムを理解している。 3. 職員、児童の家族、地域社会の連携を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 5 ） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	児童館実習の内容 ① 児童館・放課後児童クラブの役割、意義について実践を通じて理解 ② 一日の活動プログラムの理解 ・母親クラブの活動について ・館全体のプログラム ・放課後児童クラブのプログラム ③ 活動への参加 ・指導職員の助手の立場に立って、参加実習から、実習後半では部分指導実習、責任担当実習に入る。 ④ 職員、児童の家族、地域社会との関係の学習 ・職員集団等専門家集団のチームワーク ・児童の家庭、地域との関わり方 ・児童館と高齢者・ボランティア等の関わりを学ぶ						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 実習先評価（50%）、実習記録（30%）、実習課題（20%）						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	なし						

科目名	保育所実習指導 I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	はせがわ きょうこ 長谷川 恭子
ナンバリングコード	CHS22106		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	保育所実習研究は、前期保育所実習（2年次2月）の事前事後指導である。事前指導では、保育所実習の意義や目的を理解する、実習課題を明確にする、実習記録の意義や記録方法・指導計画を学ぶなど、実習に関する必要な知識と心構えを身につけることを目的とする。事後指導では、実習に対する自己評価・反省を求め、後期保育所実習に向けての課題を明らかにし、前期実習から後期実習へと保育についての学びを深めていけるよう必要な準備を行う。							
到達目標	1. 保育所実習の意義や目標を理解している。 2. 子どもの観察や実習記録の意義や方法を理解している。 3. 実習に関する必要な知識と心構えを身につけ、心身ともに実習に向けての準備ができています。 4. 実習を通じて、自己課題を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（2.4.5）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	教科書の全体に目を通す			
				復習	実習の手引きに目を通す			
	第2回	内容	保育所実習の意義・目的の理解	予習	教科書の実習の意義・目的に目を通す			
				復習	実習の意義・目的の大切な箇所をまとめる			
	第3回	内容	前期実習の内容の理解	予習	教科書の実習内容に目を通す			
				復習	実習の内容の大切な箇所をまとめる			
	第4回	内容	保育所についての理解	予習	教科書の保育所についての理解に目を通す			
				復習	保育所の制度や現状の大切な箇所をまとめる			
	第5回	内容	実習の心構え	予習	教科書の実習の心構えに目を通す			
				復習	実習の心構えの大切な箇所をまとめる			
	第6回	内容	実習に必要な書類の作成	予習	調査書の実習の心構えを考えてくる			
				復習	調査書を仕上げる			
	第7回	内容	実習に必要な書類の修正	予習	調査書の修正をする			
				復習	修正を加えて調査書を仕上げる			
	第8回	内容	実習課題を明らかにする	予習	実習課題を考える			
				復習	実習課題を修正する			
第9回	内容	実習記録の意義の理解	予習	教科書の実習記録に目を通す				
			復習	実習記録の大切な箇所をまとめる				
第10回	内容	実習記録の実際と方法①生活場面	予習	教科書の実習記録例に目を通す				
			復習	生活場面の記録の練習をする				
第11回	内容	実習記録の実際と方法②遊び場面	予習	教科書の実習記録に目を通す				
			復習	遊びの記録の練習をする				
第12回	内容	実習に必要な実技の確認	予習	教科書の実技の箇所に目を通す				
			復習	実技の練習をする				
第13回	内容	オリエンテーションと実習中の心得	予習	教科書のオリエンテーションに目を通す				
			復習	オリエンテーションの大切な箇所をまとめる				
第14回	内容	実習内容の振り返りとまとめ	予習	実習の振り返り考える				
			復習	他者の発表を聞き、大切な箇所をまとめる				
第15回	内容	後期保育所実習への課題を明確にする	予習	後期実習に向け、課題を考える				
			復習	後期実習に向け、必要な準備を行う				
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。								
課題へのフィードバック	実習園からの評価票に基づき、面談を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（80%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、手続き（20%）							
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）、『保育所保育指針』 『子どもの育ちと安全を守る幼稚園・保育所・施設実習＜改訂版＞』（茗井香保里・後藤正矢編、大学図書出版）							
参考文献	授業において適宜紹介する。							
注意事項								

科目名	施設実習指導		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナバリングコード	SWS22206		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	保育所を除く児童福祉施設を中心とした実習準備のための授業である。実習の目的や意義、実習内容等福祉施設実習に必要な知識や技能を学ぶ。また、福祉施設利用者の権利擁護、施設職員としての倫理観、実習生としての勤務のあり方についても学ぶ。実習に必要な書類の提出のほか実習施設から届けられる様々な情報も授業時に伝える。							
到達目標	1. 施設の種別、それぞれの機能について理解している。 2. 施設の種別ごとの利用者について理解している。 3. 施設実習に必要な知識や技能を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 5 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	施設実習の位置づけについて	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	施設実習の意義について、実習申込書（誓約書）について	予習	実習のしおりを読み要件を理解しておく			
				復習	実習の形態についてまとめる			
	第3回	内容	実習の要件、実習の形態について	予習	教科書「福祉施設」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に福祉施設の内容をまとめる			
	第4回	内容	実習中の注意点の確認、実習申込書の提出	予習	教科書「障害児・者施設」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に障害者施設の内容をまとめる			
	第5回	内容	福祉施設における実習	予習	福祉施設の特徴を理解しておく			
				復習	各福祉施設における実習内容をまとめる			
	第6回	内容	障がい系施設における実習内容	予習	教科書「障がい系施設」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に障がい系施設の内容をまとめる			
	第7回	内容	障がい児支援施設について	予習	教科書「障がい児施設」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に障がい児施設の内容をまとめる			
	第8回	内容	障がい者支援施設について	予習	教科書「障がい者施設」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に障がい者施設の内容をまとめる			
	第9回	内容	自閉症について	予習	教科書「自閉症」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に自閉症の内容をまとめる			
	第10回	内容	重度心身障害について	予習	教科書「重度心身障害」の章を読んでおく			
				復習	プリントを中心に重度心身障害の内容をまとめる			
第11回	内容	障がい児・者支援施設における職員の役割	予習	教科書で2施設の該当の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に2施設の内容をまとめる				
第12回	内容	養護系福祉施設における実習内容	予習	教科書「養護系施設」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に養護系施設の内容をまとめる				
第13回	内容	児童養護施設について	予習	教科書「児童養護施設」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に児童養護施設の内容をまとめる				
第14回	内容	乳児院について	予習	教科書「乳児院」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に乳児院の内容をまとめる				
第15回	内容	実習希望調査 配当資料の提出	予習	核施設の特徴を整理してくる				
			復習	実習で学びたいことを明確にする				
第16回	内容	母子生活支援施設・一時保護所について	予習	教科書で2施設の該当の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に2施設の内容をまとめる				
第17回	内容	養護系施設における職員の役割	予習	教科書「職員の役割」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に職員の役割の内容をまとめる				
第18回	内容	実習課題について	予習	教科書「実習課題」の章を読んでおく				
			復習	プリントを中心に実習課題の内容をまとめる				
第19回	内容	実習書類の記入と提出	予習	実習の抱負を考えてくる				
			復習	書類の添削を受けて、訂正をしてくる				
第20回	内容	実習施設におけるオリエンテーションについて	予習	教科書「オリエンテーション」の章を読む				
			復習	プリントでオリエンテーションの内容をまとめる				

	第 21 回	内容	実習施設に関する事前学習	予習	実習施設の種類について調べてくる
				復習	プリントを中心に施設の特性をまとめる
	第 22 回	内容	実習日誌の書き方	予習	教科書「実習日誌」の章を読んでおく
				復習	プリントを中心に実習日誌内容をまとめる
	第 23 回	内容	実習書類の確認、細菌検査、実習施設に提出するレポートや誓約書等確認	予習	提出書類の記入及び準備をする
				復習	書類の確認・実習課題の整理をする
	第 24 回	内容	実習直前指導、各種報告書の準備	予習	実習前の質問事項を確認してくる
				復習	実習前課題にとりくむ
	第 25 回	内容	個人の実習の振り返り	予習	実習の反省を整理してくる
				復習	振り返った内容をレポートにまとめる
	第 26 回	内容	グループで実習の振り返りを行う	予習	グループ内で報告する内容を整理してくる
				復習	メンバーの報告内容をレポートにまとめる
	第 27 回	内容	グループごとに実習内容の報告を全体に向けて行う	予習	グループの報告内容を準備してくる
				復習	全グループの報告内容をレポートにまとめる
	第 28 回	内容	実習評価、個別面談	予習	施設実習のまとめとして学んだことを整理する
				復習	実習評価・面談を受けて、学習成果を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出物等の評価を実習後の面談により伝える。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（50%）、課題（20%）、授業態度【積極的参加】（20%）、実習書類提出（10%）				
教科書	『保育士養成課程 五訂 福祉施設実習ハンドブック』（喜多一憲、児玉俊郎／監修 吉村美由紀、吉村謙 編、株式会社みらい）				
参考文献	なし				
注意事項	なし				

科目名	保育所実習指導Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員 はせがわ きょうこ 長谷川 恭子
ナンバリングコード	CHS22207		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	○対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	保育所実習指導Ⅱは、後期保育所実習(3年次9月)の事前事後指導である。事前指導では、後期保育所実習の目的や内容を理解すること、実習課題を明確にすること、指導計画の作成や実習に必要な実技を確認することを行っていく。事後指導では、実習の総括と自己評価を求め、実習報告会などの振り返りの場を通して、保育についての課題を明確にしていく。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習に関する必要な知識と心構えを身につけ、心身ともに実習に向けての準備を行うことができる。</li> <li>2. 子どもの生活や遊びに即した指導案の立案ができる。</li> <li>3. 実習記録を通じて、省察や評価ができていく。</li> <li>4. 実習を通じて、自己課題を明確にしている。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(2.3.4.5) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	後期実習の目的・内容の理解	予習	実習の手引きを読む		
				復習	目的・内容をノートに整理する		
	第2回	内容	実習に必要な書類の作成①	予習	実習への心構えを考える		
				復習	添削された書類を修正する		
	第3回	内容	実習に必要な書類の作成②	予習	実習の目的を考える		
				復習	添削された書類を修正する		
	第4回	内容	実習課題を明らかにする	予習	実習課題を考える		
				復習	実習課題を修正する		
	第5回	内容	指導案作成上の基本の確認	予習	指導案作成のプリントを読む		
				復習	学んだことをノートに整理する		
	第6回	内容	指導案の立案①幼児クラス主活動	予習	主活動の内容・教材を考える		
				復習	指導案を作成する		
	第7回	内容	指導案の立案②幼児クラス生活場面	予習	生活場面の配慮を考える		
				復習	指導案を作成する		
	第8回	内容	指導案の立案③未満児クラス主活動	予習	主活動の内容・教材を考える		
				復習	指導案を作成する		
第9回	内容	指導案の立案④未満児クラス生活場面	予習	生活場面の配慮を考える			
			復習	指導案を作成する			
第10回	内容	実習に必要な実技の確認	予習	手遊びや紙芝居などの実技を考える			
			復習	実技の練習をする			
第11回	内容	実習記録の実際と方法	予習	実習記録の書き方のプリントを読む			
			復習	実習記録を書く練習をする			
第12回	内容	実習内容の振り返りとまとめ	予習	実習の内容を振り返る			
			復習	他の人の意見を聞き、気づいたことをまとめる			
第13回	内容	実習報告会の準備	予習	報告する内容を整理する			
			復習	発表原稿やパワーポイントを作成する			
第14回	内容	実習報告会	予習	発表の準備をする			
			復習	他の人の発表を聞き、気づいたことをまとめる			
第15回	内容	実習の総括	予習	実習の総括を考える			
			復習	他の人の意見を聞き、気づいたことをまとめる			
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。							
課題へのフィードバック	評価票にもとづき、面談を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験( )%、レポート・課題(60%)、手続(30%)、実技( )%、授業態度【意欲】(10%)						
教科書	『実習の手引き』(実習委員会)、『子どもの育ちと安全を守る幼稚園・保育所・施設実習<改訂版>』(若井香保里・後藤正矢、大学図書出版)						
参考文献	授業において適宜紹介する。						
注意事項	指導案の作成にあたり、様々な授業を通して学んできた遊びや造形表現のアイデアが必要になる。子どもとの活動に際して、役に立ちそうなものをノートにまとめておくなど、学びに対する主体的な態度をもつよう心掛けてほしい。実習について必要な準備を進めるため、原則として欠席はしないこと。						

科目名	児童館実習指導		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	あきやま ひろこ 秋山 展子
ナンバリングコード	SWS22107		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	児童館実習を履修する学生は必ず履修しなければならない。授業は実習の前後にわたって実施される。実習前の授業では、児童館・放課後児童クラブの実際の活動内容を理解するため、先輩の実習報告を参考に理解を深め、実習への動機付けを図る。その上で実習調査書の作成をはじめ、実習の目的やねらいの理解、オリエンテーション、日誌の記入方法、実習手続き書類の作成等の指導を行う。							
到達目標	1. 児童館実習の意義を理解している。 2. 児童館実習に必要な知識と技能を習得している。 3. 児童館、放課後児童クラブの特性と実習における課題を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 5 ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	児童厚生員一資格の説明と取得までの手順の説明	予習	シラバスを読んでおく	復習	この科目で習得すべき内容を理解する	
	第2回	内容	児童館実習参加申込書の配布と申込書の提出	予習	実習のしおりを読み要件を理解しておく	復習	実習準備についてまとめる	
	第3回	内容	児童館実習の意義、目的の理解	予習	実習の意義について教科書を読んでおく	復習	プリントを中心に内容をまとめる	
	第4回	内容	児童館実習参加者の体験談を聞き、実習内容を理解する	予習	教科書「実習内容」の章を読んでおく	復習	プリントを中心に内容をまとめる	
	第5回	内容	文章の書き方を学ぶ	予習	前回の体験談の感想を書いてくる	復習	添削結果を受けて反省点を考える	
	第6回	内容	調査書の作成－下書き準備	予習	実習先について調べてくる	復習	注意事項を確認し、内容を考える	
	第7回	内容	調査書の作成－下書き・証明写真説明	予習	調査書の下書きをしてくる	復習	書類の添削を受けて、訂正をする	
	第8回	内容	調査書の作成－清書	予習	証明写真の注意事項を理解し、準備する	復習	清書を完成させる	
	第9回	内容	実習日誌の記入の意義について	予習	教科書「実習日誌の意義」の章を読んでおく	復習	プリントを中心に内容をまとめる	
	第10回	内容	実習日誌の記入方法	予習	教科書「実習日誌の注意」の章を読んでおく	復習	プリントを中心に内容をまとめる	
	第11回	内容	オリエンテーションについて	予習	教科書「オリエンテーション」の章を読む	復習	プリントを中心に内容をまとめる	
	第12回	内容	指導案の概要と作成	予習	教科書「指導案」の章を読んでおく	復習	指導案のための情報を集める	
	第13回	内容	細菌検査・個人情報誓約書について	予習	教科書「個人情報取り扱い」の章を読む	復習	プリントを中心に内容をまとめる	
	第14回	内容	実習後の対応-礼状等-について	予習	教科書「お礼状」の章を読んでおく	復習	プリントを中心に内容をまとめる	
	第15回	内容	実習直前指導（実習への心構え、緊急時への対応の確認等々）	予習	実習前の質問事項を確認してくる	復習	学習内容をまとめて、学習成果を振り返る	
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出物等の評価を面談により伝える。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（70%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	『保育・教育・施設実習 子どもを理解し実践できる保育者を目指して』（福田真奈、五十嵐淳子、大学図書出版）							
参考文献	なし							
注意事項	なし							

科 目 名	教育実習 I	単 位 数	2	授業時間数	90	担当教員	とねがわ あきひろ 利根川 彰博
ナンバリングコード	EDU22107	授業形態	実習	実務経験	有		
授 業 の 内 容	授業を通して学んだ知識や技能が、幼児教育の場でいかに活かされ応用することができるかということを実践を通して学ぶ。また、保育の様子を観察する、子どもの活動に参加する、保育者の助手的立場をとるなどの経験を通し、保育者の職務理解に務める。前期実習を2年次11月に実施する。						
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの発達を体験的に学び、子どもの実態に合った保育の営みについて理解している。</li> <li>2. 保育者の職務理解に努め、責任実習を通し指導方法、指導技術などを体得している。</li> <li>3. 幼稚園の地域における役割や社会的な機能について理解している。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（2, 4, 5） 文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	<p>前期実習（観察・参加実習）</p> <p>実習園の概要を知る。 実習園の日課を理解する。 配属クラスの子どもの名前を覚える。</p> <p>子どもの遊びに参加する。 保育の進め方を観察する。 環境構成のあり方を学ぶ。 いざこざへの対応の仕方を学ぶ。 絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等、保育の営みの一部分を担当する。 子どもの興味・関心、思考傾向など子どもの実態を知る。</p> <p>保育者の職務について学ぶ。 前期実習を振り返り自己評価をする。 自己課題を明確にし、後期実習にむけた準備をする。</p>						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： 実習園の評価（50%）、実習日誌評価（50%）</p>						
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）						
参考文献	『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、フレーベル館）						
注意事項	実習日誌等、必要書類の提出期限は厳守すること。						

科目名	教育実習Ⅱ	単位数	2	授業時間数	90	担当教員	とねがわ あきひろ 利根川 彰博
ナンバリングコード	EDU22204	授業形態	実習	実務経験	有		
授業の内容	<p>前期実習での体験、大学で学んだ理論や技術をもとに、幼稚園教育の場を総合的に理解する。また、実習生が主体となって指導する実践経験を重ねることにより、保育理論や指導技術の向上を図る。</p> <p>前期実習に引き続き、①見学・観察実習、②参加実習を行い、さらに加えて③指導実習を行う。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼稚園の機能や活動内容を理解している。</li> <li>2. 大学で学んだ理論や技術と、実践との関連性を確認している。</li> <li>3. 社会人としてのマナー、保育者としての使命感等を認識している。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ 2. 4. 5 ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	<p style="text-align: center;">後期実習（観察・参加・指導実習）</p> <p>① 見学・観察実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期実習で学んだことを確認する。</li> <li>・園環境や地域環境等、子どもが生活する場に対する観察を深める。</li> <li>・子どもの意欲や自発性を引き出す保育者の働きかけ、指導方法等を観察し実践の場で応用できるようにする。</li> </ul> <p>② 参加実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの活動に積極的に参加し、遊びの内容、遊びの中での人間関係等を学ぶ。</li> <li>・保育者の助手的立場で、保育活動に参加し、保育の進め方、指導方法などを学ぶ。</li> <li>・教材の準備、保育開始前、保育終了後の環境整備、清掃活動に参加し、その意義を学ぶ。</li> <li>・正規時間外保育活動、子育て支援活動等の実際について学ぶ。</li> <li>・許されれば、会議、打ち合わせ等に参加させていただき、保育への取り組みの姿勢を学ぶ。</li> </ul> <p>③ 指導実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、参加実習で学んだことを基に指導案を作成し、指導を受けながら保育者として子どもの指導に当たる。</li> <li>・一日の日課を理解し、そのうちのある部分について、指導案を作成し指導を体験する。</li> <li>・自ら作成した指導案に基づいて1日の保育を担当し、保育者として必要な総合的な力を身につける。</li> <li>・部分あるいは1日指導実習をした後、自らの保育を客観的に評価、反省し、また保育者からの助言を受ける。</li> </ul>						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： 実習園の評価（50%）、実習日誌評価（50%）</p>						
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）						
参考文献	『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、フレーベル館）						
注意事項	実習日誌等、必要書類の提出期限は厳守すること。						

科目名	教育実習指導 I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	とねがわ あきひろ 利根川 彰博
ナンバリングコード	EDU22108		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	この授業は、教育実習を効果的に進めることができるよう、実習に向けて事前に準備をするための教科である。 実習に必要な書類を整えることや社会人としてのマナーを身につけること、あるいは指導案の作成、自己課題の発見等学ぶ範囲も非常に広い。 幼稚園現場の具体的な画像や動画を使用したドキュメンテーションを使用し、幼稚園や保育者幼児の実態を具体的理解し、視点をもって実習に臨めるようにする。							
到達目標	1. 幼稚園の生活に関する基本的事項を理解している。 2. 幼児の発達の様子や遊びの実態を理解している。 3. 幼稚園における保育活動、保育内容を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（2, 4, 5）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	教育実習の意義・目的	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	『実習の手引き』を読む。			
	第2回	内容	教育実習のための手続き	予習	実習の計画を確認する。			
				復習	提出書類を確認する。			
	第3回	内容	前期実習の目的と心得：参加・観察実習について	予習	『実習の手引き』を読む。			
				復習	学んだ内容を整理する。			
	第4回	内容	幼稚園での生活を学ぶ	予習	幼稚園の一日の生活を調べる。			
				復習	感想・気づきをまとめる。			
	第5回	内容	幼稚園見学についてのオリエンテーション	予習	対象園の概要を調べておく。			
				復習	園見学の注意点をまとめる。			
	第6回	内容	幼稚園見学①	予習	注意点を確認しておく。			
				復習	気づき等をまとめる。			
	第7回	内容	幼稚園見学②	予習	視点を考えておく。			
				復習	感想をまとめる。			
	第8回	内容	幼稚園見学の振り返り：グループ討議	予習	視点によって感想をまとめておく。			
				復習	他者の意見等も整理する。			
	第9回	内容	園の環境構成	予習	いくつかの幼稚園の環境図を調べておく。			
				復習	園環境に必要な度の高いものをまとめる。			
	第10回	内容	実習時期の保育や子どもの様子を学ぶ①生活	予習	園生活の一日の流れを調べておく			
				復習	生活を進めるポイントをまとめる			
第11回	内容	実習時期の保育や子どもの様子を学ぶ②遊び	予習	幼児にとっての「遊び」の意味を考えておく				
			復習	遊びを見る視点、関わる視点をまとめる。				
第12回	内容	提出書類の作成①：「学生調査書」下書き	予習	事前に作成した下書きを用意する。				
			復習	期日までに下書きを提出する。				
第13回	内容	提出書類の作成②：「学生調査書」清書	予習	下書きの修正内容を確認する。				
			復習	「学生調査書」などの書類を提出する				
第14回	内容	幼児教育の基本と実際の姿 グループ討議	予習	幼稚園教育要領を読んでおく				
			復習	討議の結果をまとめる				
第15回	内容	実習課題の検討と作成	予習	実習課題を整理する。				
			復習	実習課題の清書を作成する。				
第16回	内容	保育における「記録」の意義：エピソード記述など	予習	プリントを読んでおく。				
			復習	学んだ点をまとめる。				
第17回	内容	実習日誌の書き方①：実習園の概況・環境等	予習	実習日誌を確認する。				
			復習	実習園の概況・環境等の書き方を確認する。				
第18回	内容	実習日誌の書き方②：保育の記録	予習	実習日誌を書く意義について確認する。				
			復習	保育の記録の書き方を確認する。				
第19回	内容	実習日誌の書き方③：1日の振り返りと自己評価	予習	実習日誌を書く目的について確認する。				
			復習	1日の振り返りの書き方を確認する。				
第20回	内容	オリエンテーションについて	予習	オリエンテーションの事前準備をする。				
			復習	オリエンテーション報告書を作成する。				

第21回	内容	実習の諸注意	予習	『実習の手引き』を読む。
			復習	実習中の諸注意を整理する。
第22回	内容	実習においてみるべき視点をつかむ	予習	プリントを読んでおく
			復習	要点をまとめる
第23回	内容	実習の振り返り：視点①～③ グループ討議	予習	実習の振り返りをしておく。
			復習	他者の意見を整理する。
第24回	内容	実習の振り返り：視点④～⑥ グループ討議	予習	実習の振り返りをしておく。
			復習	他者の意見を整理する。
第25回	内容	報告書作成・自己評価	予習	示された視点から振り返る。
			復習	自己評価表を作成する。
第26回	内容	評価面談①	予習	実習の振り返りをしておく。
			復習	気づいた点を整理する。
第27回	内容	評価面談②	予習	実習の振り返りをしておく。
			復習	気づいた点を整理する。
第28回	内容	評価面談③	予習	実習の振り返りをしておく。
			復習	他者の意見も踏まえて整理する。
第29回	内容	現場の先生の講話	予習	プリントを読んでおく。
			復習	学んだ点を整理する。
第30回	内容	後期実習に向けて	予習	後期実習に向け、課題を考える。
			復習	後期実習に向け、必要な準備を行う。
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。				
課題へのフィードバック	レポートや課題にはコメントを付けて返却する。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（60%）、授業態度【積極的参加 他者から学ぶ姿勢】（40%）			
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）			
参考文献	『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、フレーベル館） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館）			
注意事項	・事前に十分な準備を行なうことは、子どもや実習園の状況に応じた柔軟な対応を可能にする。受講生には、授業時だけでなく、授業時間外にも書籍や保育雑誌に目を通し、実践方法を学ぶことが求められる。			

科目名	教育実習指導Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	とねがわ ながい 利根川・永井
ナンバリングコード	EDU22205		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	この授業は、教育実習を効果的に進めることができるよう、実習に向けて事前に準備をするための教科である。 実習に必要な書類を整えることや社会人としてのマナーを身につけること、あるいは指導案の作成、自己課題の発見等学ぶ範囲も非常に広い。 幼稚園現場の具体的な画像や動画を使用したドキュメンテーションを使用し、幼稚園や保育者幼児の実態を具体的理解し、視点をもって実習に臨めるようにする。							
到達目標	1. 幼稚園の生活に関する基本的事項を理解している。 2. 幼児の発達の様子や遊びの実態を理解している。 3. 幼稚園における保育活動、保育内容を理解している。 4. 教材研究、指導案を作成することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科( ) 地域保育学科(1, 2, 4, 5) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	教育実習の意義・目的	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	『実習の手引き』を読む			
	第2回	内容	部分実習と責任実習について	予習	『実習の手引き』を読んでおく			
				復習	ポイントをまとめる			
	第3回	内容	教材研究①コミュニケーションゲーム1	予習	ゲームをリストアップしておく			
				復習	研究方法をおさえておく			
	第4回	内容	教材研究②コミュニケーションゲーム2	予習	指定されたゲームの要点を考えておく			
				復習	子どもにとっての魅力を確認する			
	第5回	内容	教材研究③制作活動1	予習	制作活動のアイデアを出しておく			
				復習	研究方法を確認する			
	第6回	内容	教材研究④制作活動2	予習	指定された活動の要点を考えておく			
				復習	子どもにとっての魅力を確認する			
	第7回	内容	指導案とは	予習	指導案の書式を確認する			
				復習	活動と指導案の関係を確認する			
	第8回	内容	指導案の作成	予習	作成のイメージをもっておく			
				復習	指摘された点を理解する			
	第9回	内容	指導案の検討 グループ討議	予習	指導案を仕上げておく			
				復習	ポイントを理解する			
	第10回	内容	ロールプレイと振り返り	予習	実際に行うイメージをつくっておく			
				復習	案と実際のズレをおさえておく			
第11回	内容	トラブルへの対応① ロールプレイ	予習	予想できるトラブルを調べておく				
			復習	イメージと実際のズレを確認する				
第12回	内容	トラブルへの対応② ロールプレイ	予習	対応の仕方を多角的に想像しておく				
			復習	他者の見方をとり入れる				
第13回	内容	自由な遊びへの関わり① ロールプレイ	予習	どんな遊びが見られるか調べておく				
			復習	イメージと実際のズレを確認する				
第14回	内容	自由な遊びへの関わり② ロールプレイ	予習	対応の仕方を多角的に想像しておく				
			復習	他者の見方をとり入れる				
第15回	内容	指導案の作成	予習	指導案のイメージをつくっておく				
			復習	他の活動でも作成する				
第16回	内容	模擬保育の準備① グループワーク	予習	アイデアをリストアップしておく				
			復習	必要な材料をそろえる				
第17回	内容	模擬保育の準備② グループワーク	予習	グループで連絡を取り合っておく				
			復習	イメージを共有する				
第18回	内容	指導案にもとづく模擬保育①	予習	必要なモノを準備しておく				
			復習	気づいた点をまとめる				
第19回	内容	指導案にもとづく模擬保育②	予習	必要なモノを準備しておく				
			復習	気づいた点をまとめる				
		内容		予習	自己課題を考えておく			

	第20回		後期実習の課題と視点	復習	気づいた点をまとめる
	第21回	内容	実習の振り返り① グループ討議	予習	視点に沿って学習成果をまとめておく
				復習	他者からの学びをまとめる
	第22回	内容	実習の振り返り② グループ討議	予習	視点に沿って学習成果をまとめておく
				復習	他者からの学びをまとめる
	第23回	内容	自己評価	予習	自己評価を行っておく
				復習	再考する
	第24回	内容	事後面談①	予習	客観的に自己を見つめておく
				復習	他者視点をいかせるようまとめる
	第25回	内容	事後面談②	予習	客観的に自己を見つめておく
				復習	他者視点をいかせるようまとめる
	第26回	内容	実習のまとめ①	予習	実習全体の振り返りをする
				復習	後期実習での学びをまとめる
	第27回	内容	実習のまとめ②	予習	実習全体の振り返りをする
				復習	後期実習での学びをまとめる
	第28回	内容	実習報告会準備 グループワーク	予習	報告会のイメージをもっておく
				復習	担当の報告内容を考える
	第29回	内容	実習報告会資料作成 グループワーク	予習	担当の報告内容を整理する
				復習	報告会の資料を作成する
	第30回	内容	実習報告会	予習	報告内容の原稿を作成する
				復習	報告会の感想をまとめる
	予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。				
課題へのフィードバック	レポートや課題にはコメントを付けて返却する。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度【積極的参加 他者から学ぶ姿勢】（30%）				
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）				
参考文献	『幼稚園教育要領解説』（文部科学省）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（内閣府、文部科学省、厚生労働省）				
注意事項	・事前に十分な準備を行なうことは、子どもや実習園の状況に応じた柔軟な対応を可能にする。受講生には、授業時だけでなく、授業時間外にも書籍や保育雑誌に目を通し、実践方法を学ぶことが求められる。				

## 【地域保育学科】

### 「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク)

[https://www.akikusa.ac.jp/akitan/pdf/nursery\\_resume/ch\\_syllabus\\_2021.pdf](https://www.akikusa.ac.jp/akitan/pdf/nursery_resume/ch_syllabus_2021.pdf)

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	長谷川恭子	115
2	施設実習	2	実習	秋山展子	116
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	長谷川恭子	117
4	児童館実習	2	実習	秋山展子	118
5	教育実習Ⅰ	2	実習	利根川彰博	124
6	教育実習Ⅱ	2	実習	利根川彰博	125
	計	12			

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。